

港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）改定等に
係る基礎調査報告書

令和8（2026）年3月

港区

目次

第1章 区民アンケート調査	1
1.調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回答期間	1
(4) 回収率	1
2.調査結果	1
(1) 回答者の属性	2
(2) ごみに関する問題意識や日常の行動について	3
(3) ごみに関する区の実施について	7
(4) 事業系ごみについて	12
(5) 家庭ごみ収集の有料化について	13
(6) ごみ・資源の発生・分別について	15
(7) 食品ロスについて	20
(8) 区の清掃リサイクル事業に関する意見について	31
第2章 事業者アンケート調査	40
1.調査概要	40
(1) 調査の目的	40
(2) 調査方法	40
(3) 回答期間	41
(4) 回収率	41
2.調査結果	41
(1) 回答事業所の概要	42
(2) ごみ・資源の発生・処理状況について	44
(3) 関心・取組状況について	56
(4) 区の施策、情報について	61

第3章 関係者ヒアリング調査.....	66
1. 調査概要	66
(1) 調査の目的.....	66
(2) 調査対象.....	66
(3) 調査内容.....	66
(4) 調査期間.....	66
2. 調査結果（ヒアリング議事録）	67
(1) 宿泊業（ホテル）A社	67
(2) 飲食業（個人経営）B社	68
(3) 小売業（スーパーマーケット管理事業者）C社.....	69
(4) 小売業（食品）D社	70
(5) コンビニエンスストア E社	71
(6) オフィスビル管理事業者 F社	72
(7) リサイクル事業者 G社	73
(8) 一般廃棄物処理許可事業者 H社	74
 資料編.....	 77
1. 区民アンケート調査票	78
2. 事業者アンケート調査票	90

第1章 区民アンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査の目的

区民のごみ・リサイクルに関する意識・行動や排出実態を把握するとともに、ごみ減量に対する意識啓発を兼ねて、調査を実施しました。

得られた調査結果については、令和8年度に予定されている「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」（港区食品ロス削減推進計画を含む。）改定のための基礎資料とします。

(2) 調査方法

区内在住の18歳以上の日本人、および外国人に対し、紙の調査票を郵送することによりアンケート調査を実施しました。

発送数は、日本人1,800世帯、外国人200世帯とし、住民基本台帳から無作為に抽出しました。

なお、郵送またはWEBのいずれかの方法による回答を依頼しました。

(3) 回答期間

期間は令和7年12月1日（火）～令和7年12月19日（金）で実施し、令和8年1月30日（金）時点までの回答を有効としました。

(4) 回収率

回収率は右表のとおりです。日本人と外国人を合わせた際の有効発送数1,972件の回収率は、31.23%となりました。

	日本人	外国人	計
発送数	1,800件	200件	2,000件
戻り数	21件	7件	28件
有効発送数	1,779件	193件	1,972件
回収数	608件	8件	616件
回収率	34.18%	4.15%	31.23%

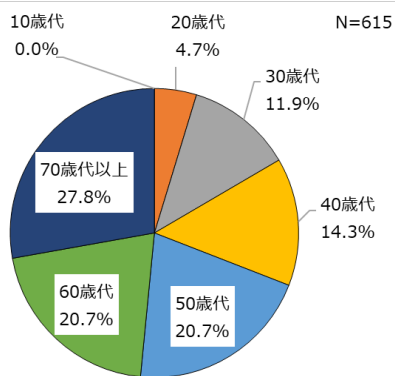
2. 調査結果

回収したアンケートの集計結果を、次ページ以降掲載しています。回収したアンケートの内、有効の回答を集計しました。また、一部設問においては、回答者の属性ごとに回答を比べるクロス集計を実施しています。

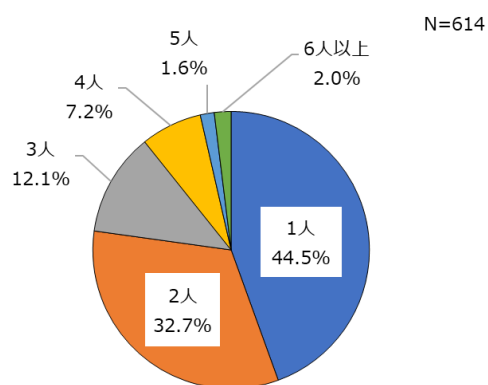
(1) 回答者の属性

居住形態は「ごみの保管場所があるマンションなどの集合住宅（管理人がいる）」、
居住歴は「20年以上」が多くなりました。

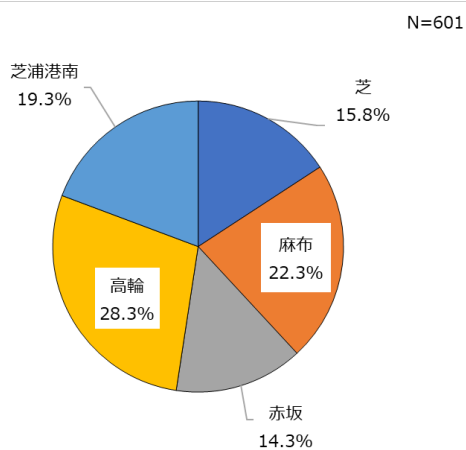
■年齢



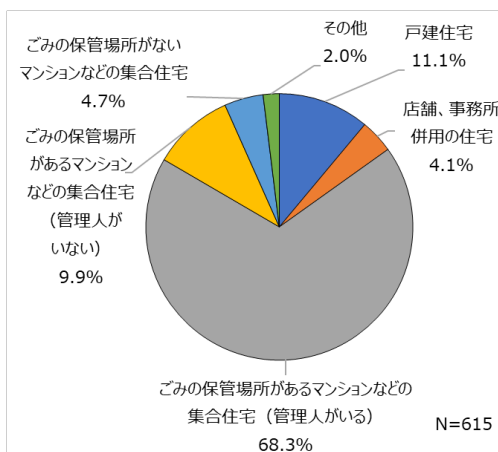
■世帯人数



■居住地域



■居住形態



■居住歴

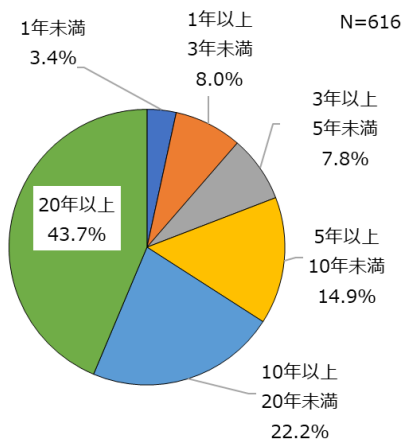


図 1-1 回答者の属性【区民アンケート問1～問5】

(2) ごみに関する問題意識や日常の行動について

ア 関心事項

「ごみの減量・リサイクルについて」の割合が約 65%と最も高く、次いで「ごみ集積所へのごみの出し方、ごみ出しマナー等について」（約 61%）となりました。

なお、「ごみの問題については関心がない」は回答割合が約 3%と低く、区民の多くがごみに関心を持っていると言えます。

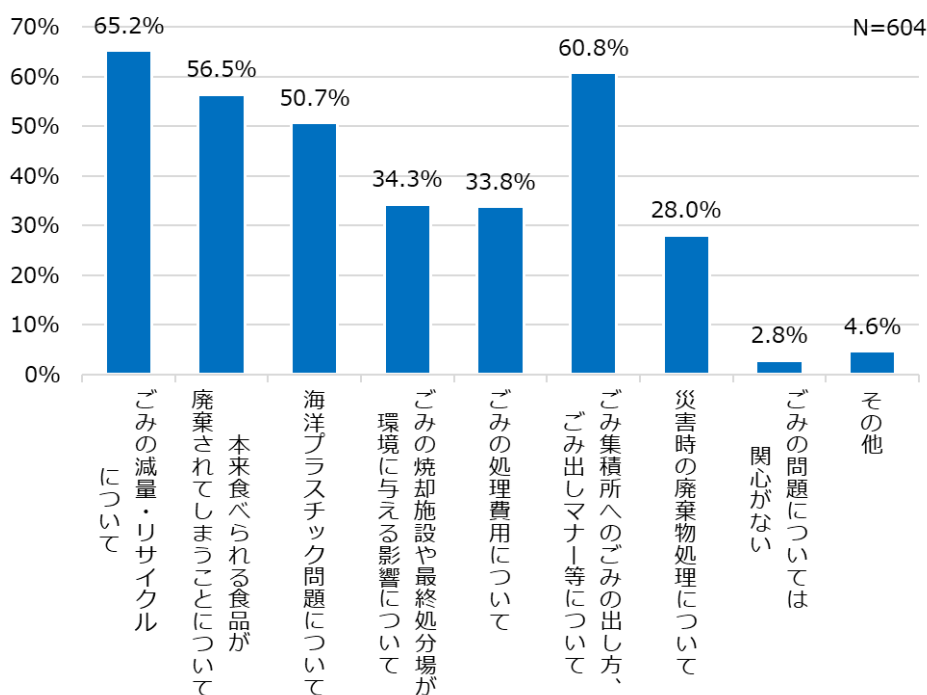
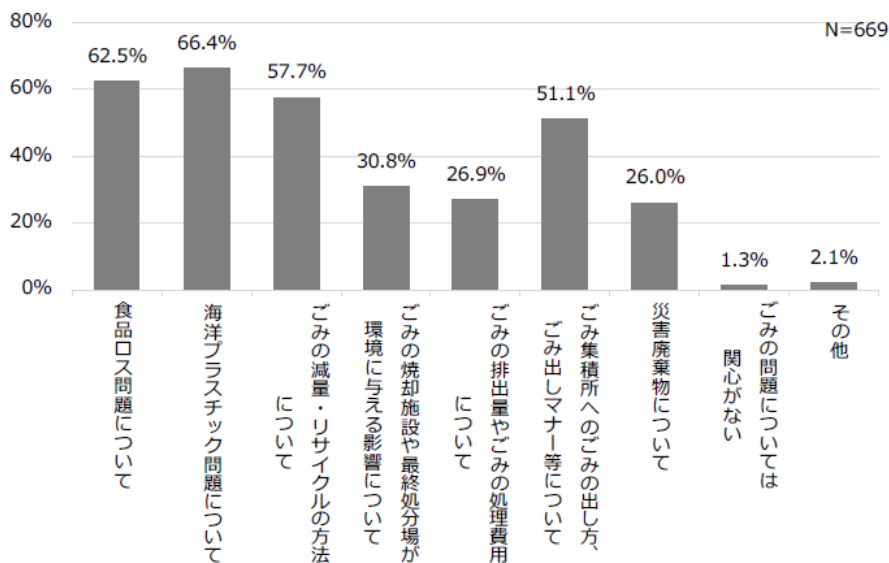
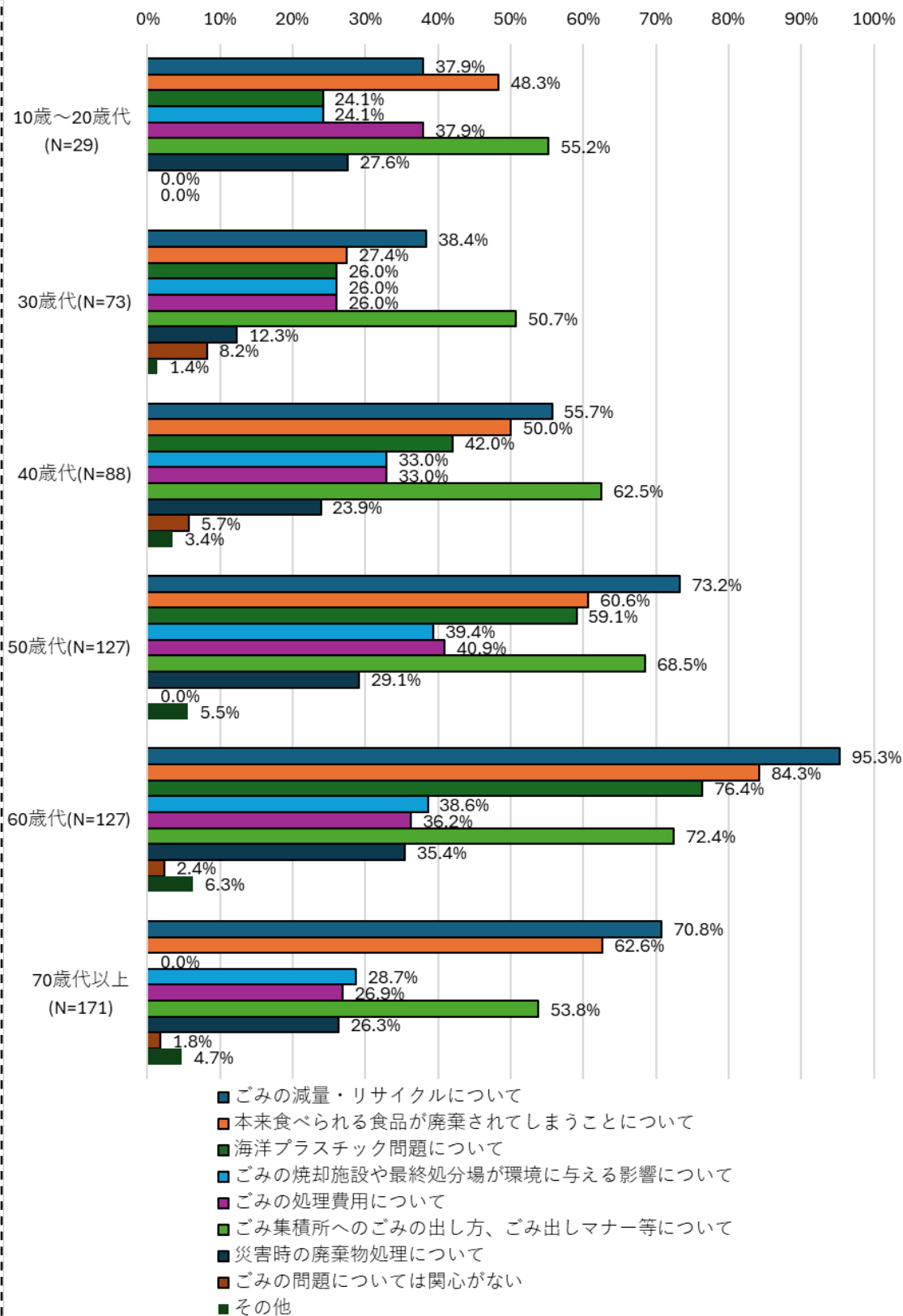


図 1-2 関心事項【区民アンケート問6】

【参考】令和元年度調査結果



【参考】 年齢別クロス集計



イ ごみの減量・リサイクルをしなければならない理由

「循環型社会・脱炭素社会をつくる必要があるため」の割合が約 44%と最も高く、次いで「ごみの埋立処分には限りがあるため」（約 41%）となりました。

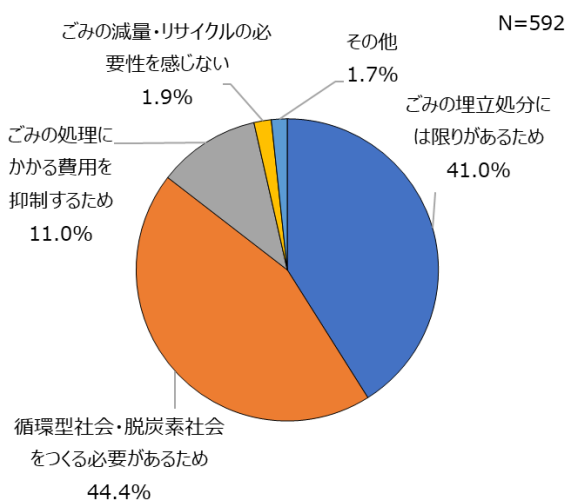


図 1-3 理由【区民アンケート問7】

ウ 日頃の生活で心がけていること

「常に行う」の割合が最も高かった取組は「シャンプーや洗剤等は詰め替えできる商品を購入する」（約 67%）となり、次いで「生ごみの水切り」（約 64%）となりました。一方で「全く行わない」の割合が最も高かった取組は「港区の環境保護やリサイクル活動等のイベントに参加する（約 65%）」となりました。

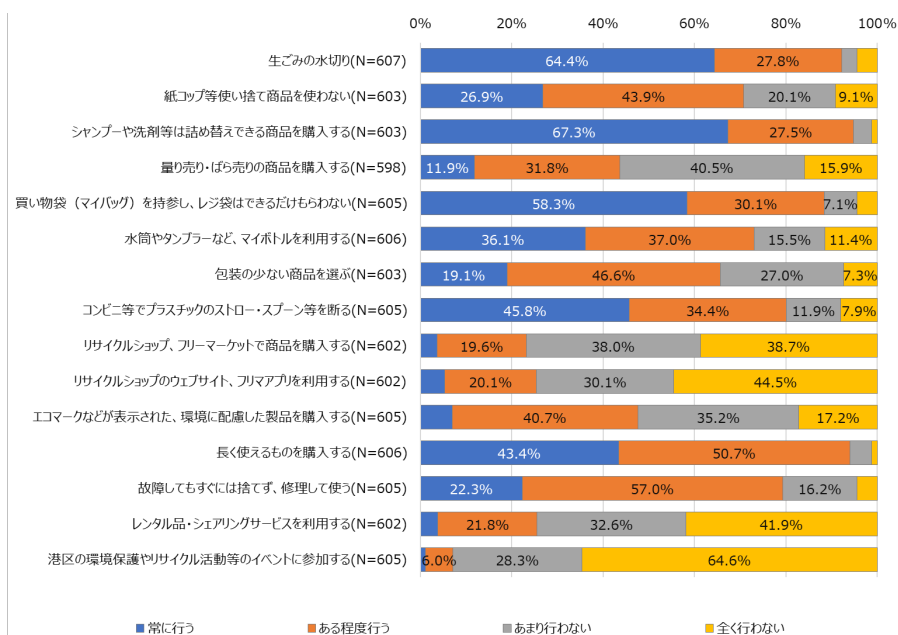
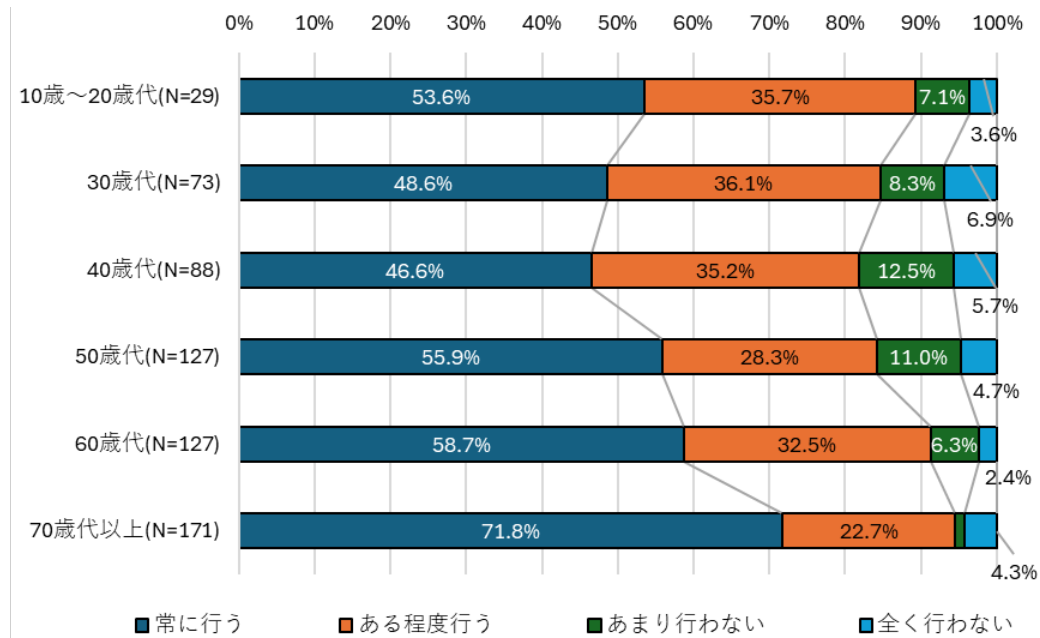


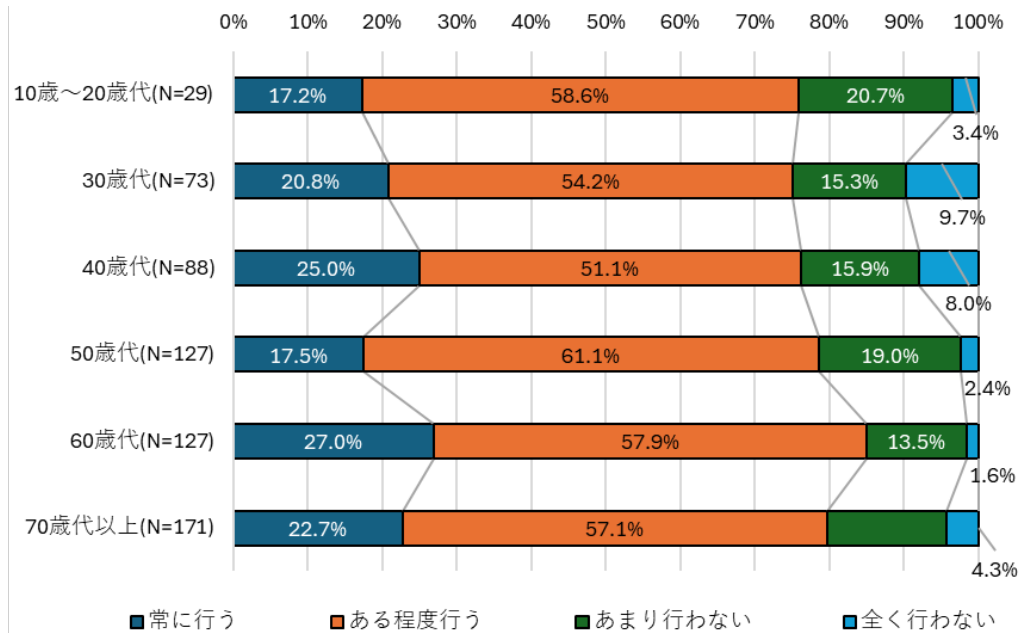
図 1-4 家庭での取り組み【区民アンケート問8】

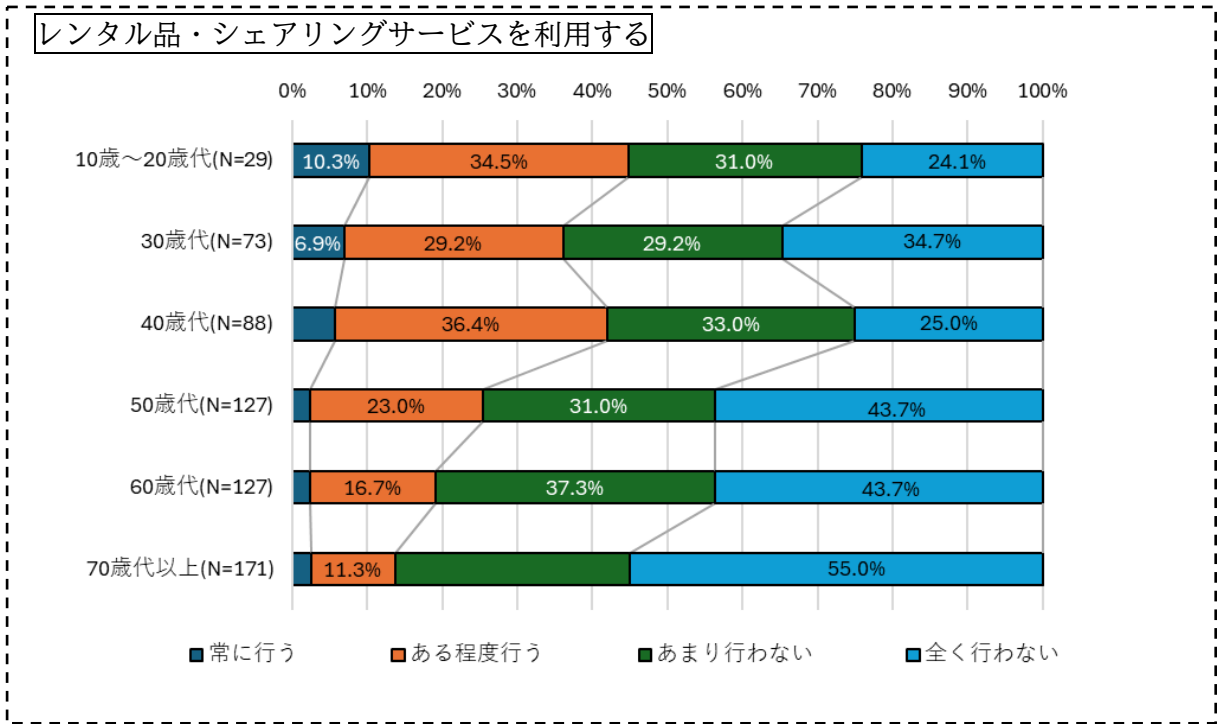
【参考】年齢別クロス集計

買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない



故障してもすぐには捨てず、修理して使う





(3) ごみに関する区の実施について

ア 情報の入手先

「資源とごみの分別ガイドブック」の割合が約 65%と最も高く、次いで「港区ホームページ」(約 56%) となりました。

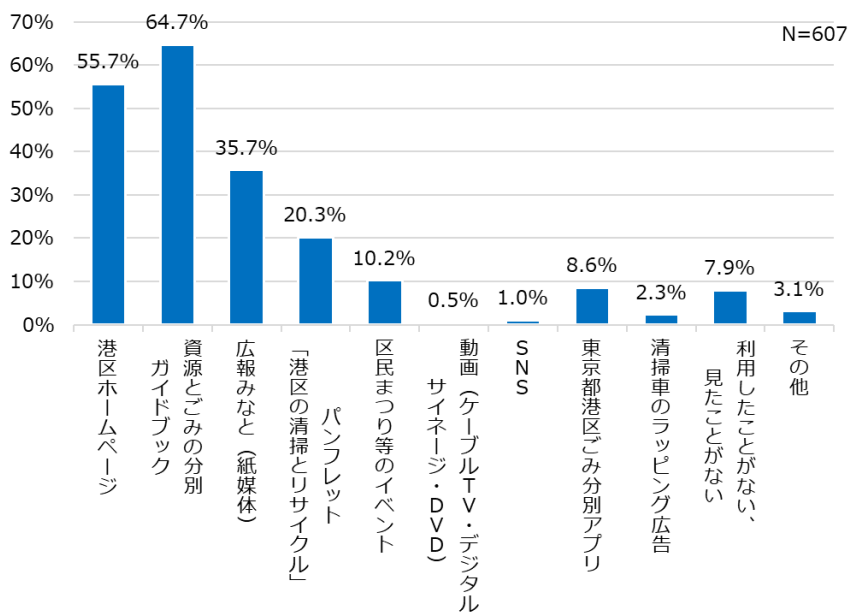


図 1-5 情報の入手先【区民アンケート問9】

イ 利用したことがある区取組

「拠点回収」の割合が約33%と最も高く結果となりましたが、一方で「利用したことがない、知らない」の割合が約41%となりました。

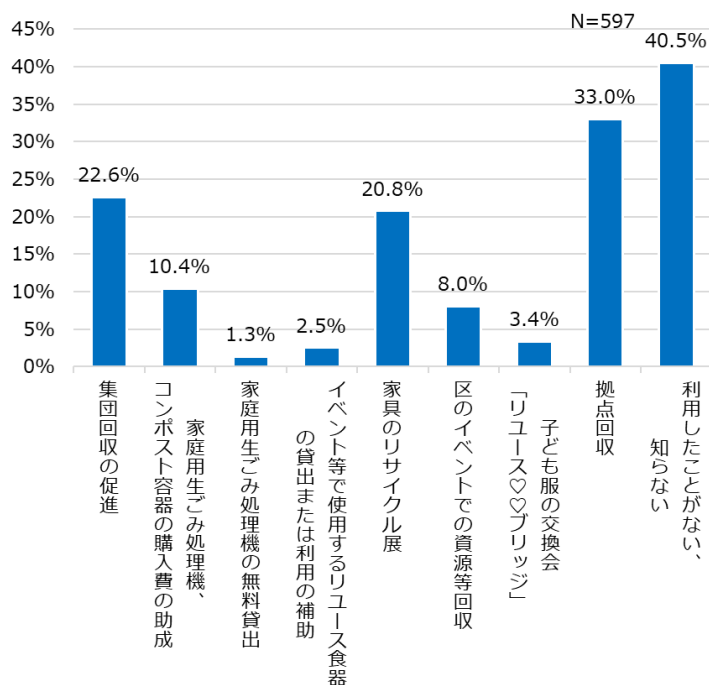


図 1-6 利用したことがある区取組み【区民アンケート問10】

ウ 利用したことがある拠点回収の品目

「使用済み乾電池」の割合が約 64%と最も高く、次いで「ペットボトルキャップの回収」（約 58%）となりました。

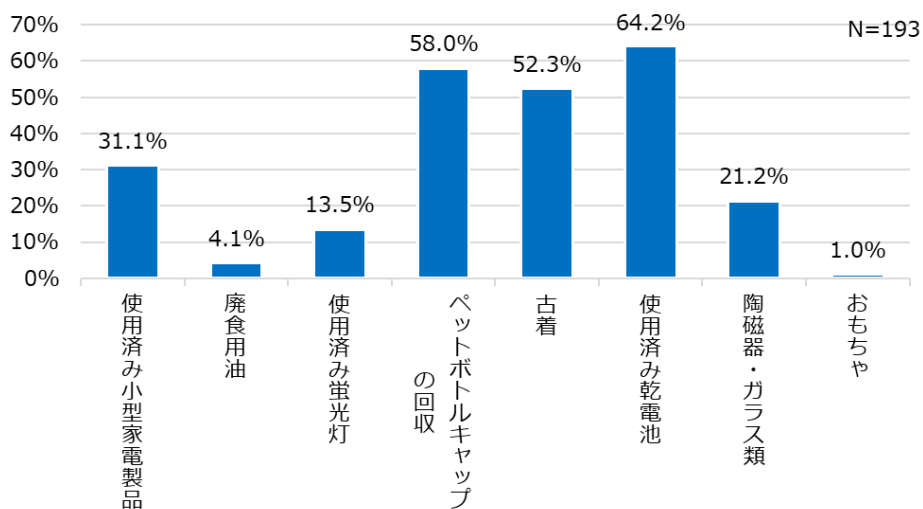
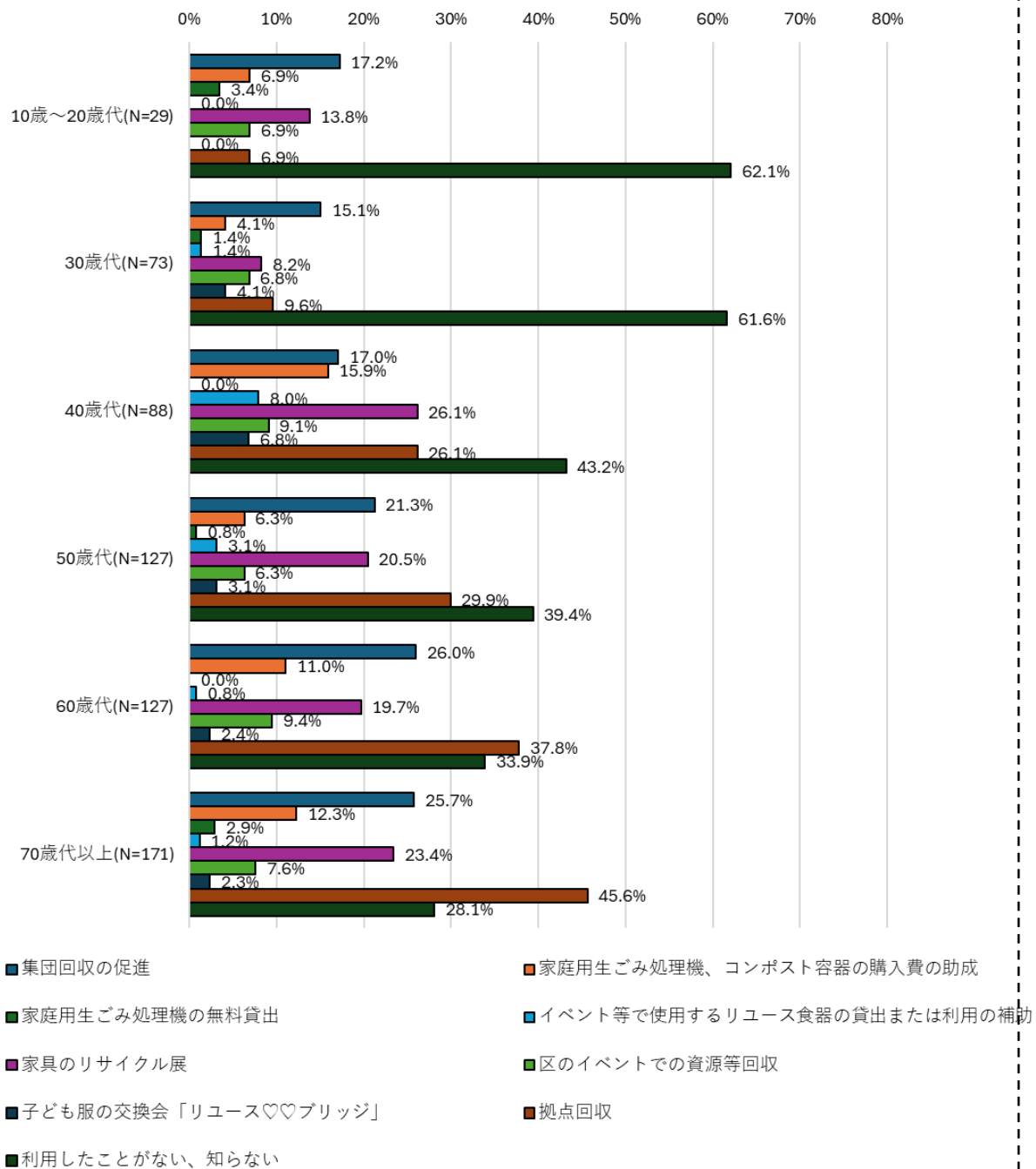
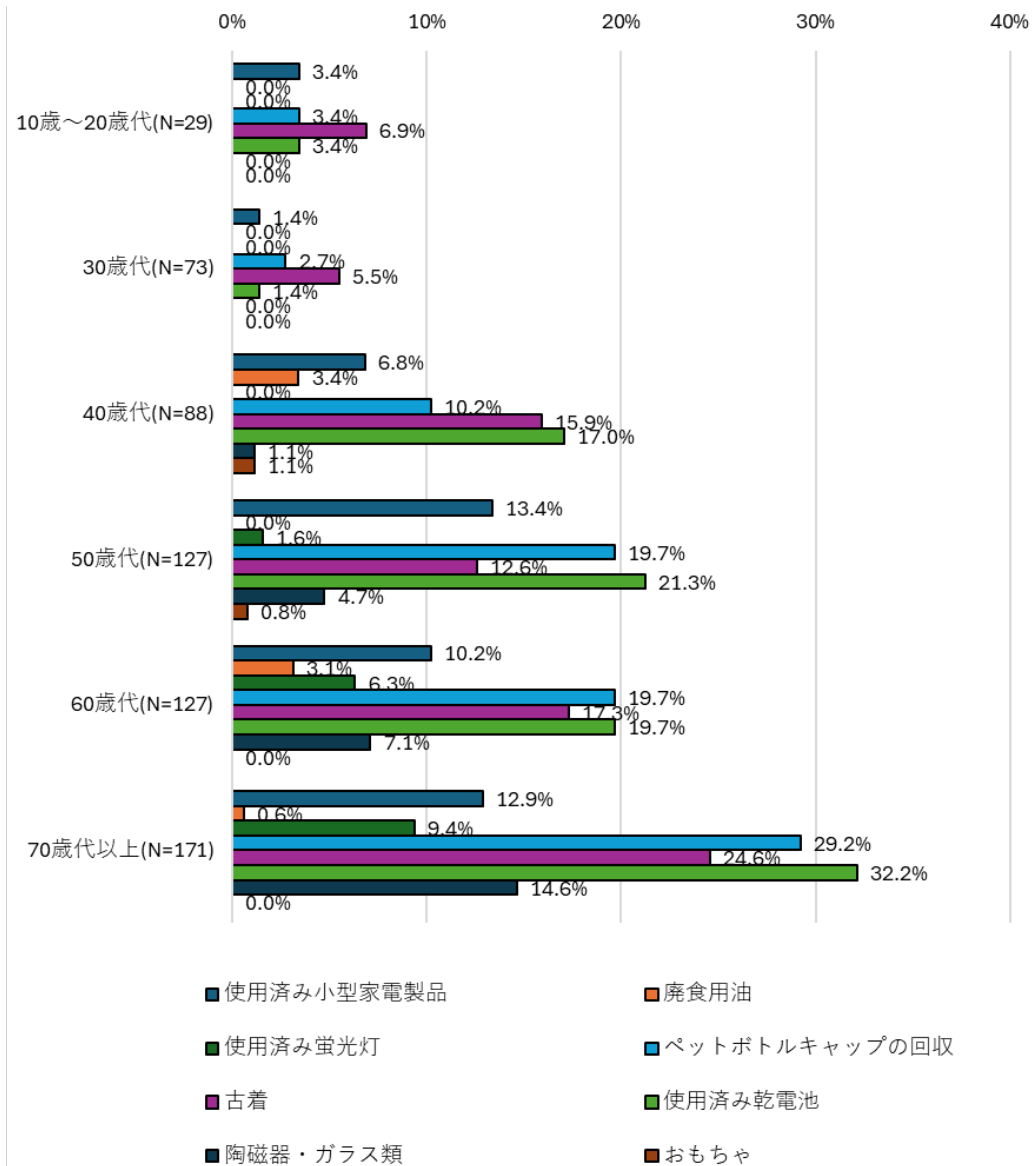


図 1-7 利用したことがある拠点回収の品目【区民アンケート問10】

【参考】年齢別クロス集計（利用したことがある区の取組）



【参考】年齢別クロス集計（利用したことがある拠点回収の品目）



エ 区に力を入れてほしいと思うこと

「ごみ減量・リサイクルの意識啓発」の割合が約 45%と最も高く、次いで「ごみ集積所の環境美化に向けた区民の意識啓発」（約 33%）となりました。

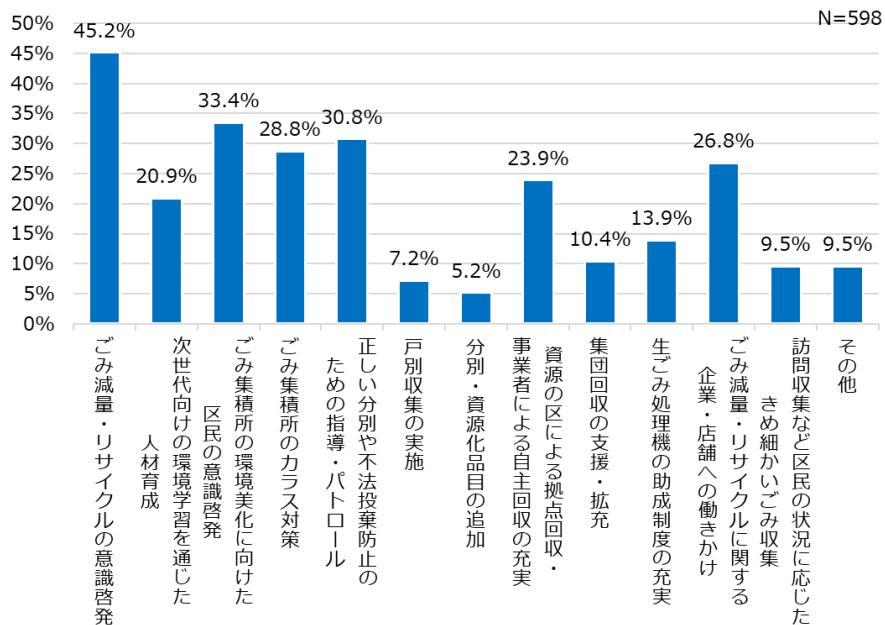
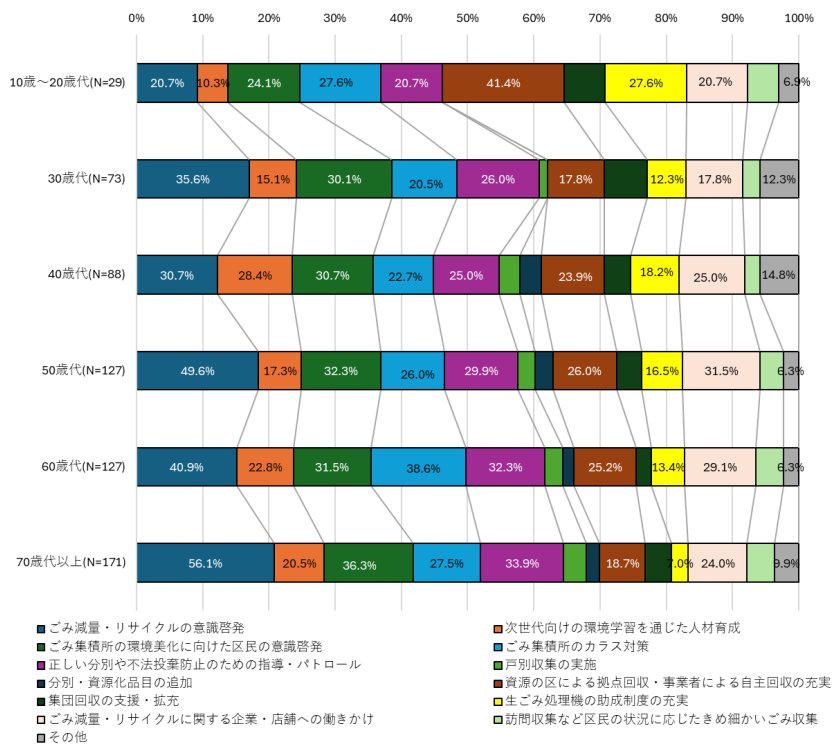


図 1-8 区に力を入れてほしいこと【区民アンケート問 11】

【参考】年齢別クロス集計



(4) 事業系ごみについて

ア 区内では家庭ごみよりも事業系ごみの方が多いことの認知

「想像はできた」の割合が約 57%と最も高く、次いで「知らなかった（考えたことがなかった）」（約 34%）となりました。

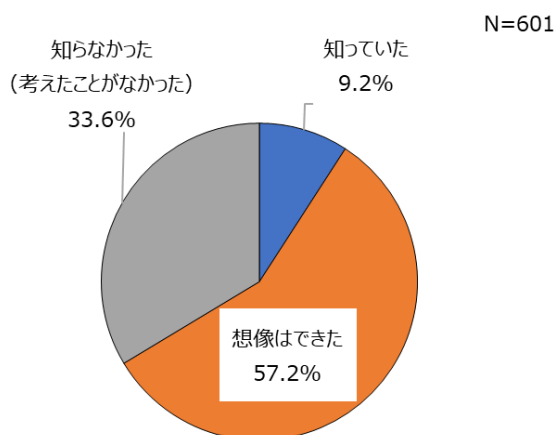


図 1-9 事業系ごみの認知【区民アンケート問 12】

イ 事業者のごみの削減やリサイクルについて

「事業者が自主的にごみ削減・リサイクルを徹底するべき」の割合が約 65%と最も高く、次いで「事業者のごみ分別ルールを厳格化するべき」（約 52%）となりました。

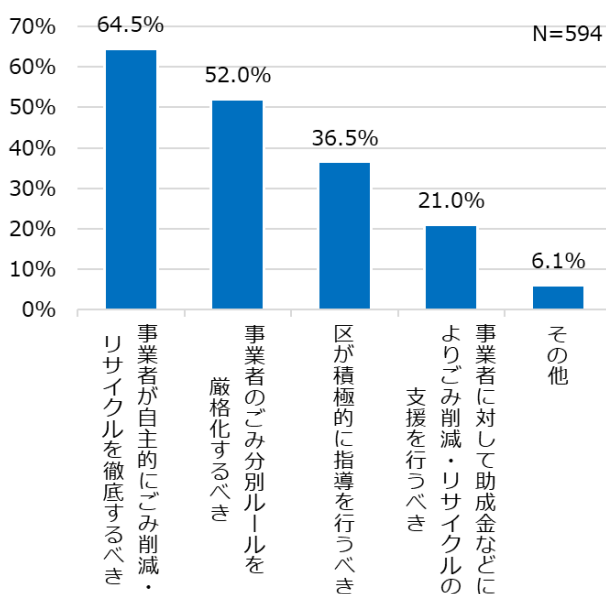


図 1-10 事業者のごみの削減やリサイクルに対する意見【区民アンケート問 13】

(5) 家庭ごみ収集の有料化について

ア 家庭ごみ収集の有料化について

「有料化に反対」の割合が約 35%と最も高く、次いで「どちらかといえば有料化に反対」(約 22%)となりました。

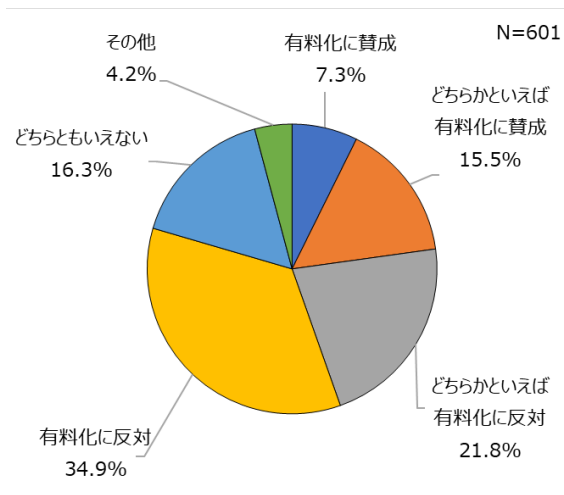
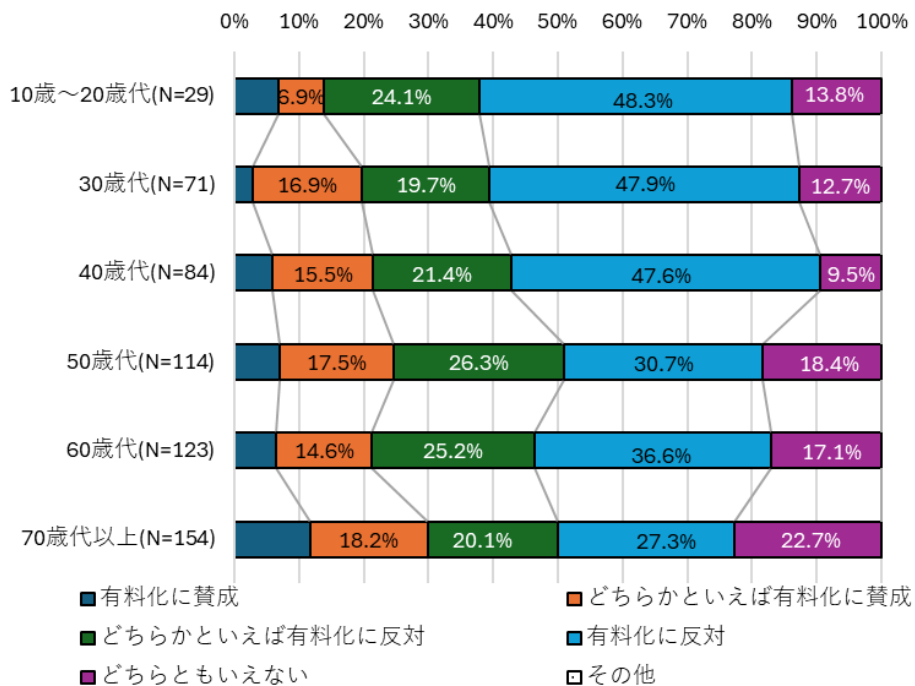


図 1-1 1 家庭ごみ収集の有料化について【区民アンケート問 14】

【参考】年齢別クロス集計



イ 家庭ごみ収集の有料化の効果や課題についての意見

「不法投棄などルールを守らない人が出てくる可能性がある」の割合が約 59%と最も高く、次いで「ごみを減らすための一人ひとりの意識が高まる」（約 46%）となりました。

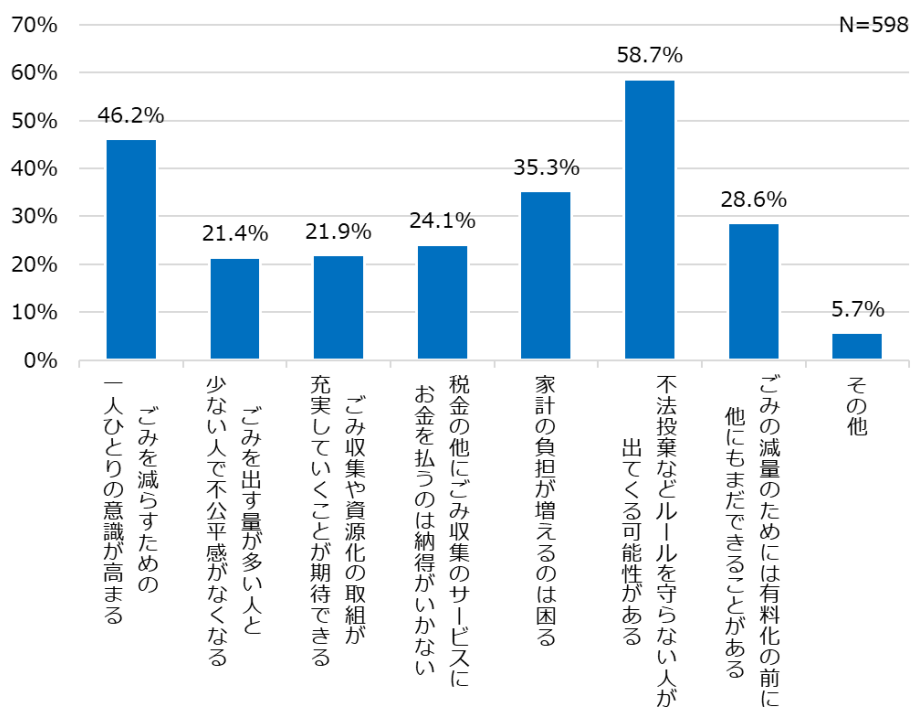


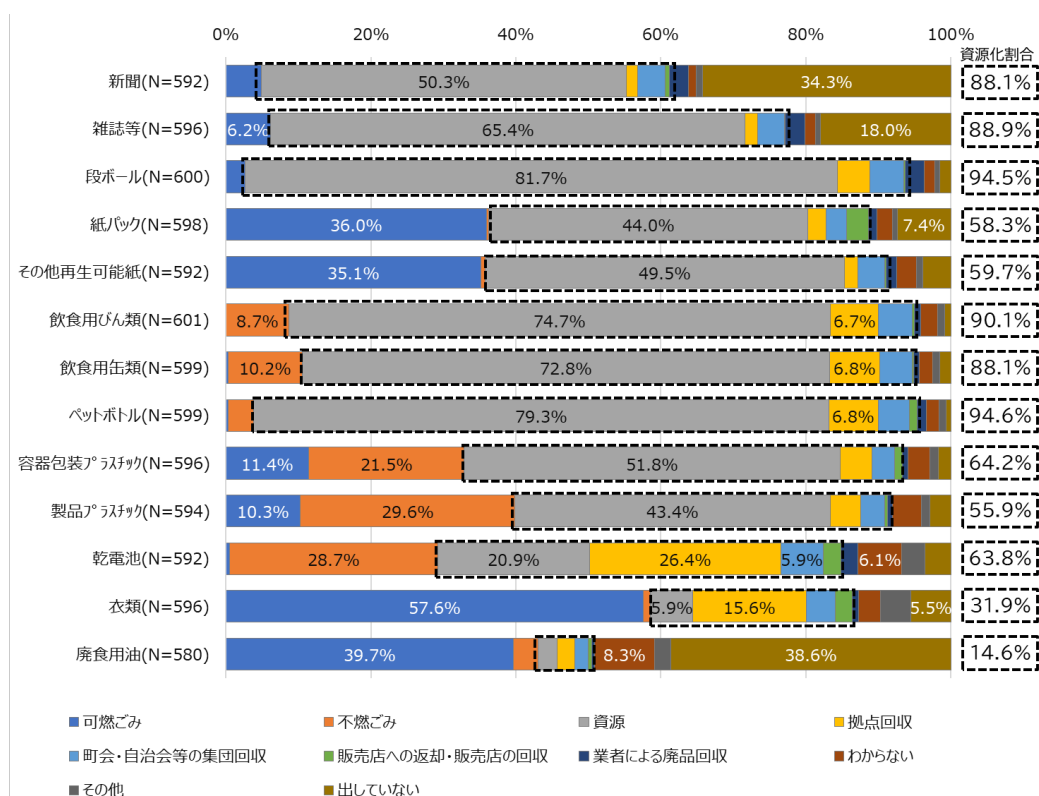
図 1-1 2 家庭ごみ収集の有料化の効果や課題【区民アンケート問 15】

(6) ごみ・資源の発生・分別について

ア 資源等の排出方法

ほとんどの項目で「資源」の割合が高く、「資源」、「拠点回収」、「町会・自治会等の集団回収」、「販売店への返却・販売店の回収」の合計値（資源化されている割合）を見ると、大半の項目で資源として排出していることがわかりました。

一方、紙類の中では「紙パック」、「その他再生可能紙」が4割程度「可燃ごみ」で排出していることや、「衣類」は6割程度が「可燃ごみ」で排出しており、資源化されている割合が低くなっています。

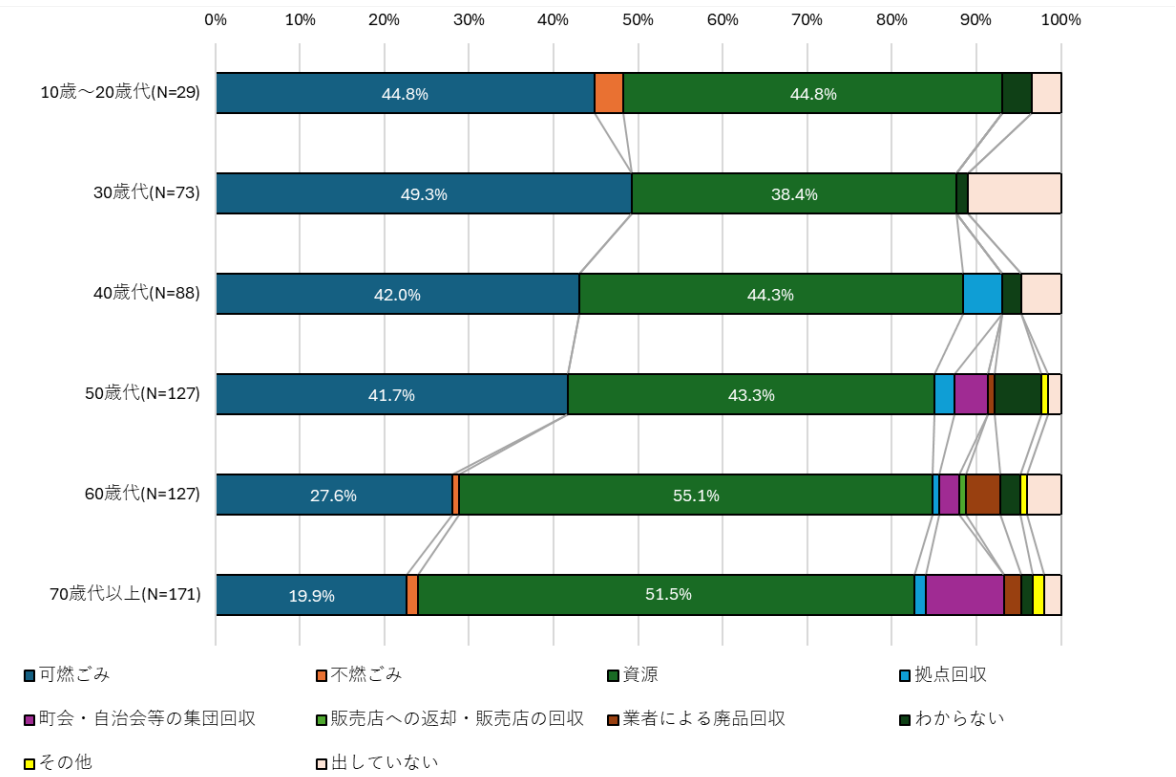


※図中の資源化割合は「わからない」「その他」「出していない」を除く回答数を母数とした、「資源」「拠点回収」「町会・自治会等の集団回収」「販売店への返却・販売店の回収」の合計割合である。

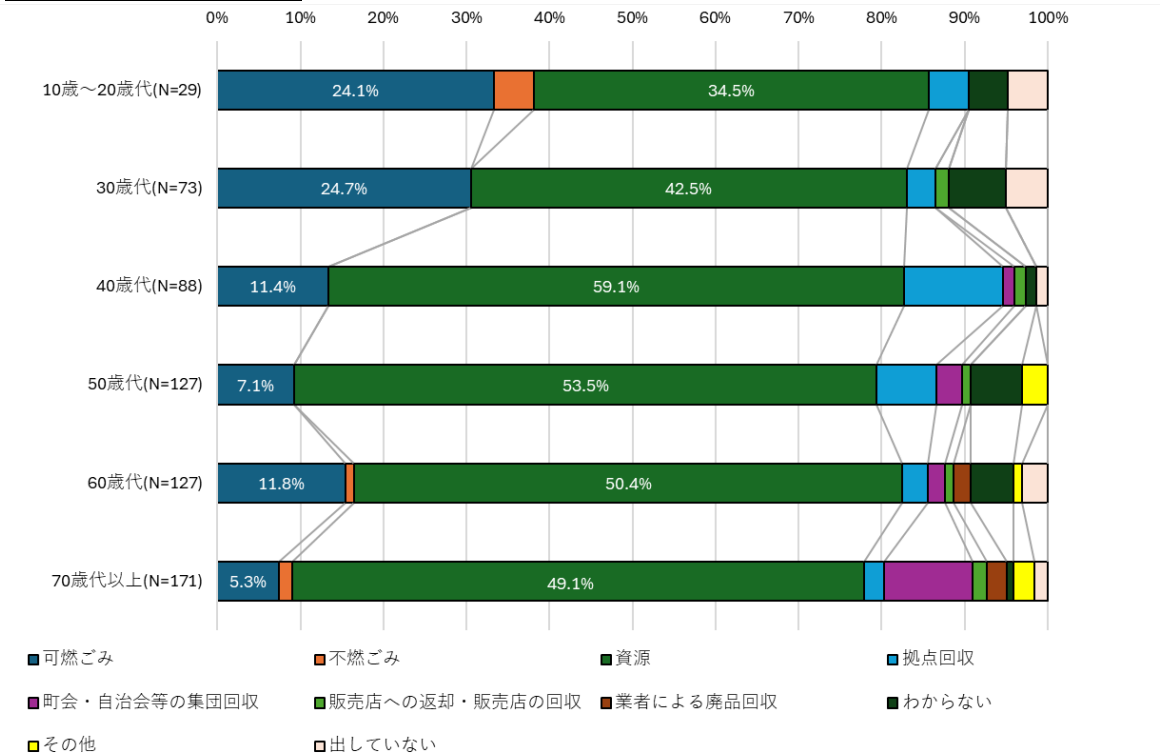
図 1-13 資源等の排出方法【区民アンケート問16】

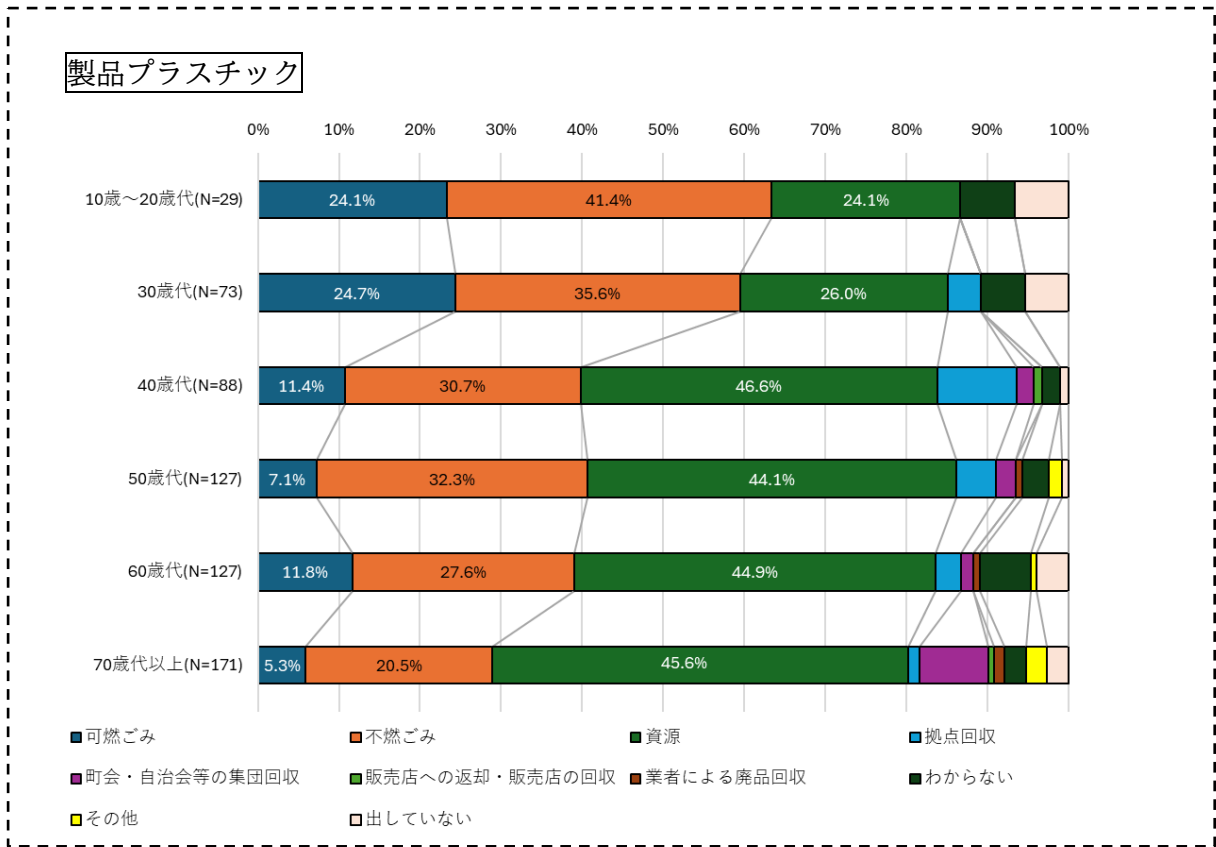
【参考】年齢別クロス集計

その他再生可能紙



容器包装プラスチック





イ ごみと資源の分別方法

「区が配布した分別ガイドブックを確認しながら分別している」の割合が約 51%と最も高く、次いで「分別の区分はすでに覚えているので、問題なく分別している」(約 15%) となりました。

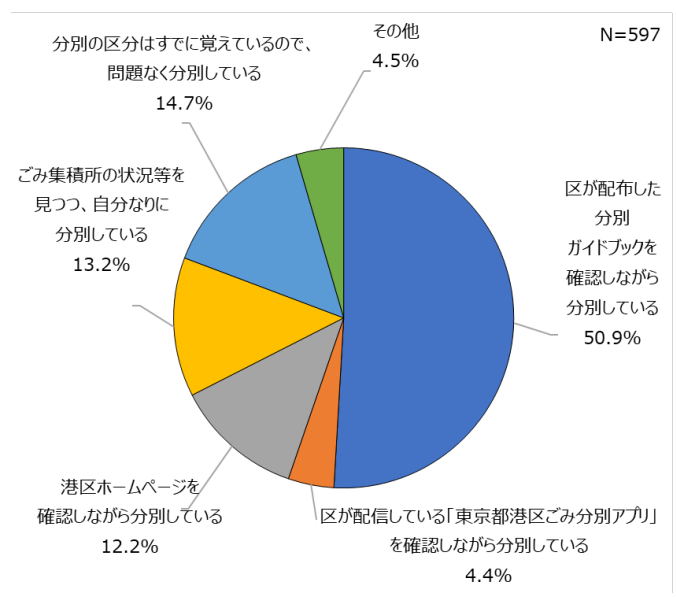


図 1-14 ごみと資源の分別方法【区民アンケート問 17】

ウ リチウムイオン電池等の危険性の認知

「知っていた」の割合が約 90%となりました。

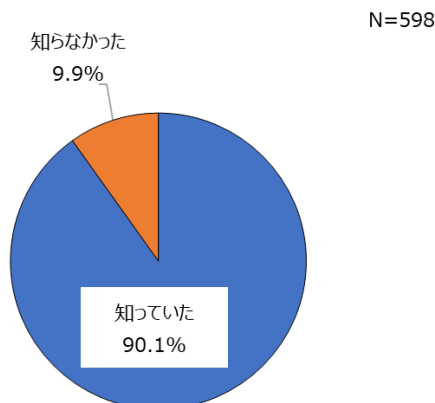


図 1-15 リチウムイオン電池等の危険性の認知【区民アンケート問 18】

エ 廃棄したことがある小型充電式電池使用製品

「モバイルバッテリー」の割合が約 33%と最も高く、次いで「捨てたことがない」(約 16%)となりました。「その他」の内容としては、「処理方法がわからずに困っている」、「量販店へ持ち込む」、「回収業者の利用」の意見がありました。

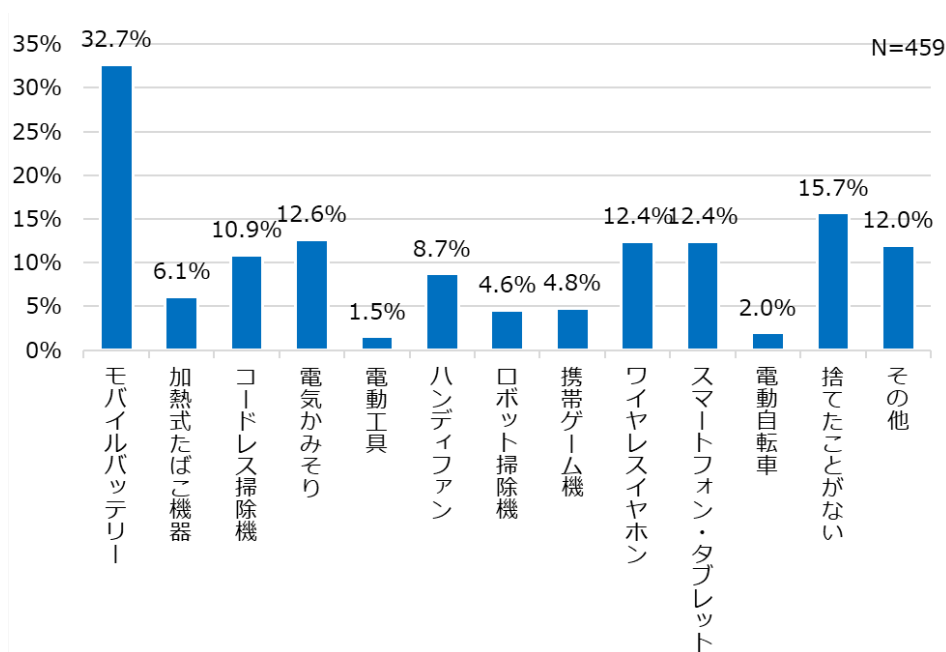
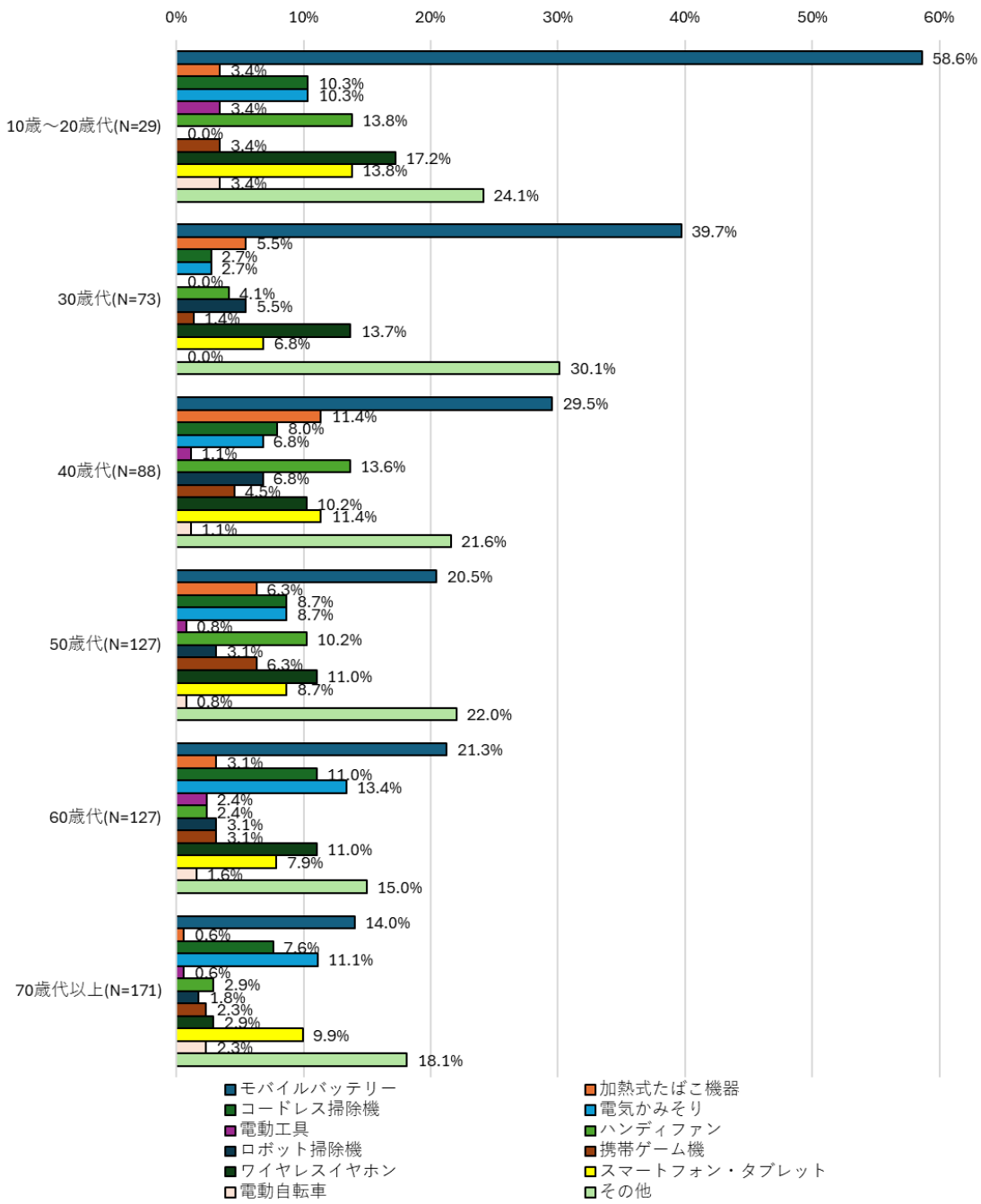


図 1-16 廃棄したことがある小型充電式電池使用製品【区民アンケート問 19】

【参考】年齢別クロス集計



(7) 食品ロスについて

ア 食品ロスの認知状況

「知っているし、深刻な問題と考えている」の割合が約 56%と最も高く、次いで「知っているし、意味も分かる」（約 43%）となりました。

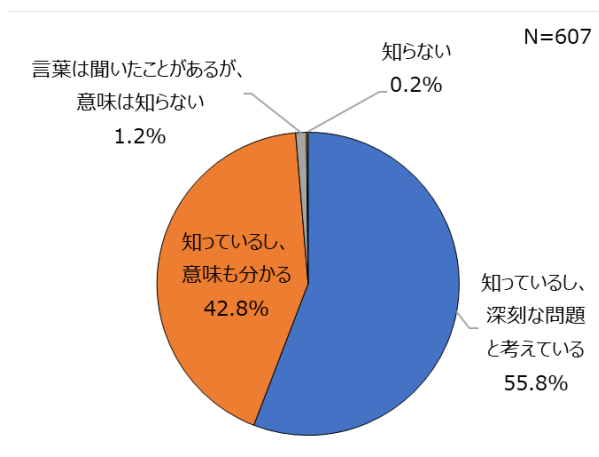


図 1-17 食品ロスの認知状況【区民アンケート問 20】

イ あなたの食品に関する普段の行動

「冷蔵庫等の中の食品を確認してから、食品を買うようにしている」、「賞味期限を過ぎた食品は、食べられるか否かを自分で判断して、食べるようにしている」、「調理の際には、食べきれない分の量を調理するようにしている」、「調理の際には、食材を使いきるようにしている」、「冷蔵庫の中の食材を、把握している」、「食事の際には、食べ残しをしないようにしている」において、「常に行う」と「ある程度行う」の合計が9割を越えました。

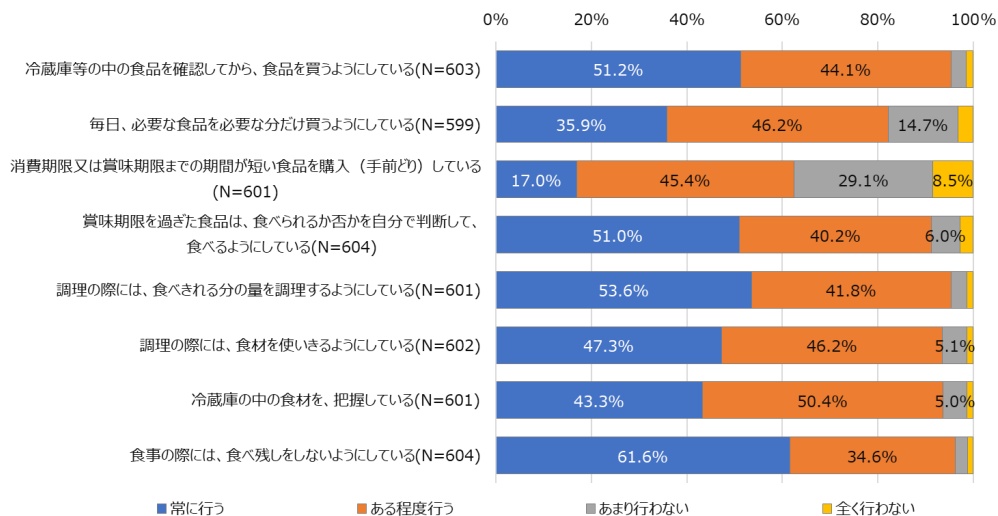
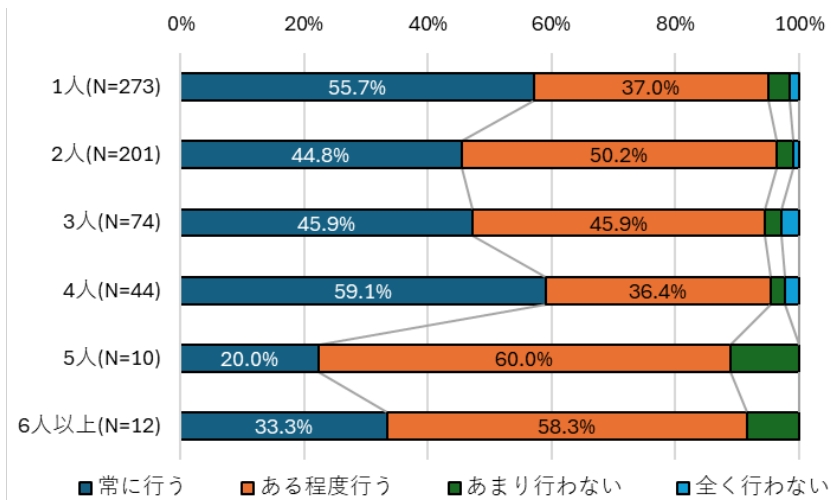


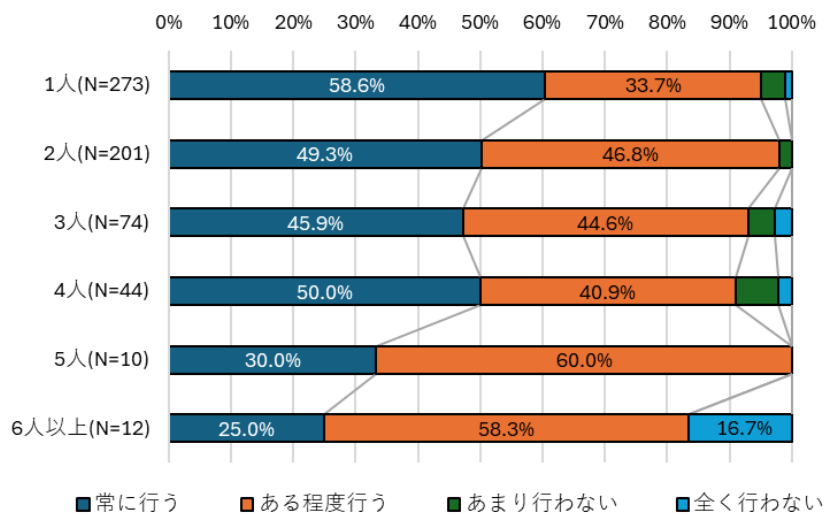
図 1-18 食品に関する普段の行動【区民アンケート問 21】

【参考】世帯人数別クロス集計

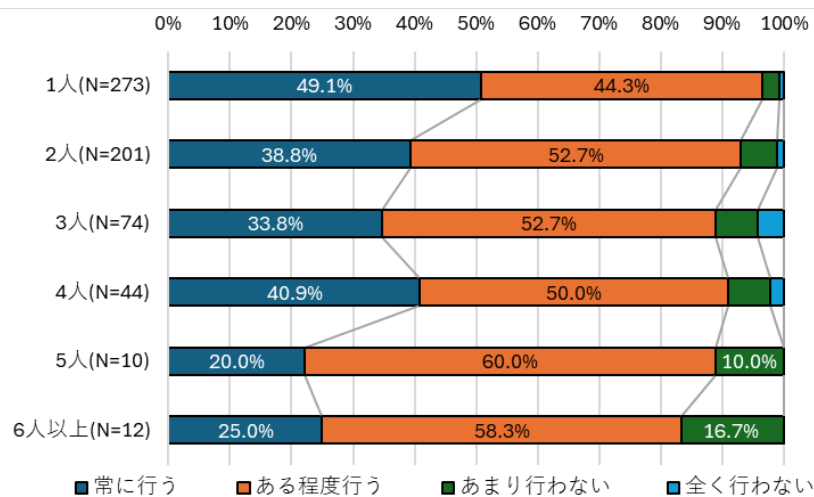
冷蔵庫等の中の食品を確認してから、食品を買うようにしている



調理の際には、食べきれる分の量を調理するようにしている



冷蔵庫の中の食材を、把握している



ウ 食品ロスが家庭で発生してしまう場合の原因

「食品の消費期限、賞味期限が切れてしまったため」の割合が約 56%と最も高く、次いで「食品を買いすぎたため」（約 36%）となりました。

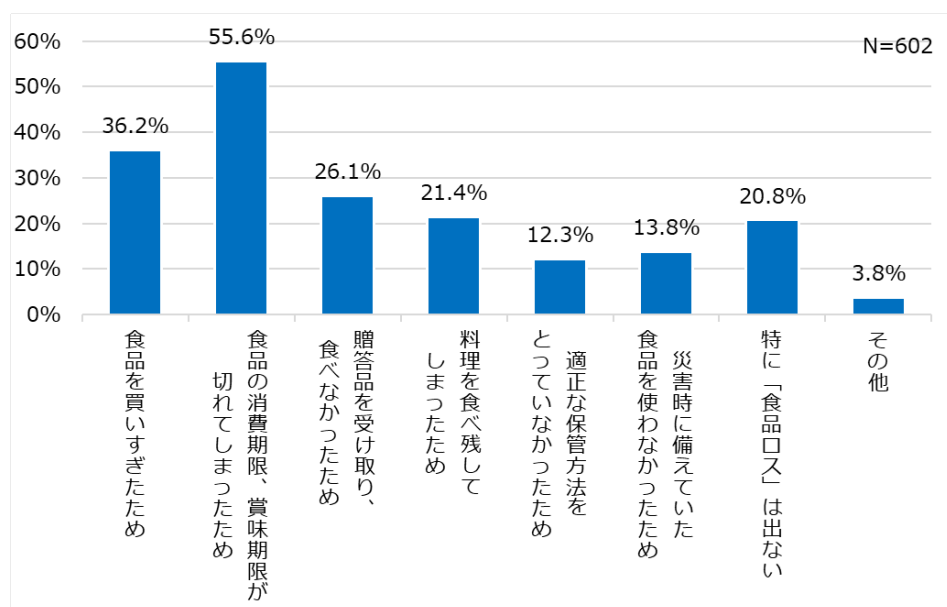


図 1-19 食品ロスが家庭で発生してしまう原因【区民アンケート問 22】

エ 「食品ロス」が外食や宴会等で発生してしまう場合の原因

「注文時に思っていた量よりも、多くの量が出てきてしまった」の割合が約 48%と最も高く、次いで「コース料理などでまとめて注文したが、食べきれなかつた」（約 26%）となりました。

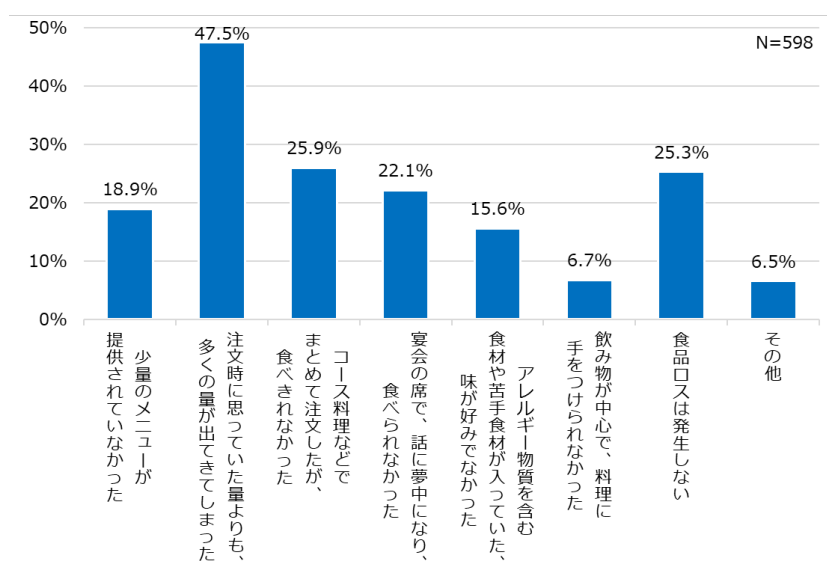


図 1-20 食品ロスが外食で発生してしまう原因【区民アンケート問 23】

オ 未利用食品廃棄経験の有無

「あまりない」の割合が約 56%と最も高く、次いで「ある程度ある」（約 24%）となりました。

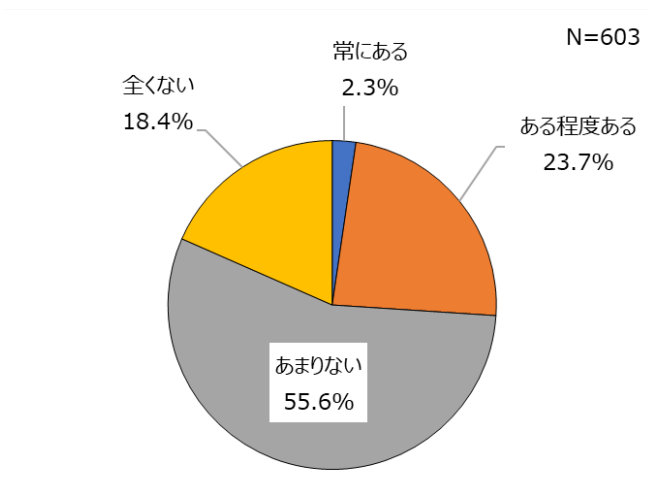
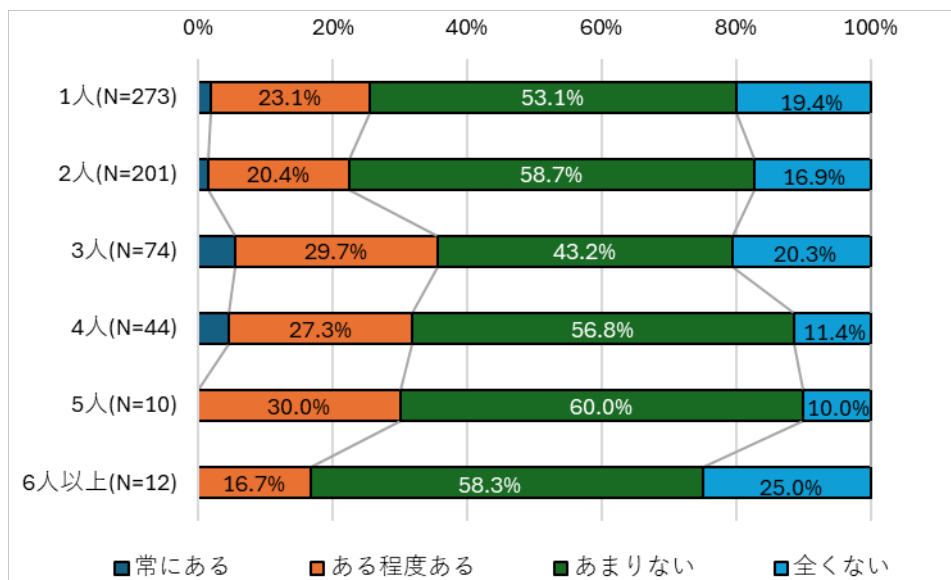


図 1-2 1 未利用食品廃棄経験の有無【区民アンケート問 24】

【参考】世帯人数別クロス集計



カ 捨ててしまったことのある未利用食品

「全く捨てない」の割合が最も多かったのは「米類」の約 83%でした。一方で、「野菜類」および「調味料」において、「よく捨てている」と「たまに捨てている」の合計が約 25%を超える結果となりました。

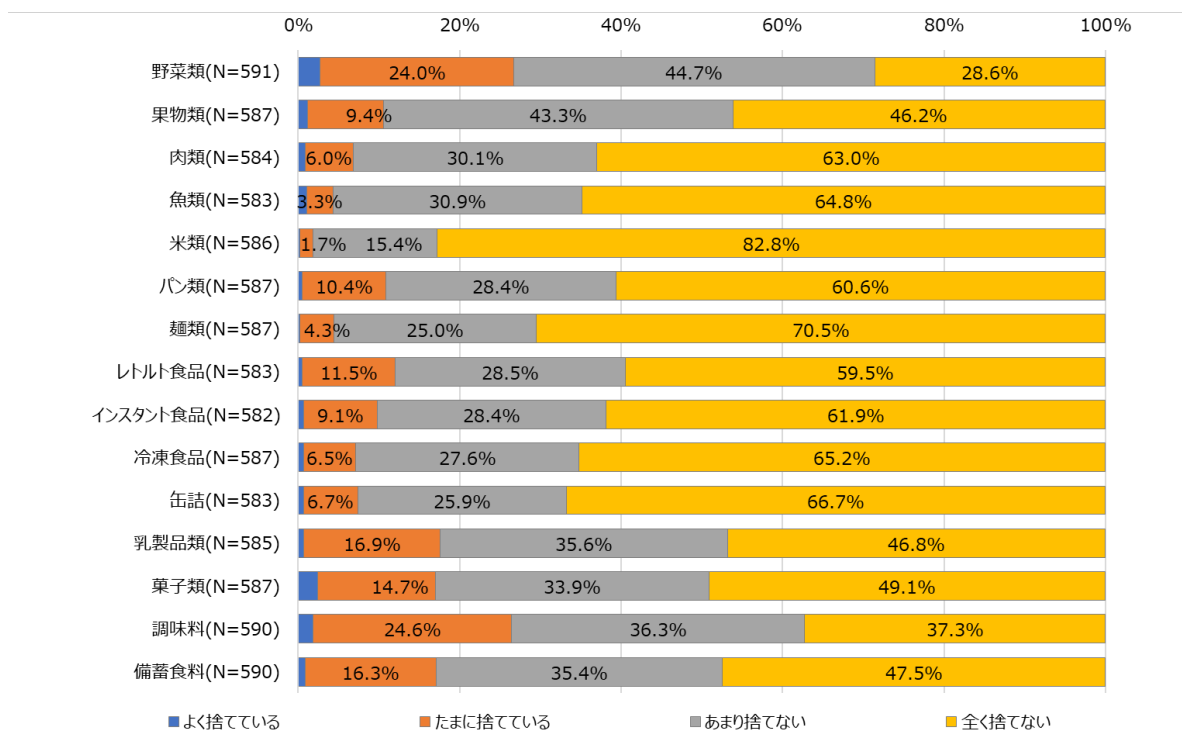


図 1-22 捨ててしまったことのある未利用食品【区民アンケート問 25】

キ 区が実施している食品ロス削減施策の認知

フードドライブ以外の全ての項目において、「知らなかったが、今後は参加（利用）したい」と「知らなかったし、参加（利用）したくない」の合計が 90%を超える結果となりました。

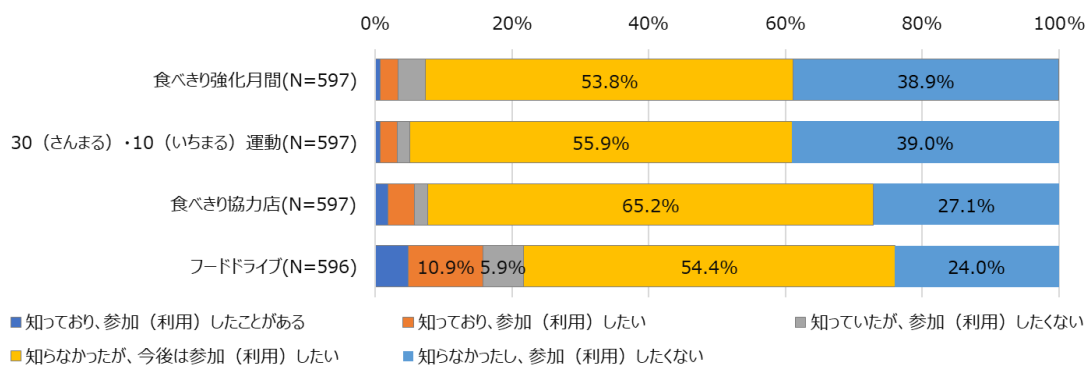


図 1-23 区が実施している食品ロス対策施策の認知度【区民アンケート問 26】

ク フードドライブを利用するために必要な要件

「常設の受付窓口が便利な場所にあること」の割合が約 73%と最も高く、次いで「集めた食品が、それを必要とする区内の人に提供されること」（約 54%）となりました。

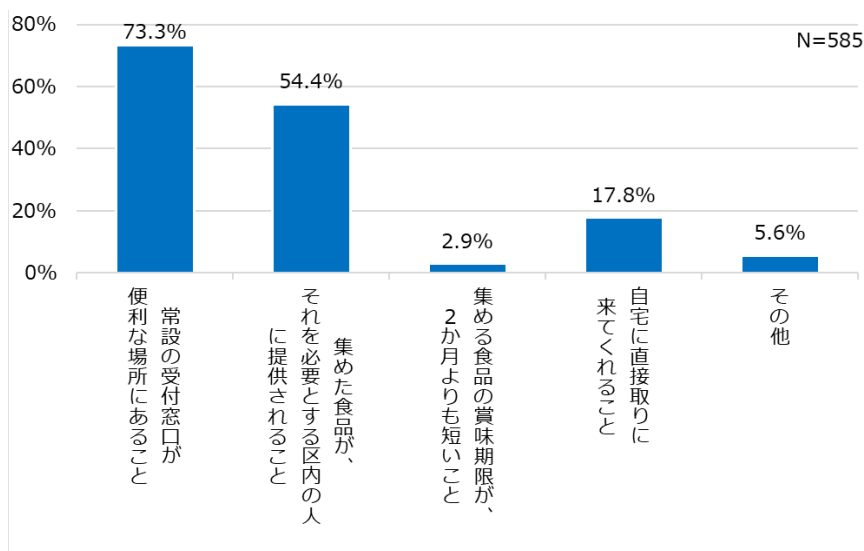


図 1-24 フードドライブを利用するために必要な条件【区民アンケート問 27】

ケ 食品ロスに関する自由意見【問 28】

【買い物時の工夫】
生鮮食品は食べ切れる分だけ買えば良いと思っています。安くても必要なければ買いません。
食べる分だけ購入するように心がけています。
食べ切る分量を作る。冷蔵庫内の食品を確認して買物に行く。大量買いをしない。野菜類は冷凍出来るものはすぐ行う。これらを心がければ食品ロスにはならないと思うので頑張ります。
自分の食べられない食品は買わない。食べられる量だけ買う。
必要な分だけを購入し、食べることが必要だと思います。
私は今日1日分（1日～2日分の）の食品を買うようにしている。
食品ロスが出ないために大量に買すぎない。又、冷凍室に入れておけば保つ。
あまり買いだめしなければ、ロスはないと思う。
毎日の豊かな暮らしを考え、食品の最低必要分をなるべく購入し食べきるように意識している。
ファミリー世帯で発生してしまう確率が高いと思います。日頃の生活習慣やその人それぞれの性格も出てしまうのかも知れません。最初から食べ切れる量や期限を考えて購入すれば食品ロスは起きないのでしょうか。一人一人の意識の持ち方ですね。

【買い物時以外の工夫】
まずは家庭から捨てる食品を出さないよう心がける。
改めてお店へ行っても頼み過ぎないとかお店も改善出来る箇所は案を出せばいくらでもあると思うのでみんなの意識を変える必要があると思う。何回も何回も促す話題になるようにする。自分も含めて意識が低いと思う。
果物や野菜の皮は捨てず食べることにしています。美味しくいただけますし、栄養もありますし、生ゴミがほとんど出ません。皮を剥くのが当たり前と思っている人が多いと思うので、料理研究家の方が映像やポスターで区から発信すると有意義なのではと思います。
食品ロスの意識をつけるのは非常に大変。飲み会などでは少ないと怒られ、多いともったいないので難しい。残った物をつつんでくれるお店が増えて欲しい
注文時に食べきれない量を伝える。
外食時に食べきれないと思ったら、事前に半分の量や少量にして頂くようにしております。
基本的に食品ロスをしない様な生活をしています。このアンケートに回答することで、具体的にいろいろな食品ロスに関する取り組みがある事を知り、興味深かったです。
海外では持ち帰り容器の設置を飲食店に義務付けている所もある。区でもこのルールを導入して欲しい。
1人暮らしの高齢者です。胃がんで胃を切除した為、食品の量は多少減少しましたが、食べられる量に気を使っている。余分には、用意しない事に気を付けている。
食品ロスも常にないように気を付けていますし、ビニール袋等、店から貰わず、マイバックを用意。
自然の恵み感謝し、食品を無駄なくいただきたいと思います。
我家は食品ロスは全くと言っていいほどない。皮まで頂いています。
食品のロスを無くすために努力します。
少し位賞味期限が切れていても調理して食べれば大丈夫なので、よほどくさっていない限り使いきりロスはあまり出していません。

【小売店】
割引率を5%とかではなく50%、60%などロス品はギリギリまで値引きすれば買うと思う。
賞味期限の短い品の積極的な値下げ。
店舗での廃棄を少なくしたらよいとおもう。従業員の飲食可など。
コンビニや販売店などの廃棄までの時間見直しや、超然値引きの推奨。
もっと規格外野菜も安く販売すればよいと思います。
ハーフサイズ、1/4サイズに切ったお野菜など、販売店で増やしてほしい。(仕方なく買うと、使い切るまで同じメニューになる)。年末年始に贈答品が増えて、食べきれないか使いきれなくなる。お中元お歳暮を金券にしてほしい。又は区内でお中元お歳暮の物々交換フェアなど開催してほしい。
小売店の食費ロスは、発注管理の問題でもあるので、消費者に押し付けないでほしい。賞味期限が近いものは、割引などで調整し、消費者に選ぶ自由を与えてほしい。
店舗では手間を省くために全て同量にしているようですが、せめて米くらいは大中小を選択させてほしい。残すことにものすごく罪悪感を感じる。(年齢や性別によって食べられる量が全く異なる)外国では持ち帰り袋が用意されている店が多いと聞き、日本でもそうすべきだと思います。スーパー等で期限がせまっている物に「HELP!」マークとか付けて値引きせず、今日中に食べる人を買ってもらって、食品ロスを少しでも減らすべきと考えます。このままだといつかバチが当たると思います。

<p>飲食店さんは少量メニューや量が選べるメニューを増やし、スーパーなど小売店さんは賞味期限が迫った商品の値引きを積極的に行い単身や少人数家族も多いので小容量パックと大容量パックとの価格差を無くしていただければ廃棄物も減るのではないかと思います。</p> <p>一人暮らしや高齢者が増加する昨今、少量や量り売りの食品がリーズナブルに買える所が増えるよう行政が誘導・奨励して欲しい。</p> <p>コンビニ等でもスーパーのように賞味期限が近いものは、値引等をして売り切った方が良く思う。</p> <p>1人暮らしをしていると、スーパーの物の量が多く、無駄にしてしまうことがあります。スーパーでの食品ロスのための取り組み（賞味期限が近いものは安く売りきるなど）はとても良いと思いますが、もう少し量を少なくしても良い。</p> <p>消費期限間際の食品は、割引にしてロスを減らして家計にやさしい取り組みをして頂きたい。（業者やマーケット等）</p> <p>割引して売ると良い。</p> <p>個人よりも企業・商店（レストラン・スーパー）に、売り方・提供方法を検討して頂きたい。</p> <p>事業者の取り組みの方が家庭よりも重大。</p> <p>家庭よりも、コンビニなど食品を扱う業者への対策を強化すべきである。実行があがる。</p> <p>容器や袋を持参して持ち帰り可のものを分かる様に、店内明示。宴会の最後に、持ち帰り用パックを最初から設置し、期限シール（本日中）を貼っておく。</p> <p>コンビニ・スーパーなどの中食での破棄対策を、例えば問 27 の様な、また子ども食堂等に活用する仕組みが出来ないでしょうか。大量にいつも捨てていて本当にミスマッチが”もったいない”と感じます。</p> <p>販売される食品のうち、食品を美しく見せる為かロスにつながる物が多い。例えば刺身用の大根や海藻類。</p> <p>店舗や製造会社の過剰包装を削減することは、購入者の意識変革にも有益だと思います。</p> <p>恵方巻みたいなくだらなことをしない。</p> <p>単品で欲しい物（特に野菜等）が袋詰めになっていることが多く、独り身ではダメにすることがある。</p> <p>家庭や飲食店から出る食べ残しも問題だが（近年少なくなっていると思う）、賞味期限切れの食材をどうするか、期限内に使い切る為の企業努力は必要。又、区内外を問わず、市場に出せないサイズや多少の傷などの野菜等を、区民に割安に提供してくれるルートを作って頂き、生産者と消費者を結べると良い循環が出来る。</p> <p>スーパー、個人店の余りものは、動物園などにあげたらいいと思う。スーパーなど仕入を少なめにすればいいと思います。</p> <p>コンビニなどで賞味期限切れをすてるのはもったいないと思います。有効活用できる方法があればいいのに。</p> <p>期限切迫品を集めて安く売ってくれる場所があればうれしい。（物価高で困っているの</p>

<p>【飲食店】</p> <p>飲食店の食品ロスの対応策や創意工夫点などを評価点として見られると良いなと思います。</p> <p>外食で食べきれなかった分は持ち帰れるような文化を醸成してほしい。冷凍庫購入補助でも多少効果は出ないものでしょうか。</p> <p>飲食店でハーフサイズや人数分などを頼めるようにして欲しい。</p>

飲食店での量り売りやAI予測による無駄のない仕入れ、食糧生産を進めて欲しいです。
飲食店でご飯の量を選べるとよいかもしれませんが、小でも量が多いお弁当屋さんもあるため、ある程度、量の指標を統一できるとよいかもしれません。
海外では、持ち帰り容器の設置を飲食店に義務付けている所もある。区でもこのルールを導入して欲しい。
飲み会で、あまり手を付けられていない食べ物を見かけることがよくある。肥料や家畜のエサへの活用を進めて欲しい。
何しろパーティーの食事について一考を。
もっと区民に区が取り組んでいることをアピールするべき。食品ロスに関しては、家庭だけでなく飲食店を取り込んでいくべき。パン屋さんなど、その日に売れなかったパンを提供してもらうとか。
もっともっともっともっと、orderした食材（レストラン等）の場合、持ち帰りをあたりまえに出来るように、港区（日本で先駆者的）から行動すべき。
出された食品の食べ残しを持ち帰る際の厳格化の影響も多いと思います。食べ切れなかった分を勿体ないと思っても許可されない場合は、残った分は全廃されると思われまので、少しでも食品ロスを減らしたい思いから何か良い手立てがありましたら教えて頂きたいです。

【教育・啓発】
家庭ではあまり食品ロスはないだろうから、大手業者にレクチャーを毎年すべきだと思う啓蒙活動が必要。
食品ロスについて、小学生から教育の一環として学びの機会を増やし、未来に向けて繰り返さないようするのも大事である。
家庭での知識と献立技術の向上がロス削減につながっていると思っています。
とても深刻だとも思います。啓発をもっと頑張ってもらいたいです。ロスを減らせば、経済と環境にメリットばかりです。もっと厳しく真剣に取り組むべきです。とくに企業に対して。コンビニ等。
子供の時から教育しなければ、定着しないと思う。
食べられない、食べきれないは、食料危機の国からしたら信じられない事。関係無いと思わず、どこから食品が来ているのか意識が必要。いつでも何処でも、スーパーマーケットに品切れが無いというのもすごい事。もったいないの精神は、アフリカで活躍しましたが、日本では忘れられています。啓蒙が必要で、学校で、子ども達から親に再教育が必要です。
豊食の時代になってきており、子供教育から始めないと、中高年になった人々には意識変革は不可能。温暖化は、専門家の本当の意見を聞くと制御不能とのこと。やがて食糧不足の時代が来るとは思います。小中学校での教育が大事。戦後の焼け野原の時代をみんな忘れてしまっている。「人間は歴史からは学ばない」

【寄付・譲渡等】
フードドライブは知らなかった、もっと身近に使えるようにして欲しい。
残ったものの廃棄は本当にもったいないです。子供食堂に持って行くとか、買いものに行けない老人とかに届けるとか、何かいい方法を考えたいと思いますが。
海外の事例で、自宅で食べきれないものを入れる冷蔵庫があるのを見たことがあります。そのような仕組みもあるとよいです。
地域の3人以上子供がいる人、体の不自由な人、70才以上のシニアに、安く（100円～300

円) 無料で(登録して)(期限の近い、日切れても賞味期限がある物)
フードロスに寄付したいが、賞味期限が厳しすぎる。フードドライブに参加している店に持参しようと思っても、元気がなく、つつい賞味期限が過ぎてしまうので、マンション単体でよいので集めて来て欲しい。
家庭や飲食店から出る食べ残しも問題だが(近年少なくなっていると思う)、賞味期限切れの食材をどうするか、期限内に使い切る為の企業努力は必要。又、区内外を問わず、市場に出せないサイズや多少の傷などの野菜等を、区民に割安に提供してくれるルートを作って頂き、生産者と消費者を結べると良い循環が出来る。
貰ったが好まないお菓子やジュースなど(健康面に配慮)捨てることありますが、必要な人や食べたい人に渡すことができればムダがないと思います。ただし、コロナ以降、未開封でも一度他人の手に渡った食べ物を嫌がる人もいると思うので、その点でも安心できる仕組みが必要だと思います。
食事に困っている人もいるので、未利用品などを積極的に進める必要がある。企業も放っておけば産廃になるので、早目早目の寄付を考えるべき。

【リサイクル】
食品ロスはなくならないため、再利用化や肥料化などへの来利用や利活用への対策と実行を区の予算でおこない、収益化をはかり、収益は区の課題解決に活用できるよう、資源循環・経済循環する仕組み制度を官民で作るべき。港区には法人も飲食店も多いため、一つにまとめ上げるまとめ役を区が担い、SDGsの先進的な自治体事例を作り横展開すべき。
飲み会で、あまり手を付けられていない食べ物を見かけることがよくある。肥料や家畜のエサへの活用を進めて欲しい。

【賞味期限・消費期限】
賞味期限を必ず確認しながら、食べているので食品をロスしたことはないです。
賞味期限表記を緩めにする。賞味期限に固執して過ぎたら食べられないと思っている人が多い。ゴミ出し拠点。
市民が賞味期限と消費期限の違いを理解するところから始めるべきだと思う。また、スーパーやコンビニから出る食品ゴミには余裕で食べられるものが多いので、それをなんとか貧困の人に分け与えられないものか。
賞味期限をもう少し延長してもよいのでは。
家庭や飲食店から出る食べ残しも問題だが(近年少なくなっていると思う)、賞味期限切れの食材をどうするか、期限内に使い切る為の企業努力は必要。又、区内外を問わず、市場に出せないサイズや多少の傷などの野菜等を、区民に割安に提供してくれるルートを作って頂き、生産者と消費者を結べると良い循環が出来る。
賞味期限は少し神経質になり過ぎている人が多いのではないか。企業によっては、かなり短めに記してある。
一度ヨーグルトをフードロスを心がけて手前からとった所、賞味期限が一日前でショックでした。(単身な為、フードロスをおこす所でした)

【その他】
みんな残さずに食べたらいいのにね。
うまく循環させられるといいと思う。プレゼントなどは、相手が捨てることにならないように今後、工夫したい。
質問事項が長過ぎます！

このアンケートは全てペーパーレスあるいは最小限にすべきではないでしょうか。
港区での取り組みの現状を、分かりやすいように開示したら良いかと思います。例えば、食べきり強化月間 お店へは 90%展開済など。
食品ロスの前に、日本国内の自給率を高めるべき。輸入して食品を捨てている今の日本に憤りを感じる。国は一体何をやっているのか。
企業の問題が大きい。
今後は物価高が続くそうなので、それに伴ってロス量は減っていくのではないかと。施策の優先順位を低くてよいと思う。
テレビなどのメディアで大食いなどを煽っている。
食品廃棄物の削減に取り組むレストランを宣伝するのは素晴らしいアイデアだと思います。スーパーマーケットに期限切れの食品をフードバンクに提供することを義務付けるフランスの法律（ガロ法）も検討してみたいかでしょうか。
施策について知らなかったので勉強します。
区において政策を実施していることを知らなかったため、今後、勉強させて頂き、理解を深めていきたいと思っています。
外食で注文したのに、写真だけ撮影して残すような輩には罰金を課すべきだと思います。
今の人たちは贅沢になりすぎているので、無理だと思います。
食品ロス削減の取組は良いことだと思うが、衛生上、安全上の点から積極的に取り組むことにためらいがあります。
食品ロスはとても大切と受けとめております。問 26 の質問に対しては、該当することがわかりにくかった。
区として、効率的かつタイムリーな回収/収集、分配の仕組み作りをして欲しい。港区として全国に誇れるような仕組みづくりに期待したい。「勿体無い」と思いながら、食品を捨てている家庭も多いのでは？大手スーパー、コンビニなどと協力の上、仕組み作りを期待したい。
食事作りは体力を要します。献立を考えていても、当日作れず総菜を無駄にしてしまうことも多々あって反省します。頻繁に買物に出られないので（身体不自由）まとめて買いこんでしまうごとに無駄を出しています。
どれだけ予測した分を作ったり、用意しても余ってしまうことはあるため、それがロスと呼ばれることは、なんとも難しいこと。足りないということに関しておそれている部分があるのだと思う。無駄はよくないが、様々な食品を生産、作ることで労働がうまれる部分もあると思うので、食品ロスがとても悪いことだとは思わない。この社会にはもっと他にもロスがあると思う。ロスと無駄ともったいないの価値観は難しい。
気をつけているつもりでしたが、このアンケートを通して知らないことがたくさんあることに気がつきました。

(8) 区の清掃リサイクル事業に関する意見について

【粗大ごみについて】
近所で粗大ゴミの不法投棄がみられます。シールを 1、2 枚だけ貼り放置されていたのもありました。料金が判別しにくい家具や機械も多いので、なんとなくの金額で出したのかとも思いますが、そういったケースが見られた場合、不足分がどのくらいなどを提示してもらえると良いのかなと思いました。
粗大ゴミでカーテンレールを出そうとしたら、長さ制限があり回収できないので半分に切ってから出してほしいといわれました。そんな道具は持っていないと伝えると、マンションの管理人さんに相談したらいいと言われました。管理人さんには以前セクハラを受けており絶対に頼りたくないで困りました。切る道具の貸し出しサービスがあると嬉しいです。あとは家具のリサイクルショップが遠すぎてちょっと不公平じゃないかと思っています。リサイクルショップ、スポーツセンター、庁舎の場所&日曜開庁の制度は品川区を見習ってほしいです。あとカイロは資源ゴミにしてほしいです。要望ばかりですみませんが収集には大変感謝しております。今後ともどうぞよろしくおねがいたします。
粗大ごみの持ち込みができるので助かっています。いつも日程が埋まっています、だいぶ先になるのが残念ですが。
マンションに居住していますが、粗大ごみを部屋まで取りに来て欲しいです 高齢者には無料で対応して頂いているようですがまだその年齢には達していないので躊躇しています。多少費用を負担しても構わないのでこのサービスを是非取組んで頂きたいです。
粗大ゴミ無料化。
車の駐停車に配慮してほしい。粗大ゴミなど捨てづらい。より良いリサイクルで他のモデルになるようにしてほしい。
粗大ゴミ持ち込み日を日曜日以外でも設定してほしいと思います。
大きい TV も引き取って欲しい。大きな家具も。部屋まで取りに来てほしい。使えそうな物を、区で沢山リサイクルショップ作って欲しい。
ごみ処理券を貼らずに（有料化になった為）不法投棄する会社、個人がいる。
粗大ゴミ回収の申し込み、支払方法の簡略化や料金表（マンション等、貼れるように、破れないもの）が分かる様にして欲しい。製品に地域の出し方に従ってとよくあるが、区及び都の出し方はどうかが分からない。処分して下さる立場の方の当たり前が十分に伝わっていない。
【施策・制度・提案】
多摩地域の有料ごみを例にだしていますが、人口密度や一軒家の割合、税金などを考えると安易に引き合いに出すべきではないと思う。税金はインフラやゴミ捨てにまず使われるべきだし、路上にゴミ箱が無いのも不便きわまりない。今年ニューヨークに行ったが至るところにゴミ箱がありキレイに管理されていた。テロの心配というもっともらしい言い訳でサービスの手を緩めるとは海外旅行客も不便を強いられて気の毒でもある。ニューヨークでできて港区でできないとはあり得ないので、市民の事をもう少し考えて元に戻してゴミ箱設置をしてほしい。
ゴミ袋無料で頑張ってくれているので感謝しかない。
区民の要望に対し、出来ない理由を作文するのではなく、出来る為には何をすべきかの計画を提示し、実行に移してほしい！
電気製品は便利な反面、廃棄に戸惑うことが多くなってきている。例えば町の電気屋さんなど身近なところで、回収をしてくれると助かる。購入だけでなく、回収の助成を店舗にすると、店舗の支援にもなり、高齢な人なども利用できてみんなが助かるのではとちよ

と考えました。
家庭ゴミの収集場所を集約して回収の労力を減らしてもいいのでは。拠点回収の品目を増やしてゴミを減らせるように。簡易包装品購入でポイントが貯まる。ペットボトル飲料購入を減らしたいが水道管が古いから水道水を飲むことに躊躇する、いくら東京の水はおいしいとか宣伝しても水道管が古ければ汚れた水しか出てこない。
家庭ごみについて：港区では、概して戸建てや集合住宅の敷地や敷地前の道路に面したところにごみ袋を積み重ね、ネットで被せるという方法が取られている。回収ルートの関係で、大通りなどは昼近くまでゴミが置かれている。夏には腐敗が進み、あたりには異臭がただよっている。また、美観も損なっている。美しい町並みとは言えない。せめて他の先進国のように、大型コンテナやトラッシュビンに入れるというシステムを構築してほしい。場所の確保、設営の費用、収集する側のオペレーションなど課題があると思うが、専門家に意見を仰いでみてはいかがだろう。毎日午前中は区内のどこかしこの道路沿いにゴミの塊が点々と並んでいる。見慣れた光景といってしまうとそれまでだが、快適な環境づくりへの努力も、行政側にとって必要なことではないだろうか。
義務化と分別の仕方を港区住民の民度底上げのために区税を使うべき。
ルールを守る人が守らない人の分まで負担が強いられることのないルールメイクをお願いします。清掃リサイクル事業の枠に縛られることなく、区の税収を効果的・効率的に使い（ムダは削減し）、本当に必要なサービスの継続をお願いします。
もっと気軽にリサイクルに参加できる場があると良い。
一人暮らしなので大きい重いものをリサイクルに出すときのサポートが欲しいです。
レストランなどでお持ち帰り用の容器を用意してくれるとよいと思います。食品ロスについては、子ども食堂などに使えるようなルートがあるとよいと思っています。
アンティークの家具など、まだ使用できる家具があります。港区のリサイクル事業で持ち込む制度があるのは知っていますが、料金がかかっても引き取りに来ていただけると大変助かります。ご検討をお願いします。
ポイントがたまるなどがあると、やりがいがある。
粗大ゴミ券を購入するのが面倒なので、モバイル決済出来るようにして欲しいです。
粗大ゴミの申し込みの枠が狭すぎて困っている。（日曜のみで数か月先）又、1点1点につき個々に有料なので、高額に感じる。拠点回収の場所が少ない上に、場所に依って、出せる物、出せない物があるのが大変に不便。（全項目回収可だと良い）ごみ分別アプリに「拠点回収の場所・出せる物」の項目を作って一目で分かる様にして欲しい。又、回収場所をもっと増やして欲しい。
アプリが使いづらい。高齢者はいきいきプラザが回収場所だととても分かりやすいし、定期的に訪れるので出しやすい。
物が循環できるシステムが充実できると良いと思います。
港区リサイクルセンターへ持込みをしたら、断られた経験があります。事前に事務局へ電話を入れて許可を頂き料金も支払ったのに現場で断られました。何故この様な事が起こるのでしょうか？こういう乖離をなくして貰いたい。港区リサイクルセンターへ持込まれた物品類はその後どこでどの様に処理されているのか、開示して頂きたい。（区で産廃としてどこかの事業所に出しているとか）リサイクル券の値段を見直して欲しい、高いと思います。
身障者のため戸別回収制度を利用させて頂いていますが、とても有難く思っています。

【ごみの有料化について】
ゴミ袋有料化などもってのほか。
有料化には反対。経済的負担が大きい。また、不法投棄の懸念があり、町の不健全さを目にしたくない。不況が続く中、生活環境に直接影響する方策を支持できない。
単身世帯なので、担税の効果をいちばん感じられるのが清掃リサイクル事業だ。有料化は慎重に検討してほしい。
利便性を損なわないでほしい。有料化はもってのほかである。無意味な分別は反対。焼却炉の性能を上げるべき。
清掃事業については日ごろ感謝している。しかし、このアンケートは設問が多すぎる。途中家庭ゴミ有料化の設問があったが、ただでさえ高額の住民税を払っているのに、ゴミ収集有料化は断固反対である。
不法投棄が増加するため、賛成できかねます。
港区は税金が高いからごみの有料化は困る。いつも丁寧にゴミ回収して下さり、大変有難いと思っている。
スーパーのレジ袋は、可燃ゴミとすべき！！有料化も大変疑問です。レジ袋がエネルギーになり、ゴミを燃えやすくするために。
リサイクルセンターは何度か利用しています。家具などいいのがあるので役立ちます。「ゴミ袋」を有料化して、ゴミ排出が無料でないようにした方がいいのでは。今のようにならば何でも公共サービスは「タダ」は良くない。とはいえ、もう手遅れかもしれません。東京一極集中は政策の問題もあり止まらないので。
ゴミ袋有料化には反対。海外や国内の他の自治体の例をいくつか知っているが、指定袋が高額、売切の店、タイミングが多い、等の問題の他、指定袋以外の袋でゴミ出しをする人がいるため、収集されずに置きっ放しになる。そもそもマナーを守らない人が指定袋以外でゴミ出ししているのだから、一度自分で出したゴミを回収して、再度指定袋に入れ直してゴミ出しするなどはしない。これは不法投棄を誘発し、街の美しさが損なわれる等、メリットなし。昨今問題になっているゴミ屋敷、汚部屋問題の助長にもつながってしまう。
家庭ゴミの有料について、努力してゴミを削減している家庭と、そうでない家庭とで不公平感がある事をこのアンケートで知り、有料化もやむを得ないと思うようになりました。

【発信・啓発・教育について】
外国人居住者への啓蒙や各国言語での表示や指導が必要と感じます。
またマシンガンズ滝沢さんの講話などあればお聞きしたいです。
今回のアンケートで、初めて知った事が多かった。もっと啓蒙活動をして欲しい！
清掃員の方々にはいつも感謝しております。事業については知らない事も多いので、もっと啓蒙活動を行っていただきたいと思えます。
区報で清掃事務所の見学を企画してほしい。1. 子供も大人も目で見て確認する 2. 分別したリサイクルのゆくえ→どのような工程で雑誌や缶、ビンが戻るか知りたい。
ホームページの見やすさ、アクセスの簡単さをもう少し見直して欲しい。（高齢者でも利用できる状況か、常に考えて頂きたい）
問 26 を読んで、とてもよくやっていると思いましたが、もっと啓蒙が必要です。又、絶えずきれいな場所に人はゴミを捨てないように、ゴミ処理もきちんとなされることを望みます。ただ、食品ロスのみならず、街を清潔に保つこと、その他全て個人の意識にかかっていると存じます。
もっと区民に知らせるべき。良く知らない人が大勢いると思う。アピールの仕方を工夫するべき。

いつも大変助かっています。マンションのゴミマナーが最悪なので啓蒙活動をして欲しいです。

紙資源リサイクルで不明な点が多いので、回収やリサイクル事業者の負担を減らすために、もっと周知やイベントなどするのはどうでしょうか。紙に限らずペットボトルやなんかも。例えば、写真紙は資源か、一度濡れたダンボールは出していいのか、油のついた紙、クレヨンで絵が書いてある紙、ペットボトルのキャップはプラスチックゴミではだめか、スーパーの食品トレイはプラスチックゴミではだめかなど。可能ならば単純な〇×のクイズゲームにして SNS で拡散とかしたい。

【取組について】

引越してきて1年未満ですが、このようなアンケートにもあるようにリサイクル事業への取り組みがあってとても素敵だと思いました。引き続き自分ができることをやっていきたいと思います。

ごみの回収、いつもありがとうございます。これからもきれいな港区を維持できる様、私個人も微力ながら協力できたらと思いました。

日常的に、いろいろ工夫しているように思えます。リサイクルを考えている人が多くいると思ってます。「もったいない」と思っている人が多いと思います。リサイクルは人手が多くいると思えます。又、いろいろな考え方があって、大変な事だと思います。自分は高齢者で、女一人の生活で、体を動かす事を主体に毎日を暮らしているので、無駄を作らないように日々考えています。今後は80代にどう生きていかれるかガンバります。

子ども食堂などへの寄付をしたいけれど、また企業もサポートにして欲しいです。

リサイクルは買うときより大変ですが、資源を大切に再利用するために、経費はかかってもやっていく事だと思います。地球を汚さないために。よろしく願いいたします。ゴミ収集の方々には、感謝でいっぱいです。

マンションなどで不要の物が廃棄、まだ使えそうな物があり写真にとって必要な方はお持ち下さいと掲示するのは、何か問題になりますでしょうか。

2~3年前この港区の清掃リサイクル習慣があり、色がついたビニール袋が配られました！あの時はプラスチックや可燃、紙類など分けるように指示がありました。今は分別がそこまでないので、可燃とプラスチックを一緒に捨てています。港区の取り組みが大変でなければ、リサイクルできる物は分けても良いのかなあと考えます。私は苦にならないので。

【リチウムイオン電池について】

リチウムイオンバッテリーの捨て方、外し方の案内。外せない場合の回収方法の案内。危険な状態の回収方法の案内を徹底してほしい。

充電機能付きの小型家電の回収。コストがある程度かかっても良いが、不法投棄などでコストがかからない実効性のあるものでぜひ。実際、マンションでも大型家電の不法投棄があるので、そういうことが起きにくい制度、実効性確保を。

リチウム電池だけどうにかもう少し分かりやすく捨てられるようお願い致します。

モバイルバッテリーの廃棄方法を明示して下さい。仕分け作業を仕事として提供することで雇用を増やしつつ、住民の目が厳しくなりすぎるのを防ぐ（分別の啓蒙はしていくとしても）好循環を生むことは出来ないのでしょうか。

ゴミの事で認識不足を反省した。リチウムイオン電池に関しても、理解を深めたい。

【企業について】
製造元がディスプレイトレイなど、無駄なものを無くしていくのがよいとおもう。
スーパーへ以下のような働きかけを行って頂きたい。お肉、お魚が入っているプラスチック容器を、木などから作られた燃える容器に変えるようにして欲しい→結果、プラスチックゴミが減る。カフェ等のお店への働きかけ：店内用のマグカップを推奨し、使い捨て容器を減らす。
一般家庭よりも事業者系ゴミや観光客のだすゴミなどについてのほうが取り組むべき課題が多いと思う。
ごみの減量についてもっと力を入れて欲しい。過剰な包装が多すぎると思います。食料品等の買い物だけでも、ものすごい量のプラごみが出てくる。企業、小売り店への働きかけも必要だと思います。タバコのポイ捨て、犬のフンの放置等も多く感じます。積極的な改革を期待しています。
ごみ処理券を貼らずに（有料化になった為）不法投棄する会社、個人がいる。
リサイクル品を集めるスポットが身近な所があれば、（各スーパーなど）トレイやペットボトルなど日常的に出るゴミをリサイクル出来ると思います。
牛乳パック、食品トレイの回収箱が減ってきていると感じます。利用方法を守らない人がいるためだと聞いていますが、守れるように対策を検討して頂きたいです。
場所の特性で、カフェのテイクアウトできる店が多いのか、飲み残して家の玄関や駐車場に捨ててある事が多い。ゴミ箱設置を店（売る）に多くしてもらいたい。

【分別・集積所について】
ごみのカラス対策をしてほしい。収集所にボックスを作る等。
住んでいる賃貸マンションで、本来有料の粗大ゴミを共有のゴミ捨て場や家の前に放置している住人がいる。悪意があってやっているのか、有料と知らずかは分からないが、賃貸の管理会社と行政で提携して啓蒙を進めることはできないのかと思う。
分別がこれ以上面倒になると、ルールを守らない人も増えるのでゆるくていいです。実際に現在ペットボトルのラベルやキャップを取らずに捨てる人が多いです。
マンションの集積所のマナーが本当に悪い。ゴミの捨て方教育をどうすればいいか毎回考えている。段ボールを紐で結くどころか、そのまま出す人も多い。マインド面の強化が必要。
路上に置いてある回収前のゴミをカラスが漁る状況がまた増加している様に感じます。網の利用等のルールを守って欲しいと思います。
プラごみを勘違いしている人が多い気がする。リサイクルか可燃か。USB ケーブルなどケーブル系の出し方がわからない。
古着の回収箱が近くにあり、土日回収していただくと運びやすい。
いつもお世話になっております。自分は利用する側で回収してもらっていつも感謝しています。ありがとうございます。何点か思う事があります。分別に関して分別は何かと思う事が多々あります。カバンを捨てるにも金具が付いてるし、化粧品のパーツなど分別に分からない事だらけで検索ワードを増やして欲しいです。いつも利用してる側なので何が大変か自分を含めて知る必要があると思います。住んでいるのだから色々知る必要がありますし、みんなで環境良くしていこうと思ってやらないといけないと思う。もし、イベントがあるならば参加してみたい気持ちはありますが、みんなが土日休みではないのに土日開催される事が多いですよ。そういうのも何で決めつけるんだろうなって思います。これをきっかけにリサイクルって何をどうすればいいのか知ってみようと思います。よろしくお願い致します。

分別してますが、マンションの管理人がさらに分別しているので詳細は不明。
ゴミ出しの日をちゃんと守って出して欲しい。他のマンションからゴミを出す人がいる 私はリサイクル分別をきちんとやっているが、ビル内（テナント）の人達は、リサイクル分別をきちんとしてもらえないので困る。分別は難しい、個人的に色々と考えがあるから。
マンションなので分別をちゃんとせず適当にやっている印象がある！（日本語がわからないのか）
アプリが使いづらい。高齢者はいきいきプラザが回収場所だととても分かりやすいし、定期的に訪れるので出しやすい。
マンションは外国人も多く住んでいるため、分別が出来ていない！有料化などの話の前に、外国人にきちんと分別するように徹底して欲しい！！
燃えるごみと燃えないごみの分別をしても、結局一緒に処理されているという話を聞いたことがあります。事実なら個人の協力、努力は何のためか疑問に思います。
数種類の素材が使われている時など分別が難しい物、結局可燃ゴミに出してしまっています。
分別して出しますとキッチンと回収していただけますのでありがたいと思っています。
分別について、とにかくわかりやすい説明が欲しいです。プラスチックならどのくらい汚れていても OK なのか、そもそも汚れていてもリサイクルの過程では大丈夫なのか。パンのビニールについてくる封を閉じるときのハリ針はどう捨てるのが正解なのか。瓶に付いている紙ラベルはどの程度はがさないといけないかなどわかりやすいと嬉しいです。家庭内で分別をするにはそれなりのスペースが必要なため、資源として捨てることはそれなりに大変ですが、分別し資源として捨てられることによって結果的にどうなるかとその過程がわかると様々なことが想像しやすくなるため、より分別に力を入れようと思えます。
分別の仕方がわかりにくいものもあるので（地区によって、同じ地区でも分別の仕方が変わることがある）いつでもどこでもわかるように、ごみ収集場所に分け方を貼って欲しい。でもなければ定期的に半年に 1 度や 1 年に 1 度、各家庭のポストなどに入れて欲しい。たまにでる大型の粗大ごみなど、どうしても家から搬出できなそうなとき、搬出、収集してくれる、たのめる方法を作って欲しい。
地域・町会ごとに可燃等の収集日が決められていますが、私の住んでいるマンションは最近管理会社の変更になり、管理費削減から水曜日の可燃ゴミの日に管理員をはけん出来なくなりました。ゴミ置場に大量の可燃ゴミが土曜日朝まであふれかえってしまったため、苦肉の策として、前日の火曜日からマンションの入り口エントランス敷地内に出してネットをかぶせて収集していただいています。通行人のゴミ投棄や景観の悪化でどのように問題を解決したらよいか、管理組合も頭を悩ませています。
回収後にゴミを出す人がいる。ゴミのネットの裏側に「回収済」という表示をつけておき、回収後にネットを裏がえしておくのはどうか。回収時間が 8 時ちょうどの為、回収後なのか回収前なのかがわかりにくい。

【アンケートについて】
当分アンケートには答えたくありません。催促のお手紙も頂きましたが、やめて頂きたい。
必ずこのアンケートのフィードバックを下さい。又は、どこに公表されるか教えて下さい。広報みなとなどで。
年末の多忙な時に設問数の多いアンケートは控えて欲しい。※時期を変更
本アンケートの結果が、区の今後の取組みや施策にどの程度どのように反映されたか適当

な時期に公表してほしい。

【衣類、土、電池、油について】

隔週でよいので電池の回収。

植木の土の処理ですが、インターネットですごく調べて買取業者を探して持ち込まなくてはならず、しかも笹塚とか結構遠いところにあるため電車などを利用して持って行くのは難しいと思いました。園芸用の土を販売したところで処分ができるようになると良いと思います。リチウムイオンバッテリーなども処分してくれるところがわかりにくいので回収拠点を増やしてわかりやすくしてほしいですね。

緑を多くしたいのであれば、土壌の処分の対策を考えるべきです。

古着の回収箱が近くにあり、土日も回収していただくと運びやすい。

一番困ったのは、古着やバッグの処分です。高輪オフィスの古着置き場は小さく、4階の奥まった場所に設置されています。また、日本人は服を捨てるのを人に見られたくないのに、私の母国ではそれが当たり前で、古着は中古品などを販売する慈善団体に寄付されます。こうした団体は「オポチュニティショップ」と呼ばれ、古着やアパレルの掘り出し物を探すのにとっても人気があります。

古い食用油のリサイクル場所が何処にあるか良くわからず、持参する場所も遠いようなので何ヶ所かに設置して頂きたい。

テレビで放映されていましたが、廃油を天ぷらかすとか、フライのかすが混じったままペットボトル（大・小かかわらず）に入れて回収ボックスがあるらしい。港区では見かけない。航空機の燃料になるらしい。電池回収ボックスも見かけないので、不燃ごみとして処理している。

鉢植えの土のリサイクルをしてほしいです。有料でもしかたないと思いますが困っています。不燃物のサイズがもう少し大きいといいのですが。（現行 30×30 は微妙）

【その他】

いつも回収してくださり有難うございます。

いつもありがとうございます。

個々の意識を高める事で、事業が良い方向に向かう事に寄与したい。

男の子の孫がごみ収集車が大好きでミニカーを3つ持っていて喜んでます。そのうちの1つは、ごみ収集車を運転している方から頂いたミニカーです。とても喜んでいました。いつも丁寧に収集いただきありがとうございます。

いつもありがとうございます。

いつもゴミの回収をありがとうございます。

ごみ収集に従事しておられるすべての皆さんに感謝しております。ありがとうございます。

情報がないので、答えようがない。

良くやって頂いてると思います。感謝しています。

いつも正確な時間に綺麗に収集していただき、ありがとうございます。小さい時にゴミ収集車に乗ることが夢でした。何だかかっこよかったですよ。多分今のお子さんたちもかっこいいと思っているのでは？

お天気の悪い雨の日でも、回収にいらして下さり本当に感謝いたしております。どうぞ今後共よろしく願いいたします。

路上に置いてある回収前のゴミをカラスが漁る状況がまた増加している様に感じます。網の利用等のルールを守って欲しいと思います。

いつも有り難うございます。
いつもご苦労さまです。
いつもありがとうございます。
いつも、ありがとうございます。大変なお仕事だと思います、これからも宜しく願います。
いつもありがとうございます！
今後の活動に期待しています。無駄な消費の削減を進めて欲しいです。
いつもありがとうございます。
いつもありがとうございます。
いつもありがとうございます。
一人暮らしなので大きい重いものを リサイクルに出すときの サポートが 欲しいです 他都市から転入してきましたが港区のキレイさ、カラスのいなさに驚いています。
いつも丁寧なごみ回収をありがとうございます。
いつもありがとうございます！
いつも感謝しています。ありがとうございます。
特にございません。
通りすがりに不法にゴミを置いていく人がいるので、取り締まりを徹底して頂きたいです。
ごみの回収、いつもありがとうございます。これからもきれいな港区を維持できる様、私個人も微力ながら協力できたらと思いました。
時間通りにゴミを集めて下さいます。感謝しております。
私はマンション住まいであるが、特に問題はない。
ゴミの回収予約枠が非常に少なく取りづらい。結果的に不法投棄が増加し、環境が悪化している。
作業をしている人、ゴミを回収して車に入れ片付けしている人、いつも感謝しています。 ありがとうございます。体に気をつけて下さいね。
他の区に住んだことが無いので比較できませんが、良くやって下さってると思います。以前屋上にカラスの死骸があり、困り果てて連絡した際、引き取ってくださったことがあり、感謝しています。焼き鳥の串とかでケガをされる清掃員の方がいらっしやると聞いて以来、必ず処理して捨てています。どうかこれからもケガに気を付けて、区民の為にお仕事頑張ってください。
住んでいる所では区の車は来ません。聞いた話ですが、港区から収集を断られたと聞いてます。店（食べ物）が1F、2Fに入っているため、生ゴミ系は捨て方がひどいです。
災害のゴミ（港区はあまり関係ないようですが）の処理について研究されているのでしょうか。
たまに電話させて頂く事がありますが、とてご丁寧に対応して頂き、感謝しております。
ご苦労様です。ありがとうございます。
いつもありがとうございます。区の財源が回れば良い。
いつもありがとうございます。
いつもきれいにしてくださり、ありがとうございます。
いつも有難うございます。港南3丁目の資源回収のところの方にはいつも気持ちよく対応して頂いており、感謝しています。
ご苦労様でございます。いつもキレイに処分して下さい、感謝致しております。又、みなさまの気持ちの良いあいさつの声に元気づけられます。いつも、ありがとうございます。

現場の作業員の方々、いつも走っている様子を拝見します。 皆様のおかげで、我々の生活は成り立っています。 感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。
65才以前の方が、もっとももっとももっとももっとも、気軽にコミット出来るような清掃事業、最高だと思います。港区から始めましょう。
家具等のリサイクル販売の機会が多いと良い。
いつもありがとうございます。お体をご自愛下さい。
リサイクルは買うときより大変ですが、資源を大切に再利用するために、経費はかかってもやっていく事だと思います。地球を汚さないために。よろしく願いいたします。
ゴミ収集の方々には、感謝でいっぱいです。
ゴミの事で認識不足を反省した。
リチウムイオン電池に関しても、理解を深めたい。
いつもありがとうございます。
物が循環できるシステムが充実できると良いと思います。
清掃関係者の方に感謝です。
港区は自治体がしっかりされているので、住みやすい街だと思います。これからも区民の為によりよい環境となるよう願っております。
いつもゴミの収集ありがとうございます。感謝しております。
街が清潔であるのも常に働いて下さる清掃リサイクル事業所のみな様のお蔭と感謝します。改めてアンケートに答えてみると自分も加害者であることを知ります。高齢化で所帯をたたむ人が増えます。私も常々処分を考えています。有料でも少しずつ片付けていただきたいと思います。
いつもありがとうございます。

第2章 事業者アンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、区内事業者のごみ・リサイクルに関する意識・行動や排出実態を把握するとともに、ごみ減量に対する意識啓発を兼ねて実施することを目的としています。

なお、得られた調査結果については、令和8年度に予定されている「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」（港区食品ロス削減推進計画を含む）の策定のための基礎資料とします。

(2) 調査方法

区内事業所に対して、紙の調査票を郵送することによりアンケート調査を実施しました。発送数は経済センサスの内訳を参照して、以下のとおり2,200事業所を抽出しました。

【参考】調査対象事業所の内訳（令和3年度経済センサスー活動調査より）

業種	従業員数			合計
	0~29人	30~299人	300人以上	
A 農業, 林業	1	0	0	1
B 漁業	0	0	0	0
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	0	0	1
D 建設業	39	11	2	52
E 製造業	47	9	1	57
F 電気・ガス・熱供給・水道業	9	2	2	13
G 情報通信業	154	56	10	220
H 運輸業, 郵便業	34	14	0	48
I 卸売業, 小売業	345	64	5	414
J 金融業, 保険業	73	7	1	81
K 不動産業, 物品賃貸業	196	16	2	214
L 学術研究, 専門・技術サービス業	297	38	4	339
M 宿泊業, 飲食サービス業	231	25	1	257
N 生活関連サービス業, 娯楽業	98	12	1	111
O 教育, 学習支援業	40	6	1	47
P 医療, 福祉	103	4	3	110
Q 複合サービス事業	2	1	0	3
R サービス業(他に分類されないもの)	185	40	4	229
S 公務(他に分類されるものを除く)	2	1	0	3
合計	1,857	306	37	2,200

(3) 回答期間

期間は、令和7年10月31日（金）～令和7年12月26日（金）まで実施し、令和8年1月9日（金）時点までの紙回答およびWEB回答を有効としました。

(4) 回収率

回収率は下表のとおりです。回答数は440件、戻り数を差し引いた有効発送数は1,806件、回収率は24.4%となりました。

回答数の内訳はWEB回答228件、紙回答212件でした。

※なお、発送数2,200件に加えて、「みなと環境にやさしい事業者会議（mecc）」の会員にも送付しました。

	計
発送数	2,200件
戻り数	394件
有効発送数	1,806
回収数	440件
回収率	24.4%

2. 調査結果

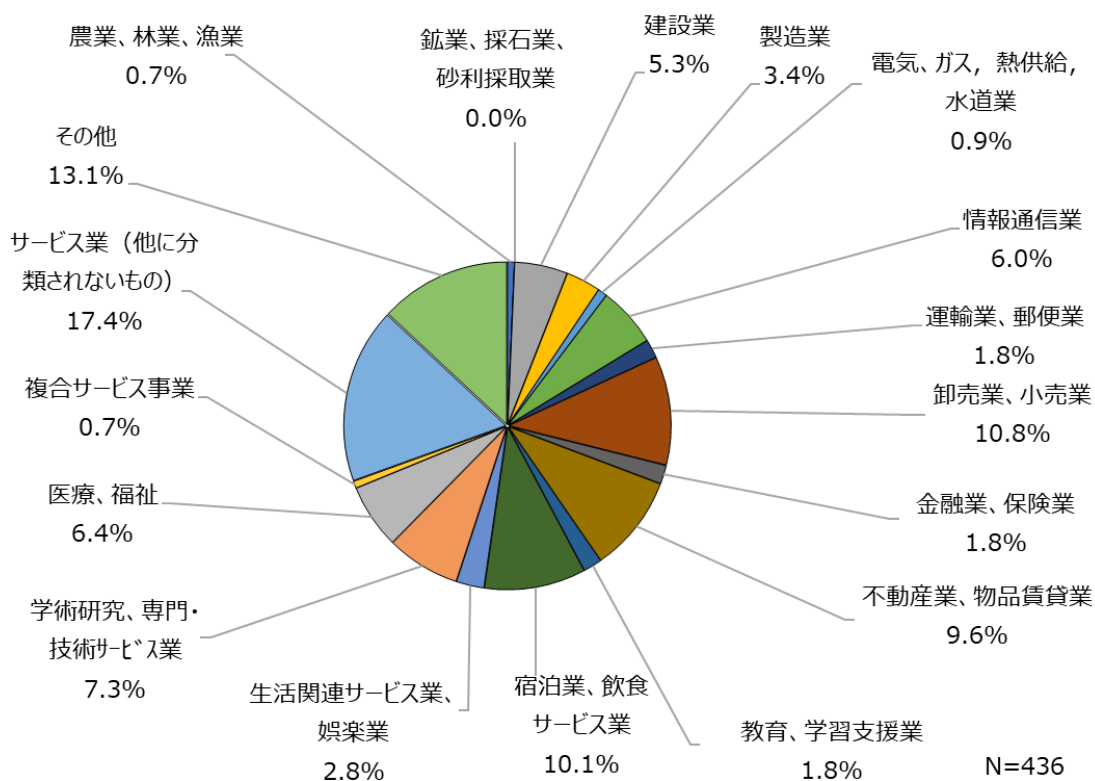
回収したアンケートの集計結果を、次ページ以降に掲載しています。回収したアンケートの内、有効の回答を集計しました。

また、一部設問においては、回答事業者の属性ごとに回答を比較するクロス集計を実施しています。

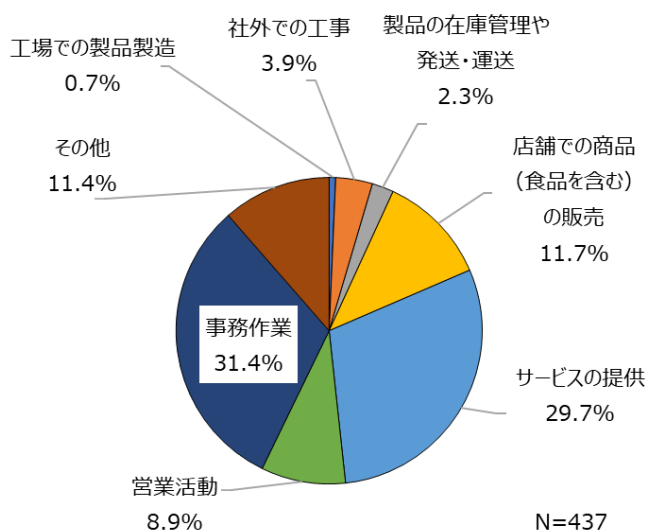
(1) 回答事業所の概要

回答者の属性として、業種は「サービス業（他に分類されないもの）」が約 17%、事業形態は「事務作業」が約 31%で最も多い結果となりました。従業員数は全体の約 8割が 30 人未満、事業所の延床面積は 7割以上が 300 m²未満、建物全体の面積では約 4割が 1,000 m²未満の事業所でした。建物の入居形態では約 6割が「事業所ビルに入居」、所在地は約 5割が「芝地区」となりました。

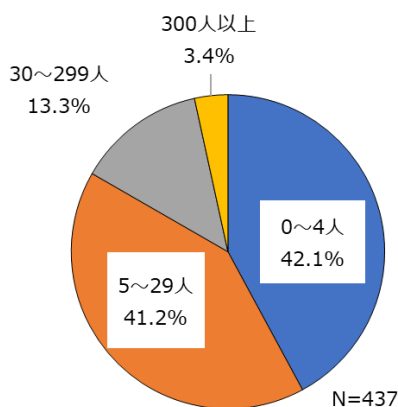
■業種



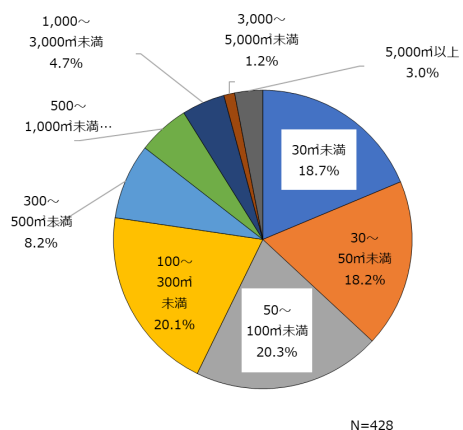
■事業形態



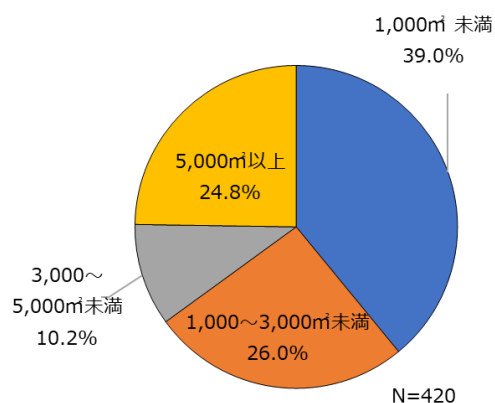
■従業員数



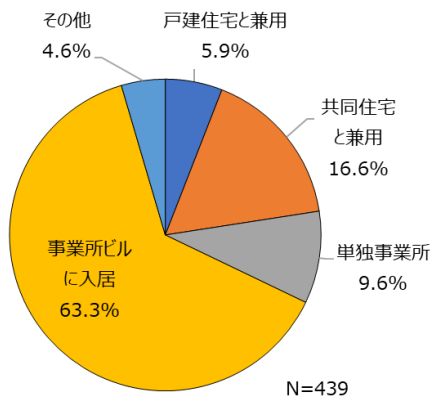
■延床面積（事業所）



■延床面積（建物全体）



■入居形態



■所在地

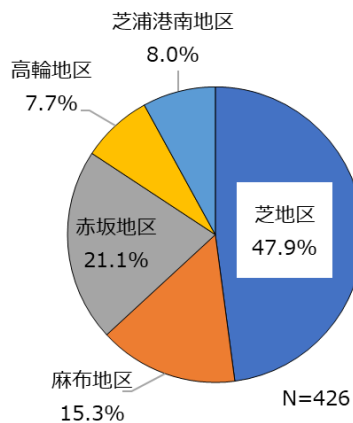


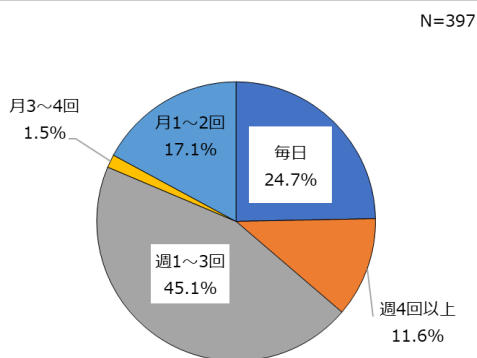
図 2-1 回答者の属性【事業者アンケート問1~問7】

(2) ごみ・資源の発生・処理状況について

ア 可燃ごみの排出頻度および処理方法

排出頻度は「週1～3回」が約半数と最も多く、処理方法については、「民間業者に処理委託している」の回答が約42%となりました。

■可燃ごみの排出頻度



■処理方法

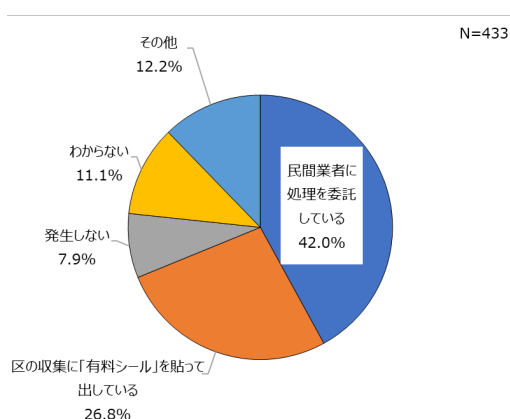


図 2-2 可燃ごみの排出頻度および処理方法【事業者アンケート問 8】

イ 現在委託している民間の一般廃棄物業者を選んだ理由

アで「民間業者に処理を委託している」と回答した事業者の理由について、「商店街やテナントなどで共同委託しているから」が約36%と最も多く、次いで「信頼できる業者だから」が約28%となりました。

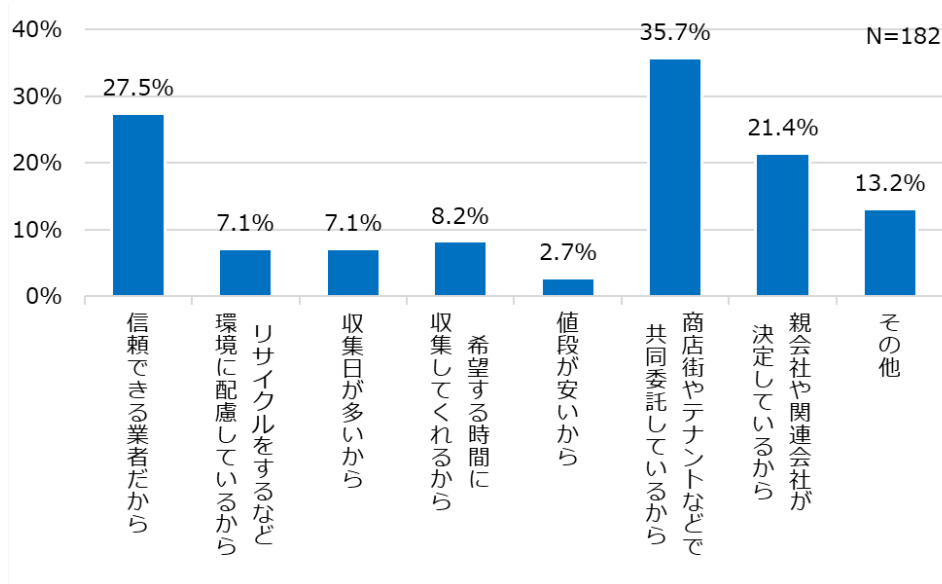


図 2-3 一般廃棄物処理業者を選んだ理由【事業者アンケート問 9】

ウ 民間の一般廃棄物業者に委託していない理由（有料シール対応）

アで「区の収集に『有料シール』を貼って出している」と回答した事業者の理由について、「発生量が少なく、業者に委託するほどではないから」が約 86%となりました。

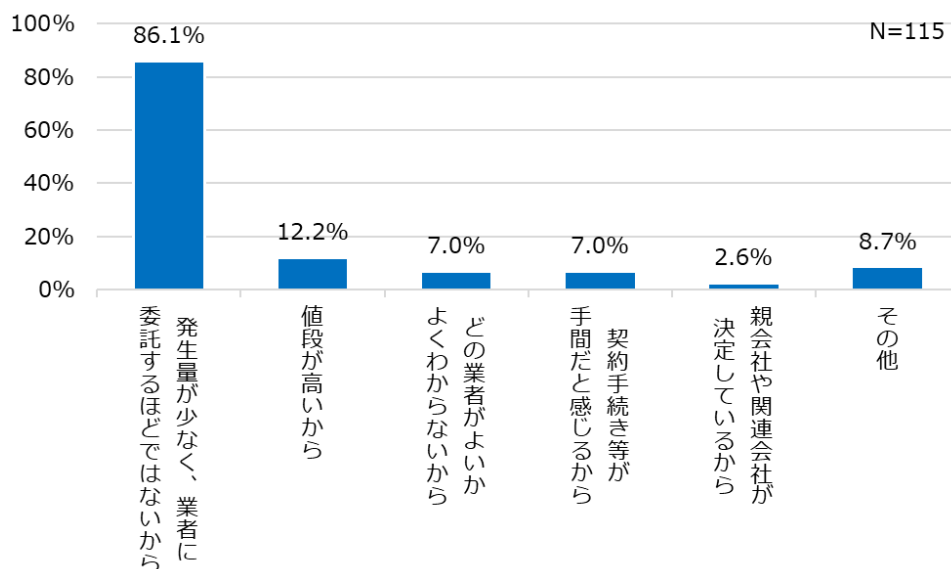


図 2-4 一般廃棄物処理業者に委託していない理由【事業者アンケート問 10】

エ 可燃ごみの容積割合

可燃ごみの内訳は「紙類」が約 73%と最も多く、次いで「厨芥類（生ごみ）」が約 17%となりました。

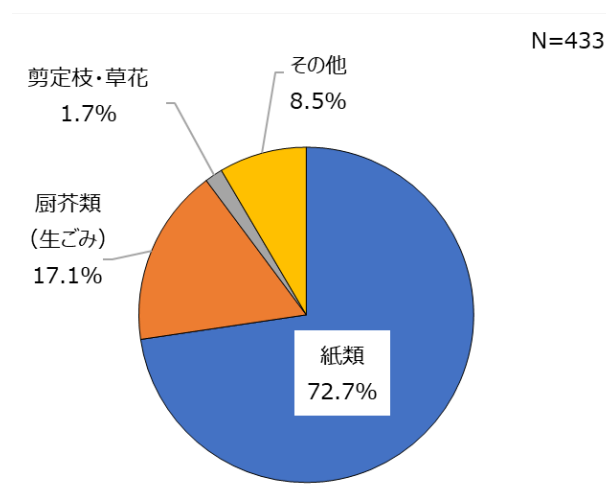


図 2-5 可燃ごみの容積割合【事業者アンケート問 11】

オ 資源、ごみの排出量、処理状況

事業者1日当たりの平均排出量について、「E 段ボール」が約 17.5kg と最も多い結果となりました。

前回の調査結果と比較すると、「E 段ボール」が約 3.4 倍増加し、「A コピー・OA紙」は約 1/4 に減少、「B 機密文書等」が約 1.6 倍増加しました。

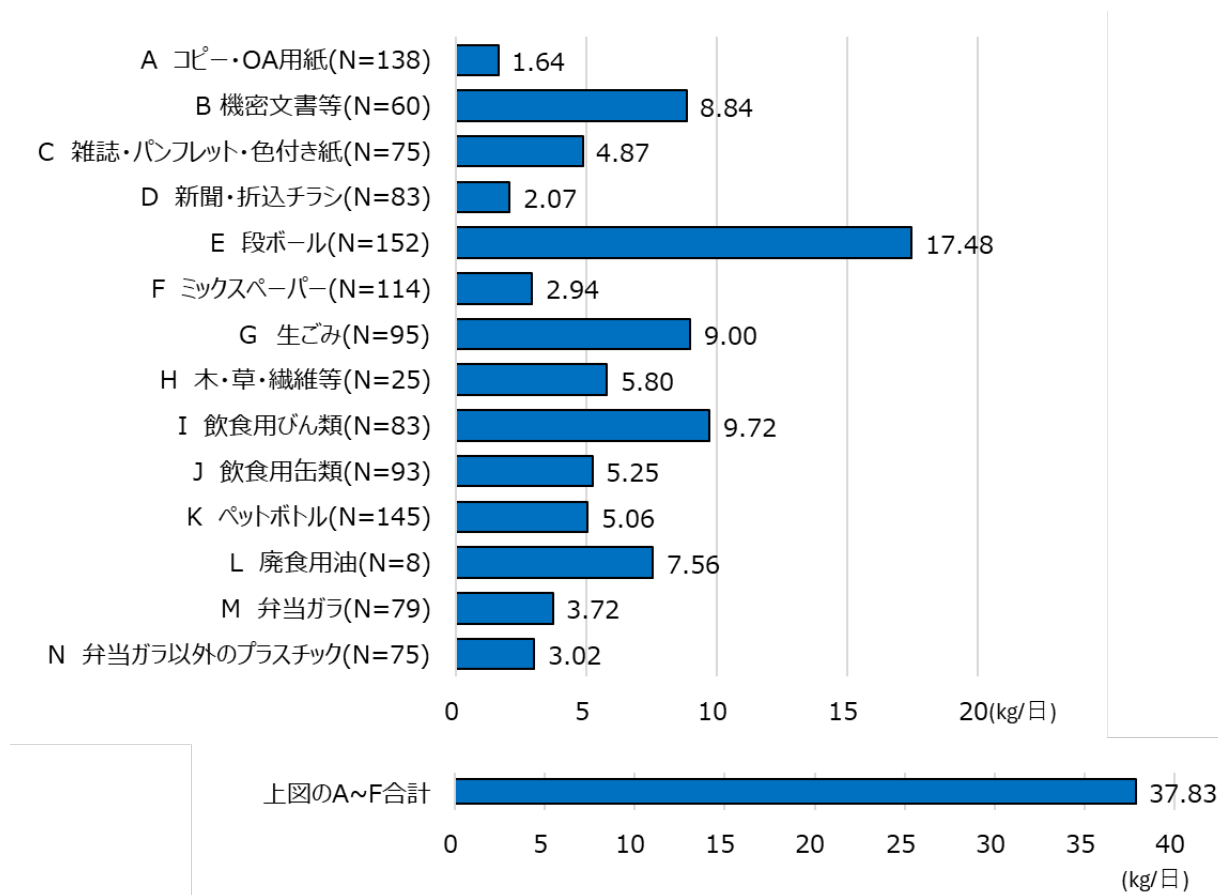
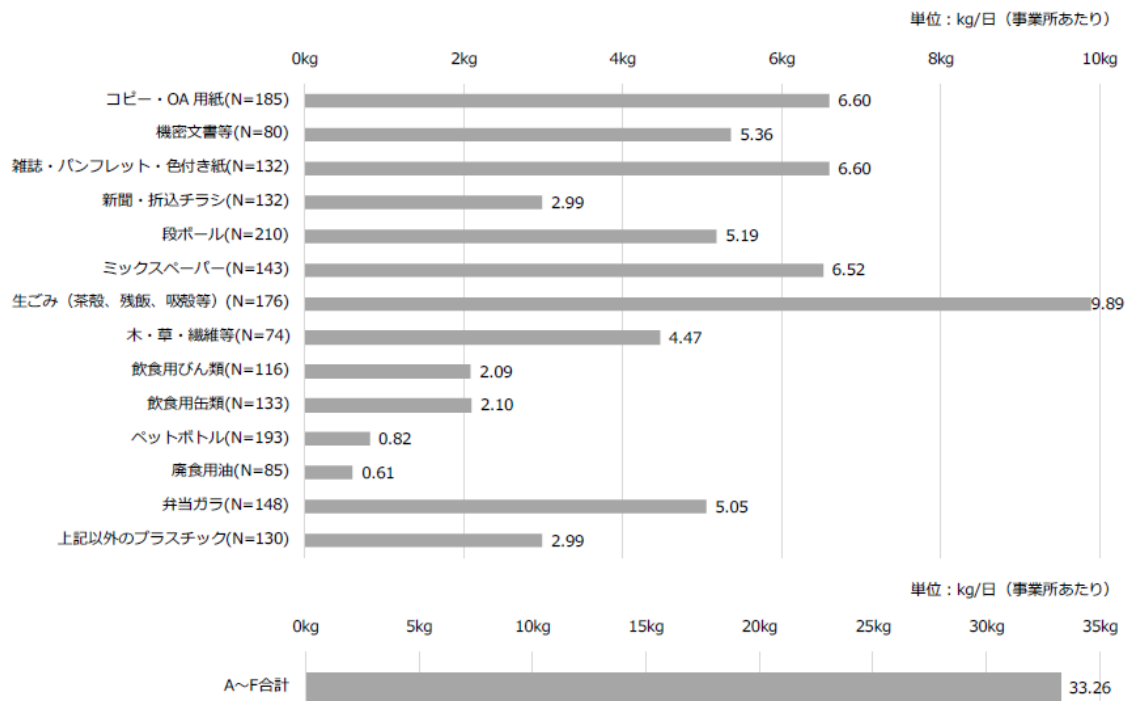


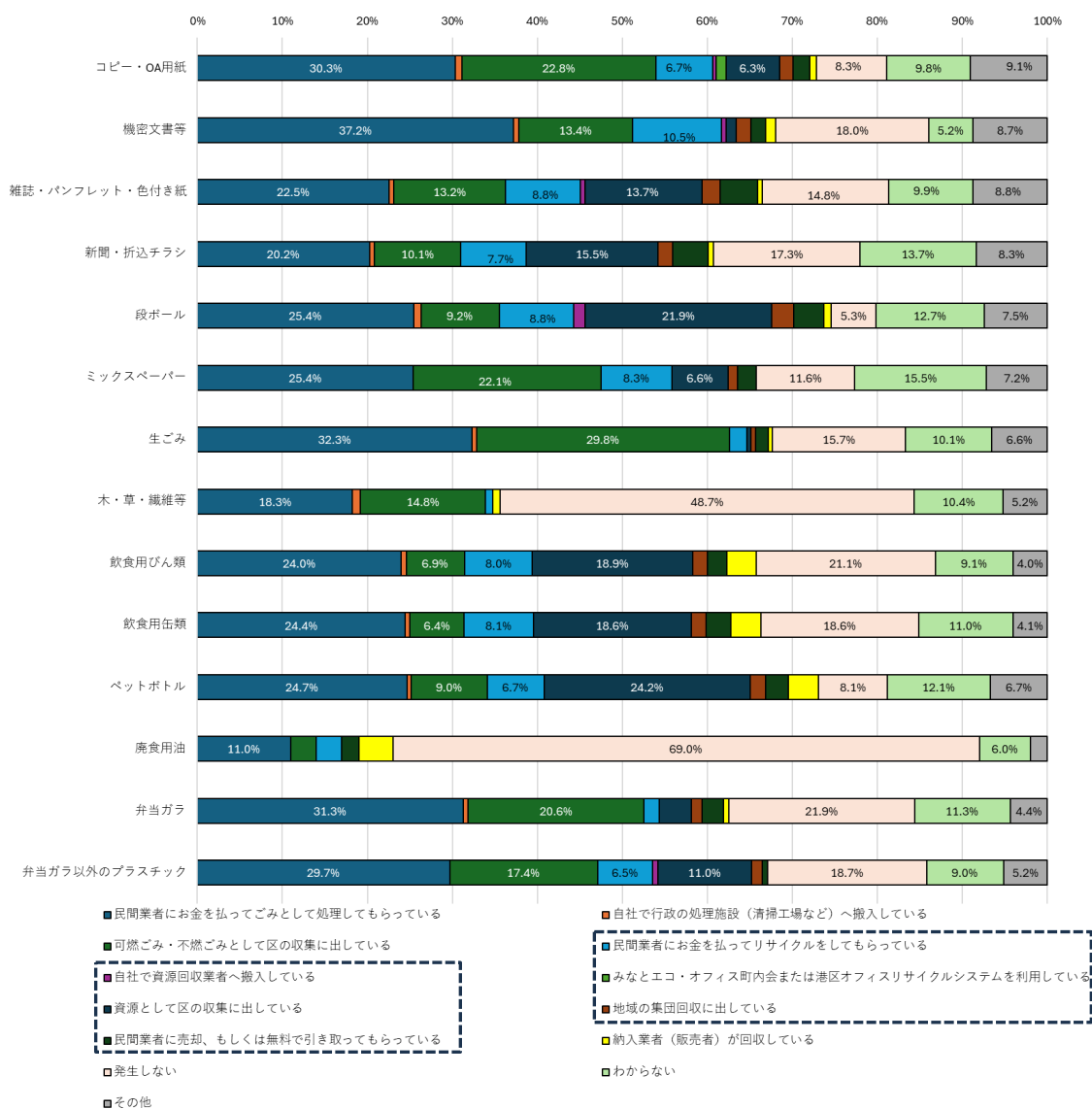
図 2-6 資源、ごみの排出量【事業者アンケート問 12】

【参考】令和元年度年調査



資源化の割合（凡例の点線囲い内の項目の合計）が比較的高かったのは、「段ボール」約38%、「ペットボトル」約35%でした。

一方で、「生ごみ」約4%、「廃食用油」約5%、「木・草・繊維等」約1%は資源化の割合が低い結果となりました。



※図中の点線の囲いは資源化が想定される回答

図 2-7 資源、ごみの処理状況【事業者アンケート問12】

カ 「紙類」をリサイクルしない理由

「紙類がリサイクルできることを知らなかったから」が多く、約23%でした。
 その他は、「ほとんど出ない」、「ビル管理会社へ任せているため不明」、「シュレッダーで処分している」の回答が多くありました。

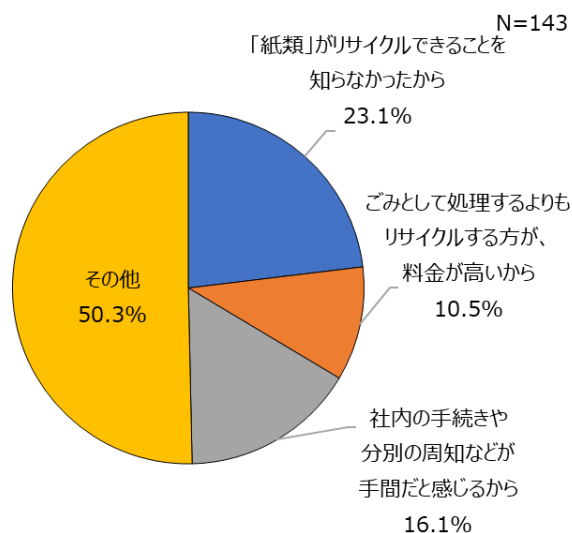
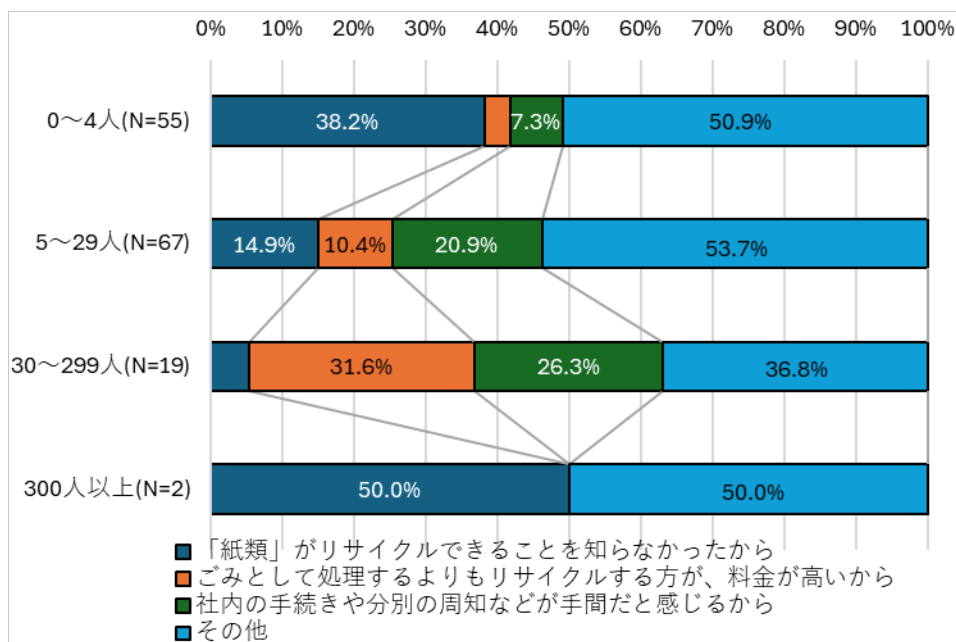


図 2-8 紙類をリサイクルしていない理由【事業者アンケート問13】

【参考】従業員数別クロス集計



キ 「厨芥（生ごみ）類」の減量・リサイクルの考え

「生ごみは発生しない」が約33%と最も多く、次いで、「リサイクル方法や業者等の情報があり、取り組みやすい環境があれば、リサイクルに取り組みたい」が約27%でした。

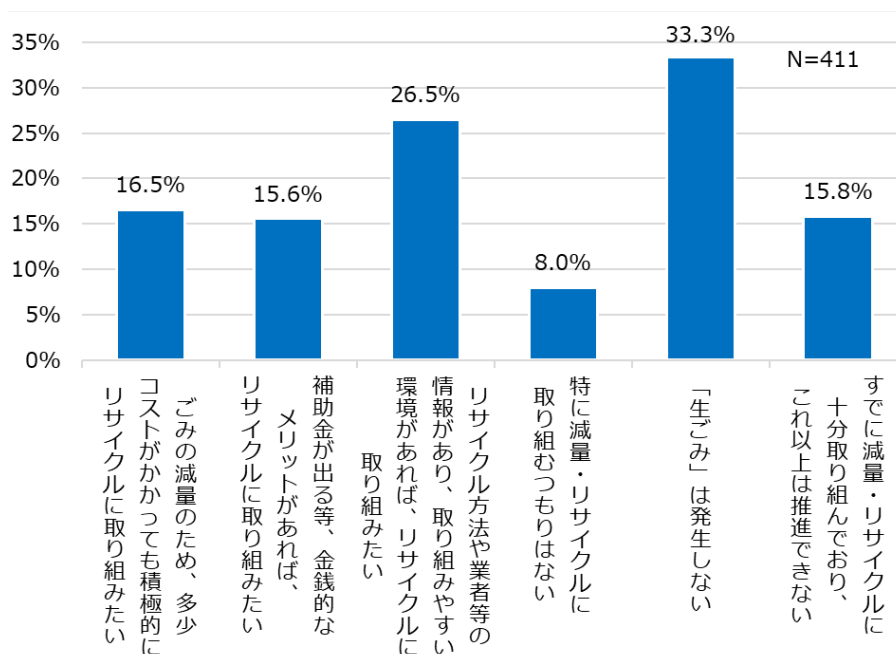
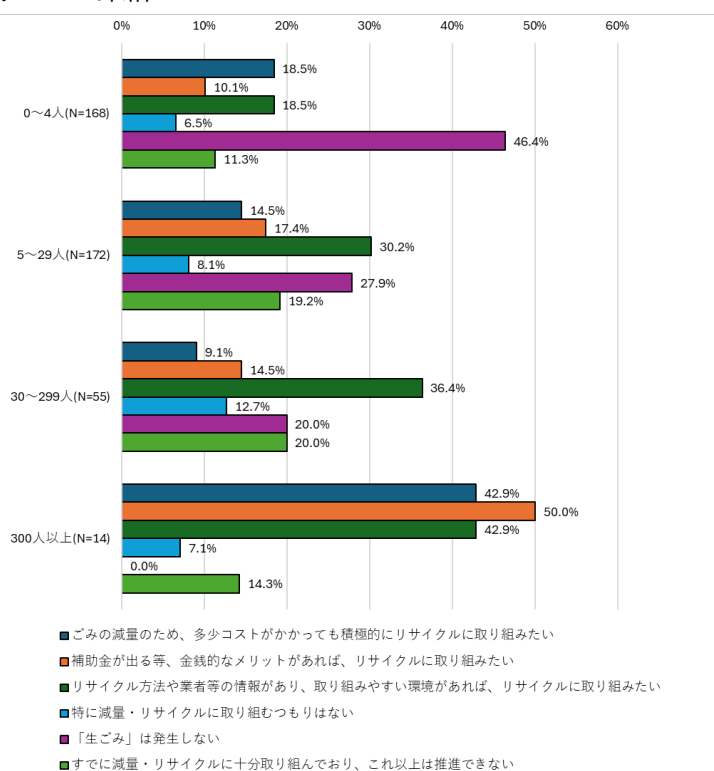


図 2-9 厨芥（生ごみ類）の減量・リサイクルの考え【事業者アンケート問14】

【参考】従業員数別クロス集計



ク 1か月あたりの一般廃棄物にかかるごみ処理料金

「わからない」の回答が約38%となりました。

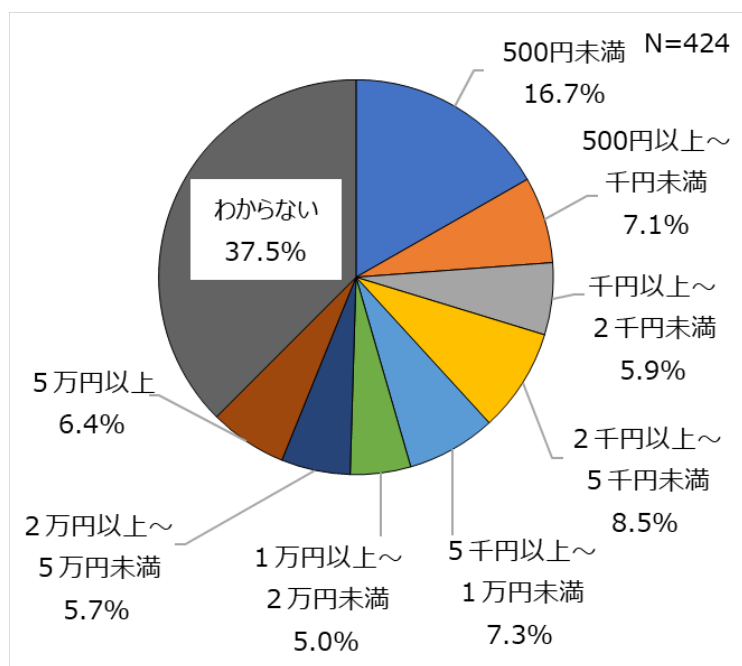


図 2-10 一般廃棄物にかかるごみ処理料金【事業者アンケート問 15】

ケ 2023年度と比較した、2024年度の全体のごみ量の比較

「変わらない」の回答が約60%となり、「減った」の回答が約17%ありました。

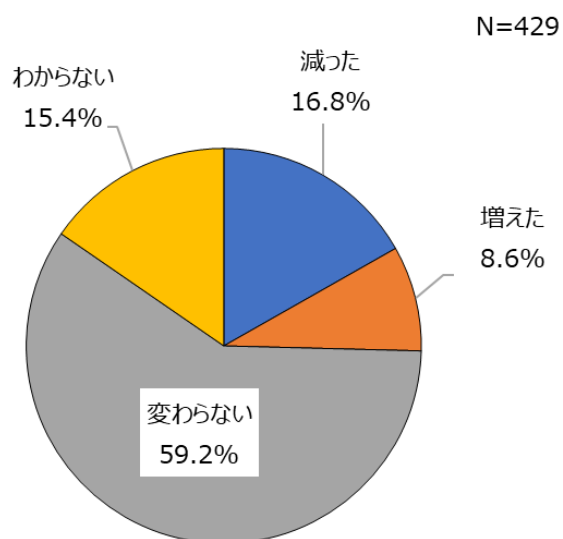


図 2-11 ごみ量の前年度との比較【事業者アンケート問 16】

コ リサイクルの担当者、ごみ管理の担当者の決定の有無

「決めていない」と回答した事業者が約56%となりました。

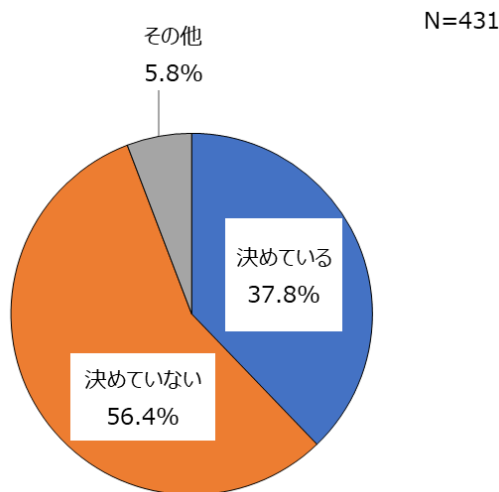


図 2-1 2 リサイクルの担当者等の決定の有無【事業者アンケート問 18】

サ トレーや容器などの包装材や、レジ袋や紙袋などの包装の変化

「従前から包装は変化していない」が約62%、「従前より包装が減っている」は約29%でした。

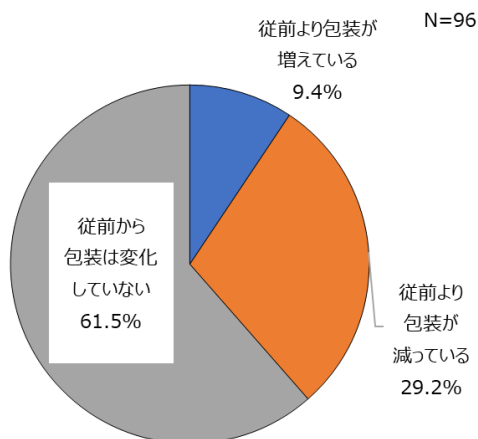


図 2-1 3 包装の変化【事業者アンケート問 19】

シ 【食品販売事業者のみ】食品ロスを発生させないための取組

「あらかじめ売り切れる量を予測し、販売することになっている」の回答が約68%となりました。

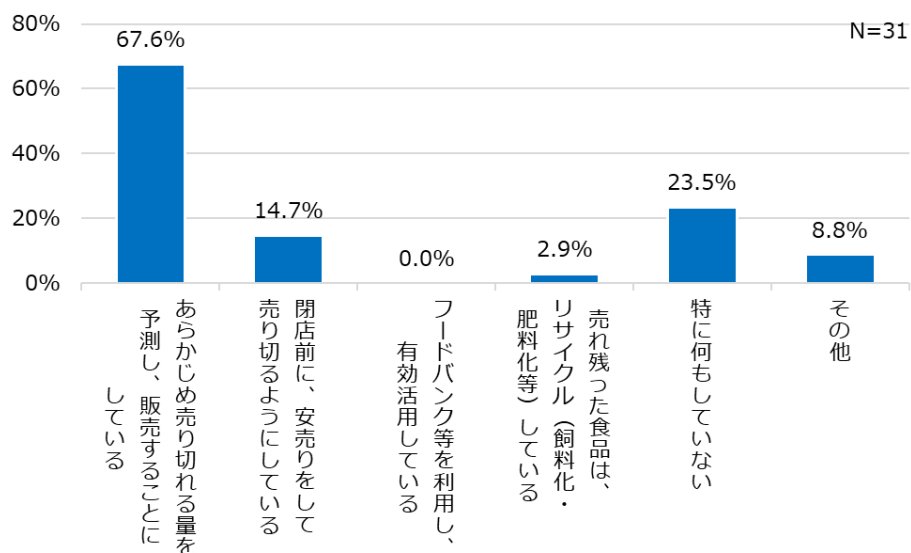
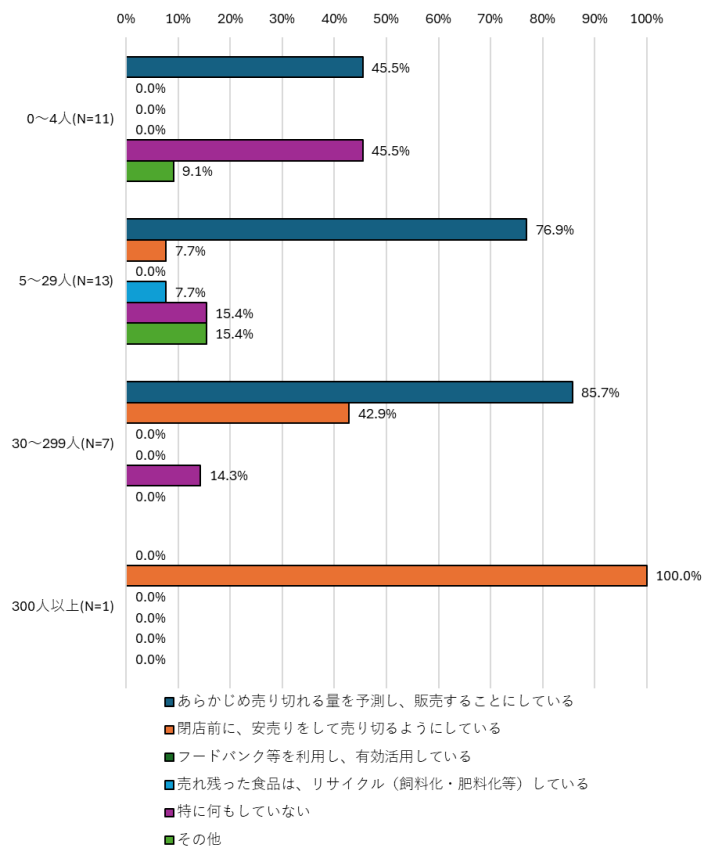


図 2-14 食品ロスを発生させないための取組【事業者アンケート問20】

【参考】従業員数別クロス集計



ス 【食品販売事業者のみ】 今後食品ロスを削減するために有効と思うこと

「売り残しを減らすための啓発ツール」が約 32%、「余った食材の活用ルートの拡充」が約 29%と多くなりました。一方、「特になし」の回答が約 32%となりました。

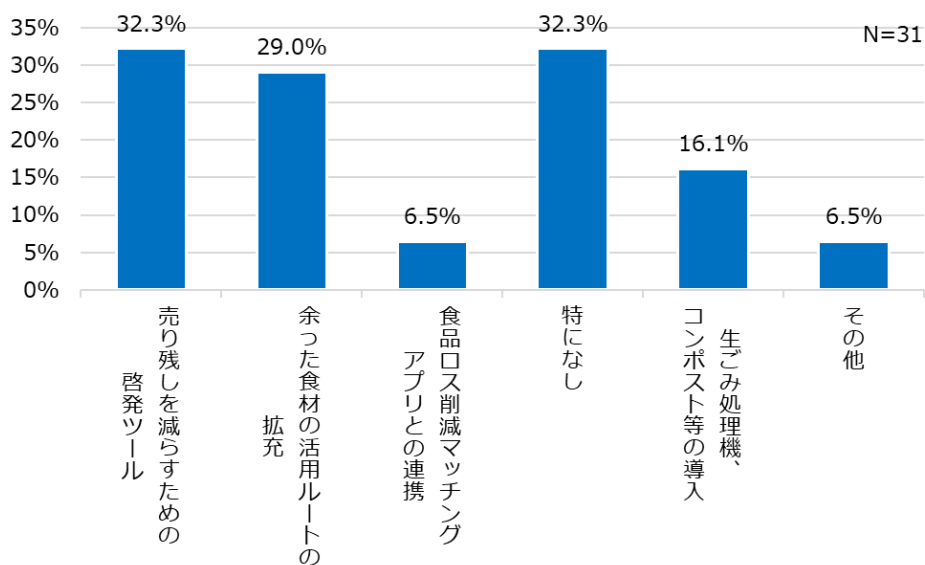
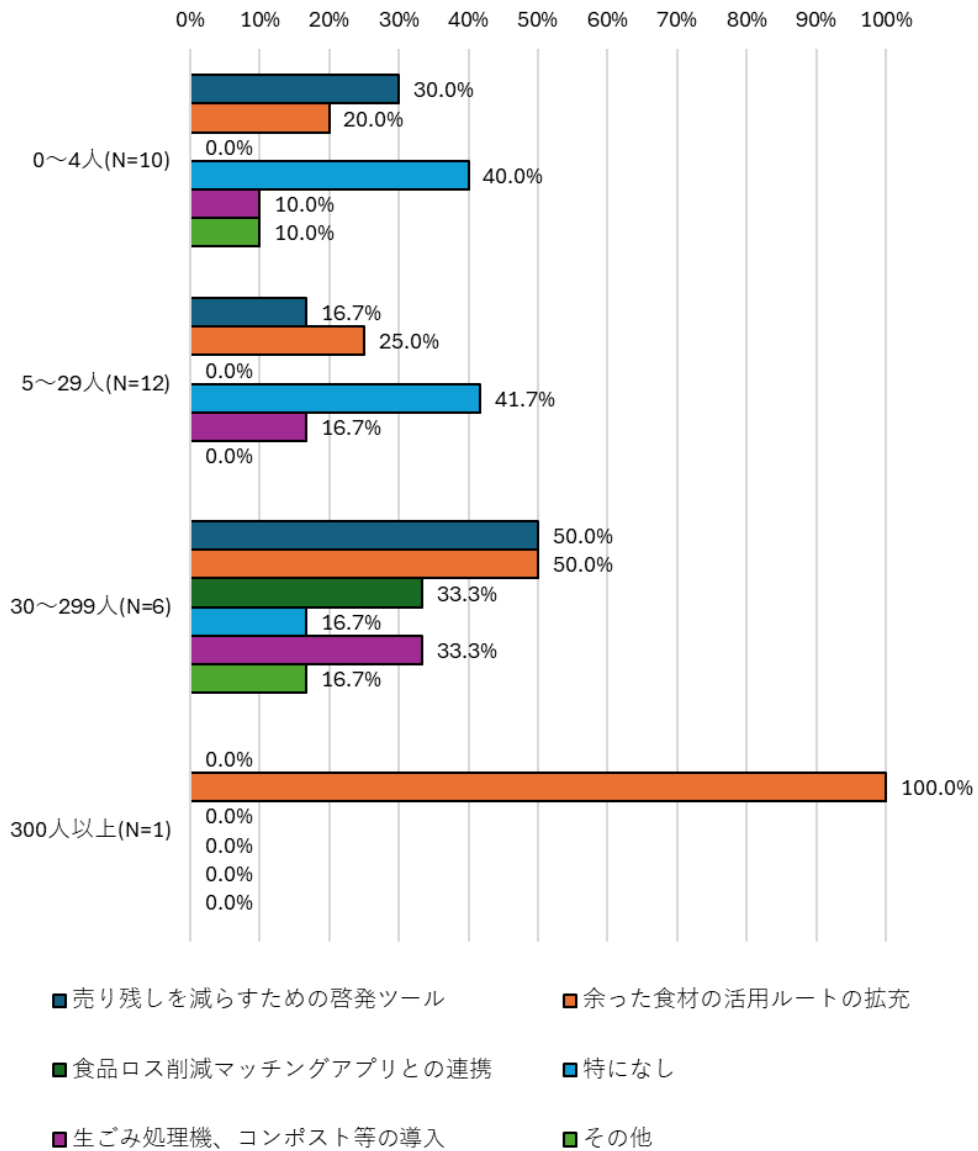


図 2-15 食品ロスを削減するために、有効だと思うこと【事業者アンケート問 21】

【参考】従業員数別クロス集計



(3) 関心・取組状況について

ア ごみ減量、リサイクルに積極的に取り組んでいると思うか

「積極的に取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」の回答が約6割となりました。

前回の調査結果と比較すると、「ある程度取り組んでいる」の回答が約11%減少しました。

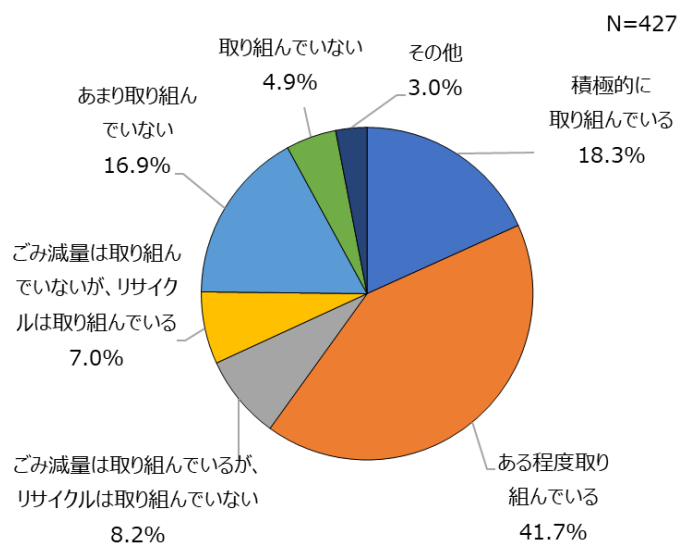
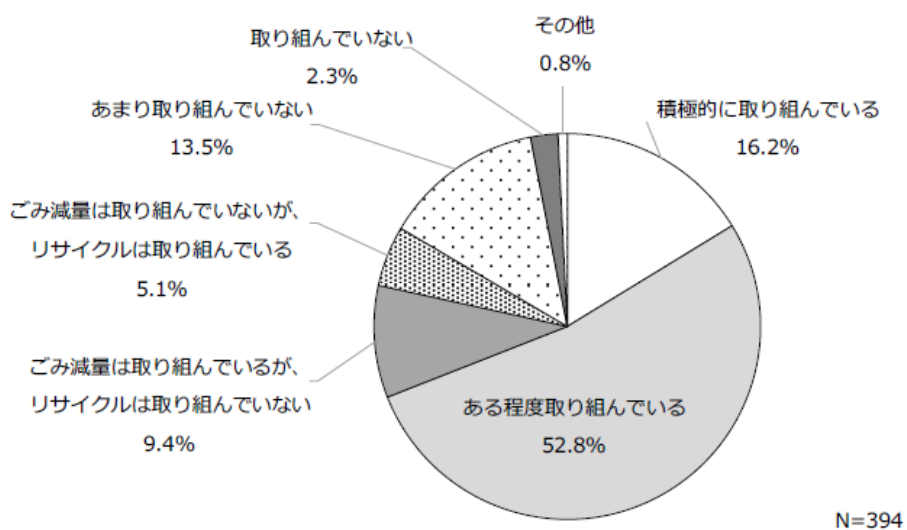


図 2-16 ごみ減量、リサイクルの取組状況【事業者アンケート問 22】

【参考】令和元年度調査



イ 取組のきっかけ

アで「積極的に取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」、「ごみの減量は取り組んでいるが、リサイクルは取り組んでいない」、「ごみの減量は取り組んでいないが、リサイクルは取り組んでいる」と回答した事業者について、「会社の社会的責任として」の回答が約72%となりました。

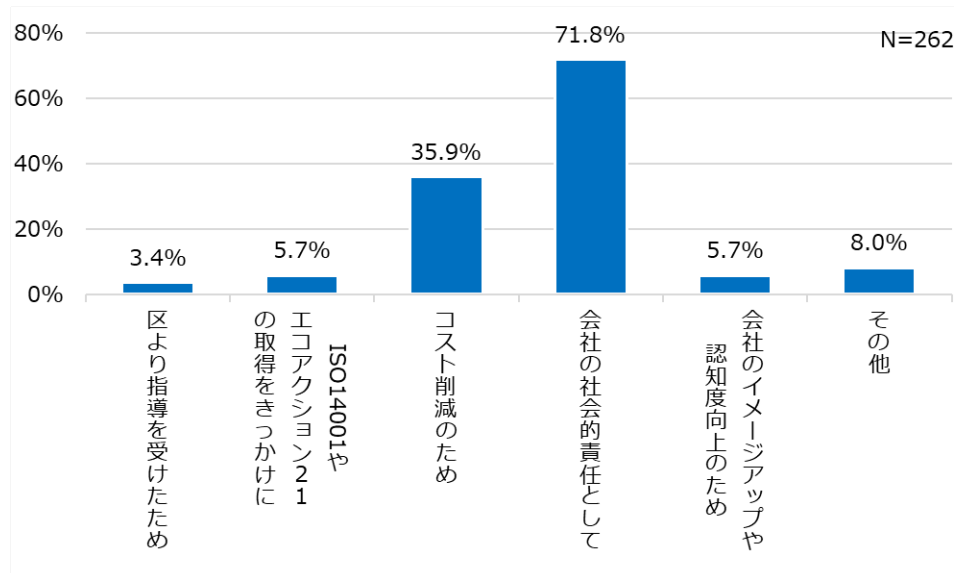


図 2-17 取組のきっかけ【事業者アンケート問 23】

ウ ごみ減量、リサイクルを進める上での課題

アで「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」と回答した事業者において、「資源化できるものは出ない、または発生量そのものが少ない」の回答が約29%、「保管するスペースがない」の回答が約21%となりました。

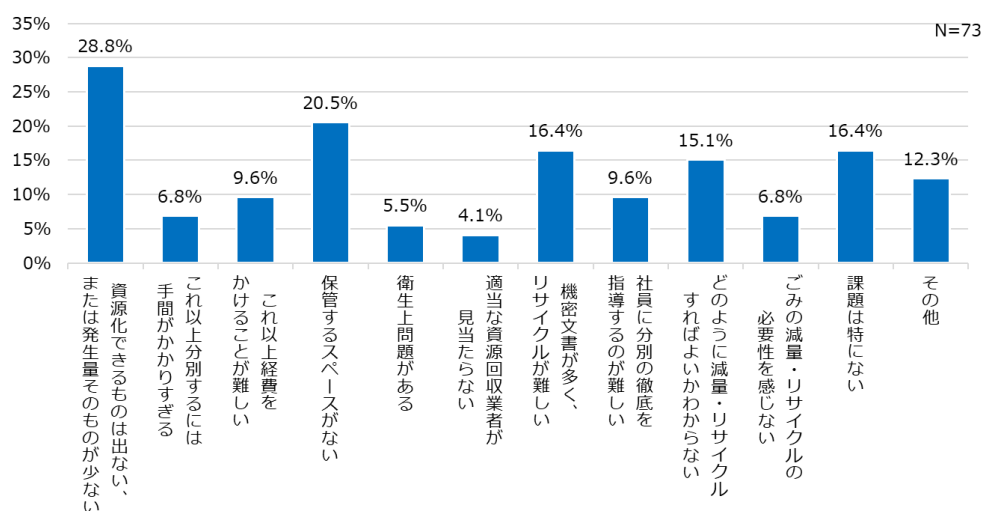


図 2-18 ごみ減量、リサイクルを進める上での課題【事業者アンケート問 24】

エ 【飲食店、宿泊施設のみ】食品廃棄物削減のための効果があると思う取組
「生ごみの水切りや乾燥の徹底」の回答が約44%となりました。
一方で、「わからない」の回答が約18%ありました。

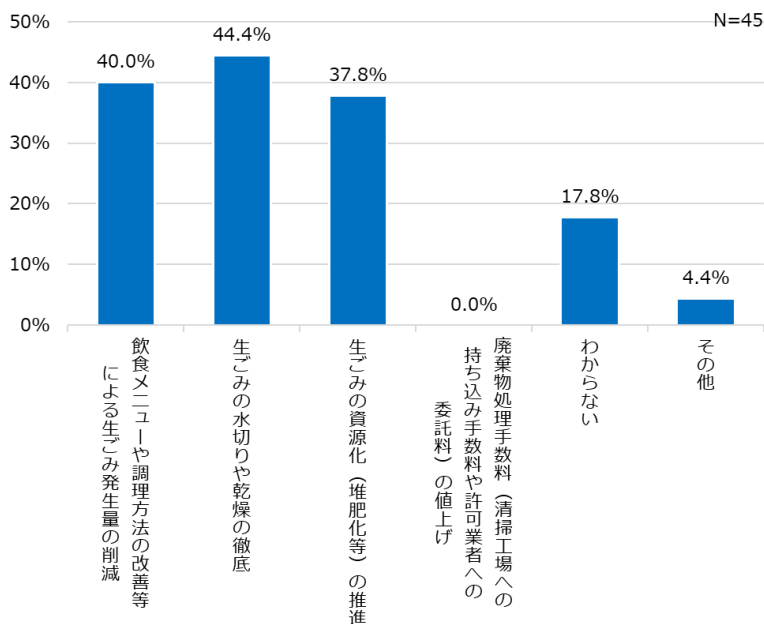


図 2-19 食品廃棄物削減のため効果があると思う取組【事業者アンケート問 25】

オ 【飲食店、宿泊施設のみ】食品廃棄物削減のために実施している取組

「特にない」の回答が約49%となりました。

実施している取組の中で最も多いのは、「小盛りメニューの導入」と「持ち帰りの推奨」で、約26%となりました。

「その他」は、「3010運動」、「おまかせメニューの導入」等の回答がありました。

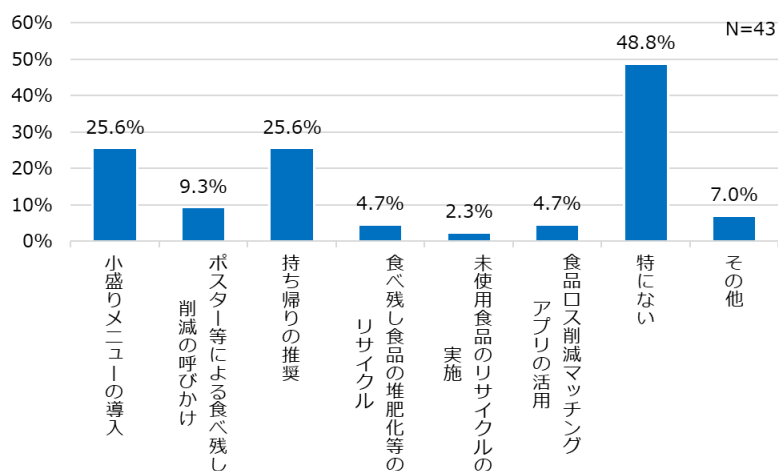
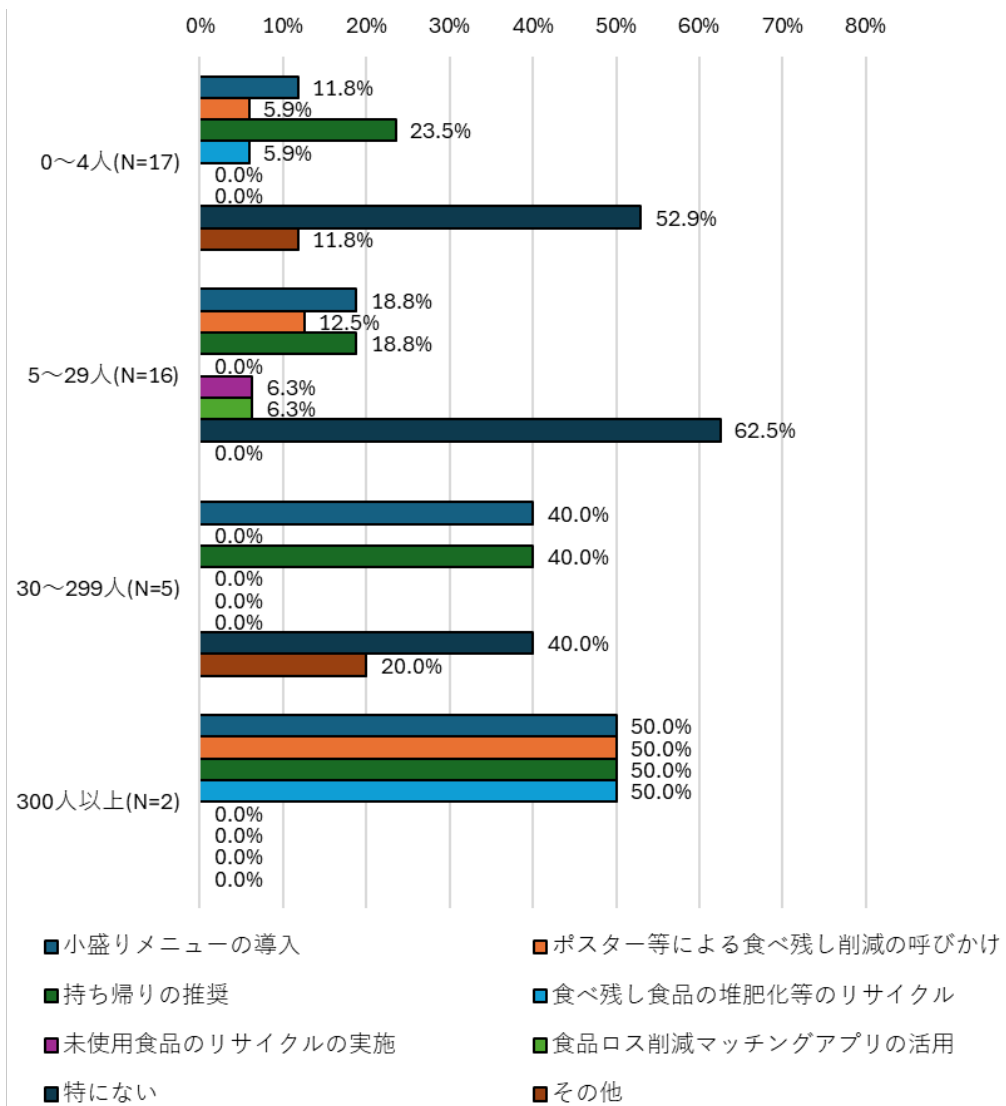


図 2-20 食品廃棄物削減のための取組【事業者アンケート問 26】

【参考】従業員数別クロス集計



カ 【飲食店、宿泊施設のみ】食べきり協力店制度の認知度

「知らない」という回答が約 92%ありました。

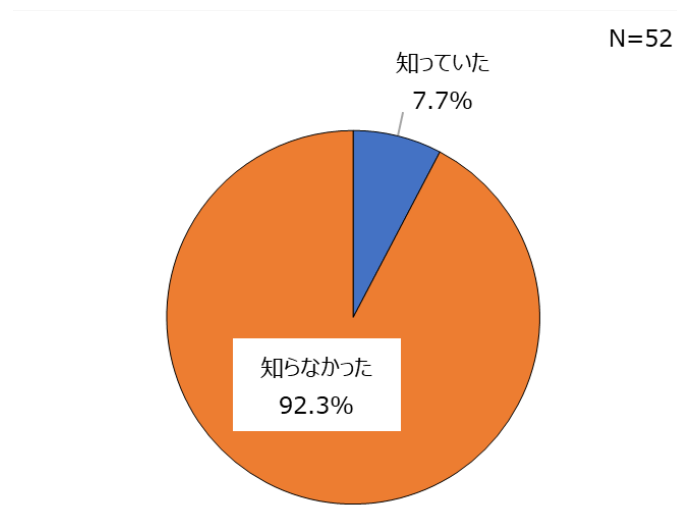


図 2-2 1 食べきり協力店の認知度【事業者アンケート問 27】

キ 【飲食店、宿泊施設のみ】区が食べきり協力店に対して行ってほしい支援

「特にない」の回答が約 48%となり、「ごみ減量方法の情報提供」が約 34%になりました。

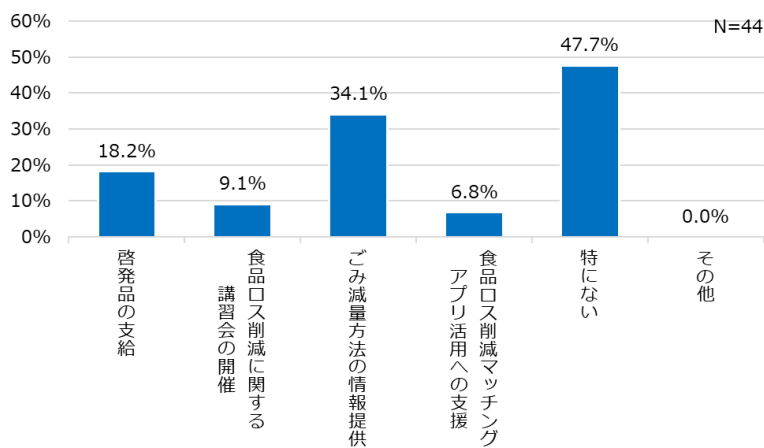


図 2-2 2 食べきり協力店に行ってほしい支援【事業者アンケート問 28】

ク 宴会での食べ残し削減のために実施している取組

「特に何もしていない」が約 58%となり、「注文を受ける際に、料理の量をあらかじめ伝えるようにしている」の回答が約 27%ありました。

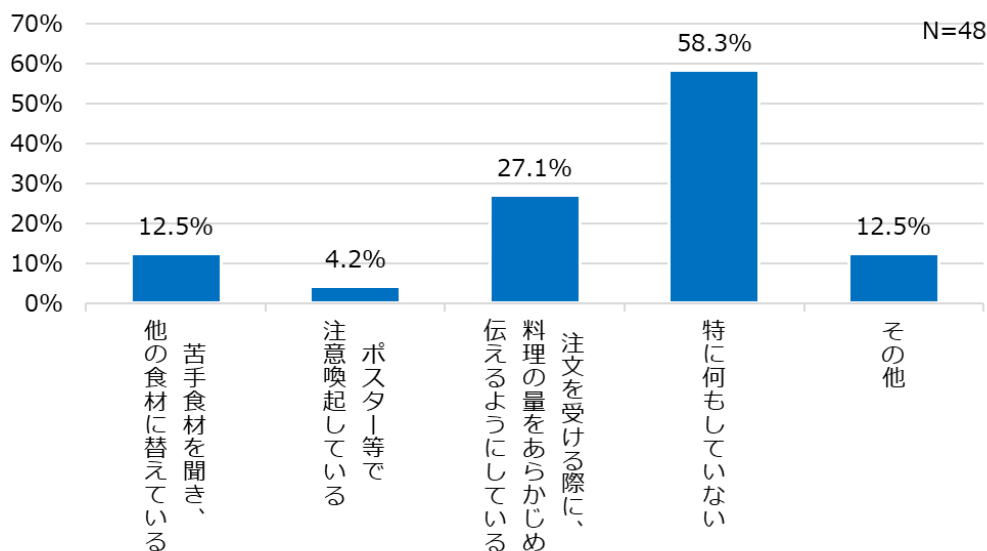


図 2-2 3 宴会での食べ残し削減の取組【事業者アンケート問 29】

(4) 区の施策、情報について

ア 事業所のごみ減量・リサイクル推進のために要望する施策

「事業系ごみ分別の手引きの配布」が約 33%となりました。

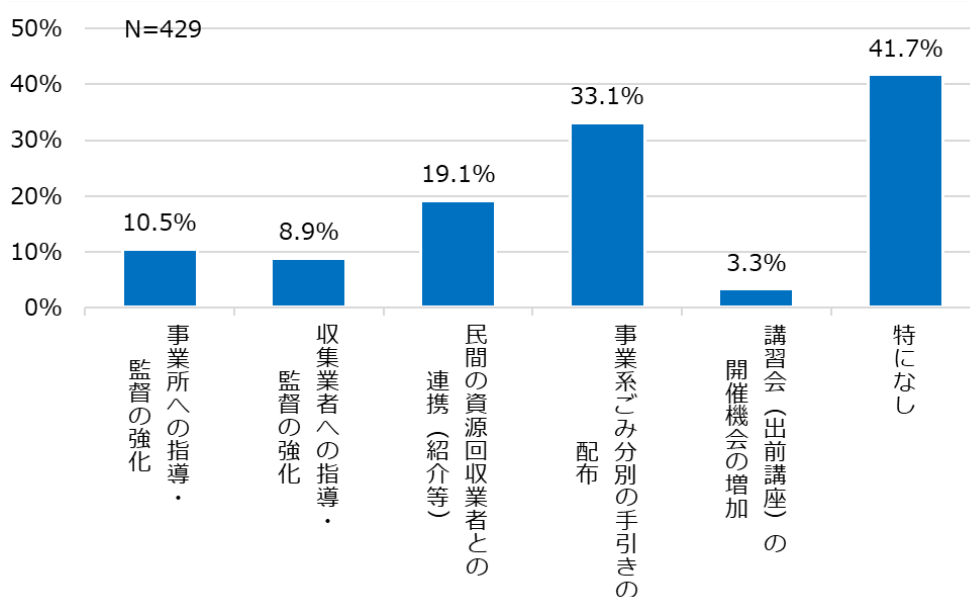
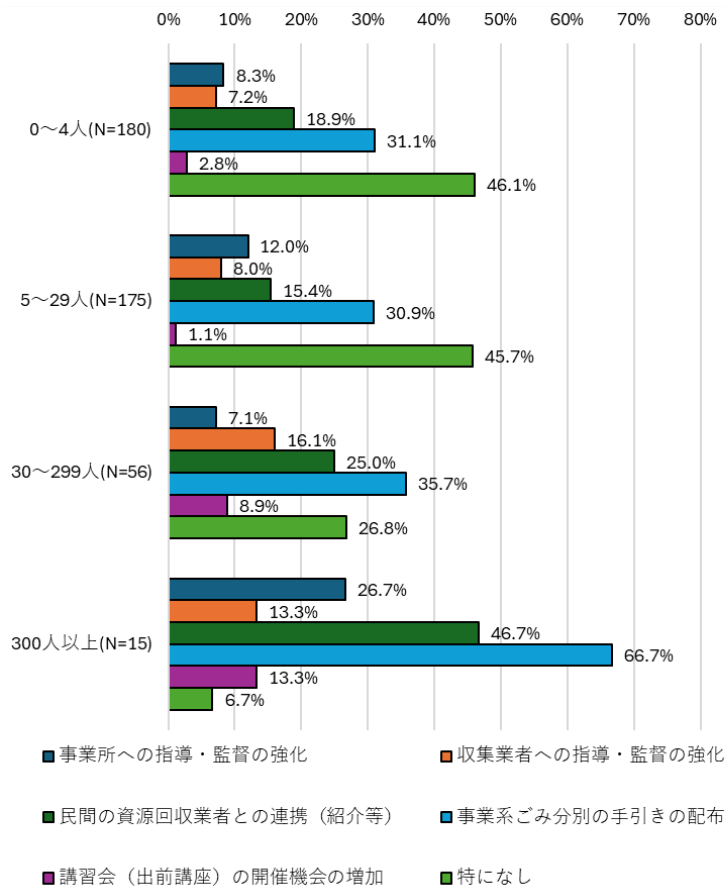


図 2-2 4 区に要望する施策【事業者アンケート問 30】

【参考】従業員数別クロス集計



イ 望ましい優遇制度

「ごみ減量、リサイクル推進強化のための区からの支援」の回答が約 50%となりました。

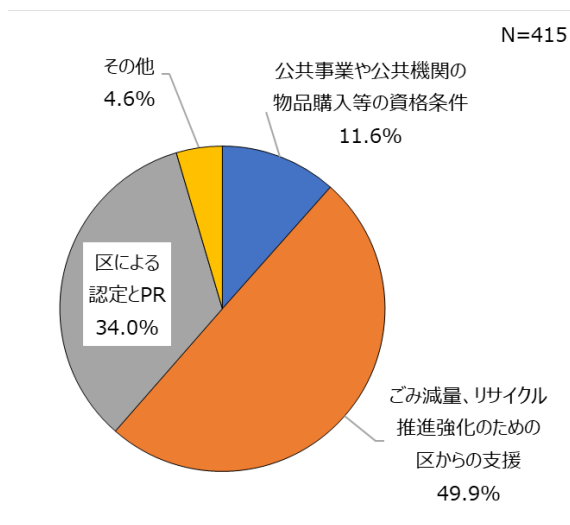


図 2-25 望ましい優遇制度【事業者アンケート問31】

ウ ごみ減量・リサイクル推進のために必要な情報

「区の事業や収集に関する情報」の回答が約 45%となり、「処理業者・資源回収業者に関する情報」の回答が約 38%となりました。

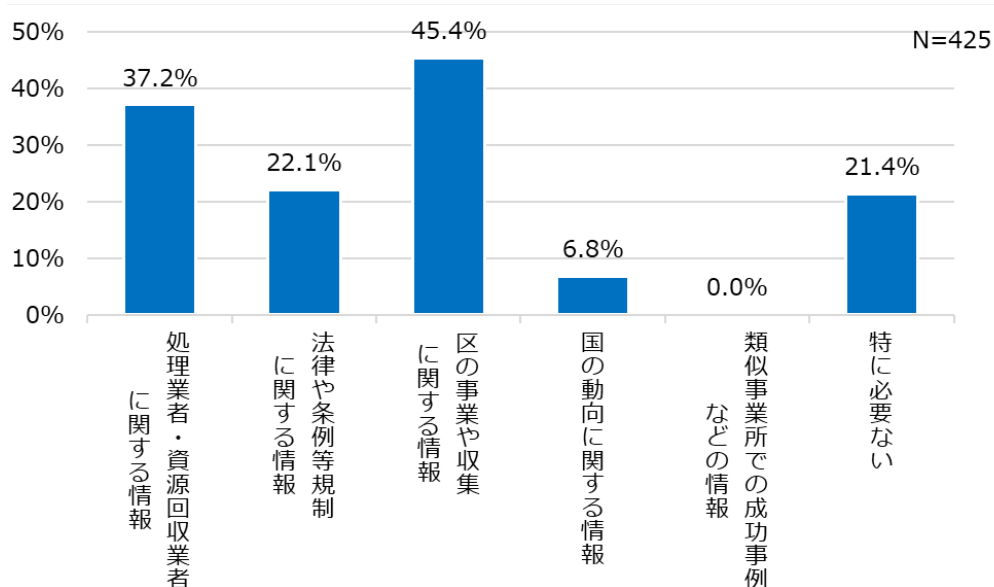
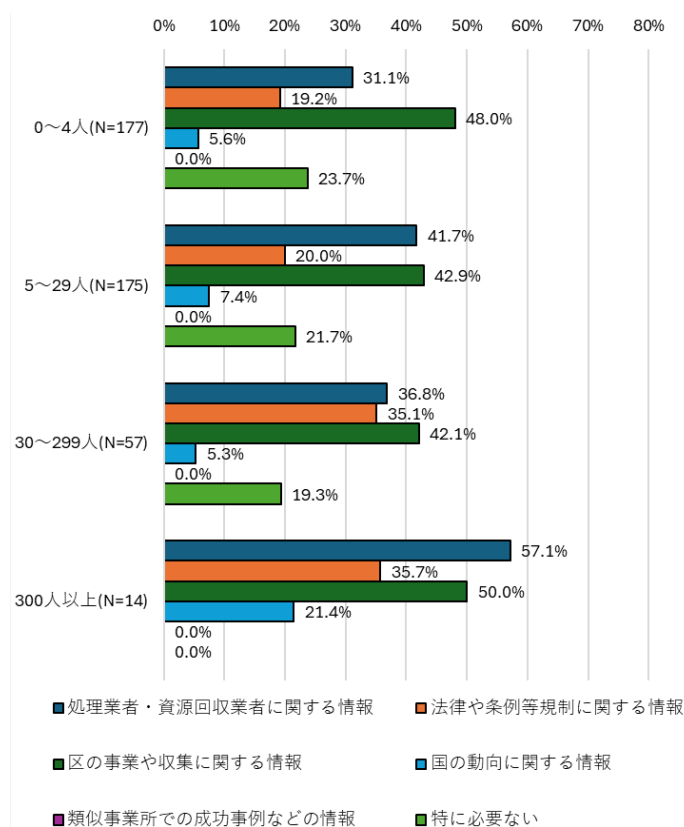


図 2-2 6 必要な情報【事業者アンケート問 32】

【参考】従業員数別クロス集計



エ 利用しやすい情報媒体

「区の広報・チラシ・パンフレット」の回答が約 61%となり、「インターネット（SNS、メールマガジン等）」が約 47%となりました。

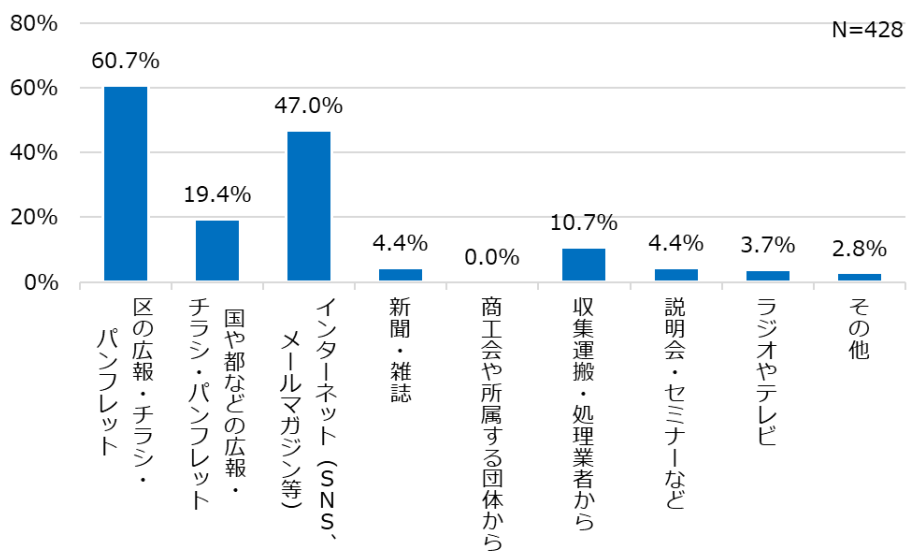


図 2-27 利用しやすい情報媒体【事業者アンケート問 33】

オ ごみ減量・資源化の説明会の希望

「希望しない」の回答が約 90%となりました。

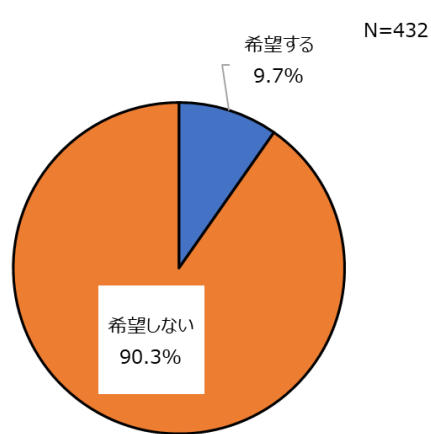


図 2-28 説明会の希望【事業者アンケート問 34】

カ 説明会の内容

オで「希望する」と回答した事業者において、「紙の分別」の回答が約 60%となりました。

「その他」は、「プラスチック類、金属類などの産業廃棄物のリサイクル情報、分別情報など」、「ごみ減量・リサイクル方法等の成功事例」の回答がありました。

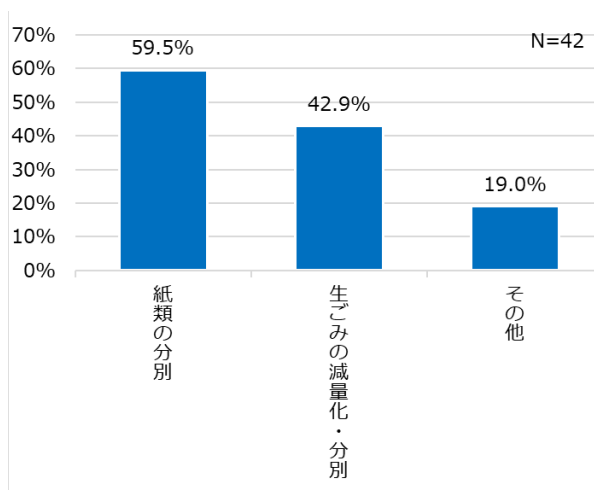


図 2-29 希望する説明会の内容【事業者アンケート問 35】

第3章 関係者ヒアリング調査

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、区内事業者からごみ排出及び食品ロス等の取組状況について、訪問により現状及び課題を把握するため聞き取りを行い、ごみ処理・資源化における現状・課題等を把握することを目的として実施しました。本調査の結果については、令和8年度に予定されている「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」（港区食品ロス削減推進計画を含む。）の策定のための基礎資料とします。

(2) 調査対象

調査は、宿泊業、飲食業、小売業、オフィスビルなどを対象に、食品ロス削減やプラスチック削減対策に取り組んでいると思われる（みなとエコショップ、その他メディアの情報などを参考に）小・中・大規模事業者を中心に下記8事業者を対象にヒアリングを実施しました。

1	宿泊業(ホテル)
2	飲食業(個人経営)
3	小売業(スーパーマーケット管理事業者)
4	小売業(食品)
5	コンビニエンスストア
6	オフィスビル管理事業者
7	リサイクル事業者
8	一般廃棄物処理許可事業者

(3) 調査内容

聞き取り調査は下記の質問を中心に、調査対象に合わせて適宜変更しながら行いました。

- ・事業所の概要
- ・事業活動から出るごみの種類（食品ロス、リサイクルしている紙類、廃プラスチック）
- ・ごみの分別・資源化の状況（食品廃棄物削減対策、プラスチック対策等）
- ・ごみ減量・資源化に向けた課題
- ・区への要望

(4) 調査期間

令和8年1月26日（月）～令和8年3月6日（金）

2. 調査結果（ヒアリング議事録）

（1）宿泊業（ホテル）A社

日時 令和8年2月4日（火） 13時00分～13時40分

①事業所の概要

- ・客室の稼働率は年間9割程度である。
- ・以前は昼食、夕食も提供していたが、近年の社会状況により現在は朝食のみ提供している。平日はビジネス利用が多く7割程度、外国人観光客の割合は3割程度である。

②事業活動から出るごみの種類

- ・客室の持ち込みごみでは、食品の容器包装、缶やペットボトルの飲料用の容器が多い。
- ・外国人の客室ではお土産の包装や靴の外箱、衣服やスーツケースの廃棄もある。
- ・客室に残されたものは廃棄したものなのか、忘れ物なのか判断がつかないものがある。忘れ物については3か月の保管期限があり保管場所の確保が必要になる。
- ・廃棄する場合は、粗大ごみの扱いとなり、処理費は事業者が負担する。

③ごみの分別・資源化の状況

- ・客室のごみは各フロアの担当者が分別しながら回収している。
- ・プラスチックごみの削減のため、アメニティは再生可能な素材で作られたものを使用している。また、以前は客室ごとにアメニティを置いていたが、現在はフロントに置き、必要に応じて利用してもらうようにしている。
- ・食事は開業当時からビュッフェ形式で提供している。
- ・現在は朝食付きの宿泊予約数によって仕込み量を変えている。食品残量を毎日計量しているが、食品ロスの発生は少ない。以前は余った料理をフードシェアリングサービスアプリを通して販売していたが、現在は衛生面の課題から実施していない。
- ・廃棄食品、廃棄食用油のリサイクルは処理業者からの提案はあるが現状実施していない。

④ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・量は多くないが、小型家電のリチウムイオン電池の分別・取り外しの手間や、保管場所の管理など扱いに困っている。特に夏場は手持ち扇風機の廃棄が多く発生する。
- ・傘の遺失物が多い時は3か月に100本程度発生する。忘れ物の場合は3か月保管する必要があるため、保管場所の確保も困っている。店先で、自由に持って行って貰う取り組みを下が、ビジネス街ではあまり効果はなかった。繁華街の人通りの多いグループのホテルでは効果がある。

⑤区への要望

- ・忘れ物の傘やスーツケース、衣服など、活用できる制度、仕組みがあれば周知してほしい。事業者のみで廃棄、リサイクルするよりも行政に係わる方がイメージも良い。

(2) 飲食業（個人経営）B社

日時 令和8年3月6日（金） 17時00分～17時50分

①事業所の概要

- ・平日と土曜日の夕方から深夜まで営業している飲食店で、繁忙期は送別会、歓迎会シーズンの3月～4月、忘年会シーズンの12月である。

②事業活動から出るごみの種類

- ・排出されるごみと資源は、可燃ごみ、プラスチック、ダンボール、ペットボトル、缶、びんは、すべて民間の事業者へ委託している。近年ごみの内訳等に変化はない。
- ・可燃ごみは主に、割りばし、おしぼり、ペーパータオル、紙パック（牛乳、生クリーム）、その他紙ごみ、生ごみで、排出量は毎日45L袋で1/3から1/2前後で業者が毎日引き取りに来ている。
- ・ペットボトル、缶、びんは週に2回程度の排出で、袋に入れて出している。
- ・45L袋は10枚単位で購入しており、それが委託費になる（定額制、重量割ではない）。
- ・排出する量が袋の1/3だと勿体ないが、衛生面を考慮して毎日引き取ってもらっている。ペットボトル、缶、びんは洗浄するのである程度の量になるまで保管できる。
- ・ごみは夜中に業者が回収している。

③ごみの分別・資源化の状況

- ・生ごみはほとんどでない。材料の芯、皮も活用している。
- ・苦手なものがある人には注文時に言ってもらい提供しないようにしている。
- ・食べ残しはほとんどない。基本的に材料が無くなったら提供は終了するので売れ残りもほとんどない。
- ・魚、肉は冷凍できるが、マスカルポーネチーズは分離してしまうため冷凍に向かないので、残ってしまった場合は1週間程度で廃棄している。

④ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・保冷材の廃棄が多いので、引き取って再利用してくれるところがあれば良い。
- ・客が忘れていく傘に困っている。保管しておくが、ほとんど取りに来ない。以前は、ビニールと骨組みを分ける必要があった。処理費がかかり困っている。

⑤区への要望

- ・シュレッダーした紙を再生する機械があるようなので利用できないか。
- ・ごみ関係に限らず、区でイベントをやってもあまり認知されていないので、周知に力を入れてほしい。

(3) 小売業（スーパーマーケット管理事業者）C社

日時 令和8年2月13日（金） 10時00分～11時00分

①事業所の概要

- ・首都圏に展開するスーパーマーケット事業の管理を行っている。

②事業活動から出るごみの種類

- ・発生するものは主に紙類（OA紙、雑紙、機密書類）である。
- ・シュレッダーせずに機密書類扱いに変更した。

③ごみの分別・資源化の状況

- ・グループ全体で紙ごみ（古紙）は減少傾向、価格表示を電子値札に変更し、6割程度削減したスーパーもある。
- ・紙のPOPは上質紙なのでリサイクルしていたが分別ができていないため可燃に回っていたケースもある。
- ・プラスチック製のカトラリーはスプーンを紙製に、後は耐久性の面でバイオマスの製品を使用、セルフだと過剰に持っていく人がいるので、サービスカウンターで渡すようにしている。
- ・食品廃棄物のうち、魚のアラと食用油については業者が少なく限られているのでスーパー各社で統合できている。食品廃棄物は以前、飼料化・肥料化が多かったが、使用先が少なく、納品しても処分されている。現在はメタンやバイオガス化が7割程度である。
- ・フードドライブを約130店舗で実施しているスーパーがあり、月にダンボール4程度集まることもある。お客さんだけでなく、従業員も参加し寄付のために店舗で買った食品を提供する例もある。
- ・クリスマスケーキは受注生産している。データの蓄積により、予測精度が高まっているので恵方巻に関しては、ほとんどロスが発生していない。
- ・家庭で発生した廃食用油の店頭回収を実施している。活用方法はSAF、バイオエネルギー。SAFは原料として買取価格が高いが、移動距離からみれば環境負荷は高いのでバイオエネルギーの方が良いのか、様子を見ている段階である。
- ・コロナの時は、分別する際の感染リスクから触れたくないとの意見があり、必要以上

に分別せず焼却されていた。

- ・アルミ付き牛乳パックの店頭回収を実施している。

④ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・小売業でプラスチックの削減、特に包装関係は非常に難しい。
- ・食品トレーの分別が複雑（白、透明、色付き等）、回収対象でないトレーが入っていることもあり、小売業全体として省人化の流れで、分別等に人を割けないのが現状である。
- ・リチウムイオン電池の管理、処分、コスト（電子値札や POP により排出量が増える可能性がある）が課題。安全の確立ができていないため、店頭回収は前向きではない。

⑤区への要望

- ・行政間で処理施設の性能等の理由で分別基準が違うので困る。
- ・小売りでは廃プラスチックが多く発生するが、対策がない状態である。
- ・フードドライブを広げていきたいが、持っていく先との連携がうまく行かない等、運営支援が大変。連携ができていない行政とそうでない行政に差がある。
- ・リサイクル活動自体サービスの側面があり、企業の経営の持続性としては難しい。
- ・リサイクルの価値をどう上げるか。ごみの有料化は意識変容の良い機会になるのでは。

（４）小売業（食品）D社

日時 令和8年1月27日（火） 10時00分～10時30分

①事業所の概要

- ・和菓子製造販売を行っており、製造工場は本店近くにある。繁忙期は、11月～3月、年末年始、節分、ひな祭りの時期である。

②事業活動から出るごみの種類

- ・ごみや資源は区回収を利用しており、ごみの排出量はここ数年大きく変わらない。

③ごみの分別・資源化の状況

- ・主に排出される紙類は、段ボール、包装紙、伝票。資源化している紙類は、段ボール、包装紙、特に包装紙は裏紙として利用してから廃棄している。可燃ごみとして出している紙類は、伝票、紙紐（紙の周りにポリエステルみたいなコーティングのある紐）である。
- ・年間 250 種類の商品を製造しているが、和菓子の製造工程では食品ロスはほとんど出ない。

- ・食品ロスではないが、卵の殻が多く発生することが気になっている。
- ・主に使用しているプラスチック類は、包装袋、レジ袋、フードパックである。
- ・商品によって長持ちさせるためにプラスチック製の個包装を使用しているものもある。
- ・商品が乾燥しないという点でもプラスチックは利点がある
- ・レジ袋はバイオマスマークの付いているものを使用。最近はマイバックを持っている人も多い。

④ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・紙使用量削減の取組として、箱内の仕切り、緩衝材を使用しない。創業当時から続けている取組。ごみになるものはできるだけ使わないという方針は昔から変わらない。創業者がそういう意識を持っていた。
- ・伝票は4枚複写から3枚複写へ変えた。
- ・販売商品は、予約で受け付けて消費期限切れなどで廃棄するものが出ないようにしている。予約は1個からでも受け付けている。

⑤区への要望

- ・社会全体としてごみ減量などの取組が増えて、皆の意識が高まれば良いと思う。
- ・最近、カラスが減ったが、特にコロナ後にネズミが多く出るようになった。飲食店の多い地域なので、もう少し意識が高まるといい。

(5) コンビニエンスストア E社

日時 令和8年2月9日(月) 10時00分～10時50分

①事業所の概要

- ・事業内容は、フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業である。

②事業活動から出るごみの種類

- ・事業所(オフィス)で発生する廃棄物は主に紙類、食品包装系のごみが多い。
- ・オフィス内ペーパーレス化が進み、社内のみ資料では印刷しないことも多い。
- ・シュレッダーは使用しておらず、機密書類として委託している。
- ・オフィス内の分別は案内、資料があるが、周知は行き渡っていないように感じる。
- ・店舗と比較するとオフィスのごみ発生量は少ないので、あまり注目されていない。
- ・店舗での発生量は主に可燃物とダンボール、食品廃棄物である。

③ごみの分別・資源化の状況

- ・廃棄物の発生量は減少傾向にあり、特に食品ロスは減少している。その要因は、以前

は店先にごみ箱を設置していたが、店内に変更したことで、人の目を気にするようになり、量だけでなく、質の面でも改善された。

- ・食品ロス削減を目指すツールとして消費期限が近い値引き商品に貼るシールを作成し、全国展開しており、食品ロスは削減されている。
- ・店舗では、紙はタブレットを使用することで資料等が減少している。
- ・家庭の使用済み食用油の回収など自治体の取組へ協力している。

④ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・お客によって左右され、コントロールできないところがある。
- ・恵方巻は、予約割合を増やしているため以前ほどの食品ロスにはならないが、店舗に来店して購入する客が多く、完全予約制にすることは難しい。

(6) オフィスビル管理事業者 F社

日時 令和8年1月30日(金) 10時00分～10時40分

①事業所の概要

- ・事業内容は、施設警備業務、環境衛生管理業務、施設監視業務等である。
- ・廃棄物の分別ルールを各テナントに配布する等の周知を行っている
- ・各テナントからビルの廃棄物保管場所に集約され委託業者が収集している
- ・ビルごとのリサイクル率を把握している。(テナントごとの発生量は集計していない)
- ・ごみの発生量はコロナ渦で減少するも以前の水準に戻り、直近3年は横ばいである。
- ・各テナントが独自に処理委託している廃棄物については、毎年5月再利用計画としてヒアリングを実施している。

②事業活動から出るごみの種類

- ・OA紙、新聞紙、ダンボール、雑誌、シュレッダーを含めたミックスペーパーに分別している。
- ・濡れたもの汚れたもの(紙コップ、牛乳パック類)は可燃ごみとして排出している。
- ・機密書類は各テナントが独自に実施している。
- ・クリアファイル、ビニール袋等は不燃物としてサーマルリサイクルしている。
- ・社員食堂はなし、食品系のテナントは入居していない。
- ・各テナントで発生する生ごみ、コーヒー殻は可燃ごみとして出している。

③ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・テナントは廃棄物の分類に協力的で、現時点では運用上の課題は認識していない。
- ・リチウムイオン電池について、将来的に何かしら検討の意向あり。

④区への要望

- ・港区が実施している活動や情報は管理会社に入るので、入居している事業者には直接伝わる仕組みがあると良い。管理会社からよりも行政からの方が聞き入れてくれる。
- ・他の事業者の取り組み事例を知見として活かしたい。

(7) リサイクル事業者 G社

日時 令和8年2月2日(月) 13時30分～14時40分

①事業所の概要

- ・事業内容は、廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化にかかわる事業である。
- ・事業系一般廃棄物と産業廃棄物(廃プラ、金属くず等)、家庭ごみは扱っていない。
- ・古紙は再生利用、プラスチックはRPF、ペットボトルは繊維または再度ペットボトルへ、金属は再生金属として売却している。
- ・子会社では食品廃棄物(災害用備蓄品、飲食、小売りからの廃棄、等)の処理している。
- ・ごみの量はコロナ以前比較して減少しているが、同業他社の廃業や許可の返上により当社が受け皿となっている。

②事業活動から出るごみの種類

- ・本社のごみ排出量は各品目45L袋で1袋/日程度。自社処理ではなくテナントとしてビル管理会社が委託している処分先で処理されている。

③ごみの分別・資源化の状況

- ・ごみ資源の質に変化はないが、古紙の排出量は年々減少している。汚れのひどい古紙や、大量の紙コップはリサイクルに向かないので、受け入れしない場合もある。
- ・搬入後は、手選別で不適切物の除去程度の選別を実施している。
- ・シュレッダーごみは資源として受け入れている。
- ・区内の食品廃棄物の取引は外食、コンビニ、商業テナントを中心として400件程度ある。分別について契約時に周知する。

④ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・分別すれば処分費は安くなると提案しているが、分別にかかる手間や機密情報保護の側面もあり、本来リサイクル可能な古紙が可燃ごみに混入している。
- ・リチウムイオン電池は分別の周知をしているが、製品一体型だと判別が難しい。
- ・当社でも軽微な発煙や発火トラブルが発生している。

・品目によっては清掃工場で焼却処分コストの方が安い場合がある。

(8) 一般廃棄物処理許可事業者 H社

日時 令和8年1月26日(月) 10時00分~11時00分

①事業所の概要

- ・区リサイクル事業協同組合としての活動している。
- ・家庭や小規模事業所から出る一般廃棄物と資源の収集運搬と再資源化を行っている。組合は古紙の販売のみ。回収は区部の車付雇上にて実施している。
- ・基本的に古紙は港区の区分で、新聞、雑誌、段ボール等の一般的な区分で分けている。受け先の古紙問屋によって分別の仕方は個々に区分を変えている。
- ・区内の集団回収の回収業者として組合が登録している。集団回収の団体数は横ばいで、回収実績は月60トン程度である。
- ・古紙回収で集めた紙を原料にして製造されたティッシュペーパー等を区内小中学校に配布している。

②事業活動から出るごみの種類

- ・古紙、PETボトルは自社で回収。それ以外(可燃、資源プラ)は一般廃棄物として行政回収(港区収集)と一緒に出し、週1袋程度、紅茶ティーバッグや弁当がら等が出ているが、かん・びんは殆ど出ない。住宅も兼ねており家庭ごみも一緒に出しているが、廃食用油は出ない。

③リサイクルの状況

(古紙)

- ・主な回収先は印刷会社・製本会社の立ち落とし、物流関係(小売店、物流センター等)や製造業等から出る段ボール。その他は、区内の家庭の資源の古紙の回収、他の回収業者や問屋からの買い入れもある。
- ・販売は国内販売が9割。1割は専門商社を介して輸出販売。東南アジア向け(ベトナム、マレーシア等)、その他、組合で共同出荷して輸出しているものもある。

(プラスチック)

- ・古紙と同時に回収し、梱包して販売。メインはストレッチフィルム。他、PPバンド、PETボトル、プラパレット、発泡スチロール等である。
- ・プラスチックは100%国内販売のみ。9割は千葉・茨城のペレットメーカーに販売。残り1割のパレット・その他廃プラスチックについては、産廃処理(パレットは燃料化、その他はRPF化)している。

(禁忌品等)

- ・製紙メーカーに納品する際の分別は、基本的にはどこも一緒。印刷系は細かく品種が決まっているが限られたヤードでしか出ない。
- ・禁忌品 B 類でも引き受けるメーカーもあるが、定めている基準を崩すと品質が悪化する。禁忌品対応できない製紙メーカーもありそこに合わさざるを得ない。

(機密処理/シュレッダーごみ)

- ・シュレッダーは普通に製紙原料として取引されているので認識を変えていきたい。
- ・紙は繊維が絡まっているので、細かいと繊維が短くなり水を使って処理する時に流れてしまうなど歩留まりは悪く(6~7割)、価格も低くなる。メーカー都合が大きい部分。
- ・回収業者でもメーカーでも問屋でもシュレッダーごみの扱いには意見が分かれる。
- ・リサイクル視点では、シュレッダーせず機密書類で出す方が良いが、事業者はコストがかかる。情報漏洩リスクを重視する企業が殆どで、必ずシュレッダーという方が多い。
- ・機密処理回収後はメーカーの機密処理プラントに直接搬入している。

(リサイクル/サーキュラーエコノミーの普及啓発・情報発信・交流活動)

- ・古紙に限らず日本の廃棄物の状況を事業者への取材中心に子会社で情報発信している。
- ・ものづくり事業者には、排出やリサイクルの現場を見ていただき、物を作る時から考えてデザインすることで、廃棄時のコスト削減になり、資源循環、サステナビリティ活動等の指針の一環として、事業者が進める際の一つの要素として考えていただく。
- ・事業者向けの情報発信がメイン。埼玉県とも連携。イベントではロール紙の実物を展示したり、紙の張替えや巨大折り鶴等のワークショップを行うなどの子供向けコンテンツもある。学校への出前授業等もやっており、雑がみをゲーム形式で学んだりしている。見学者は多くが大企業の方である。
- ・最近、ノベルティ、再生品・環境配慮のものが増えている。
- ・広報みなとの回収、集めた段ボールを備蓄用段ボールベッドに活用することを区に提案している。

資料編

1. 区民アンケート調査票

港区 資源・ごみに関する区民アンケート調査について

日頃から、港区の清掃リサイクル行政にご理解、ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

港区では、令和8年度に港区のごみ処理の基本事項を定める「港区一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行う予定です。それに先立ち、標記のアンケート調査を実施することとしました。

調査に当たりまして、港区にお住いの18歳以上の方から、無作為に2,000名の方を選びアンケートを送付しております。本調査の結果は統計資料として取りまとめ、今後区が実施するごみの減量化・資源化の取組の基礎資料といたします。回答いただいた方の個人が特定されるような取扱いはいいたしません。率直なご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

【回答方法】

回答方法は以下の3つの方法があります。いずれか1つの回答方法を選んでお答えください。

1. 郵送による回答

- (1)同封のアンケート調査票の設問にお答えください。
- (2)ご記入が済みましたら同封の返送用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

2. スマートフォンで回答

- (1)調査票に記載のアンケート回答用2次元コードをスマートフォンで読み取ると、アンケートサイトが表示されます。
- (2)設問に従って回答してください。

3. パソコンで回答

- (1)調査票に記載のアンケート回答用 URL にパソコンでアクセスすると、アンケートサイトが表示されます。
- (2)設問に従って回答してください。

【ご記入に際しての注意事項】

アンケートのご回答は、あなたのご家庭で日頃、ごみを出している方にご記入をお願いいたします。

アンケートは 12月19日(金) までに投函またはスマートフォン・パソコンで回答をお願いします。

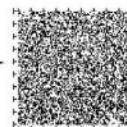
ご不明な点等ございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

<調査実施主体>

港区環境リサイクル支援部みなとリサイクル清掃事務所

電話:03-3450-8025 担当:計画係 北野・宗野(そうの)

このマークは視覚に障害のある人などが使う音声コード(Uni-Voice)です。



港区 資源・ごみに関する区民アンケート調査

以下のアンケートにご回答ください。

回答は郵送による返送か、

右の2次元コード、または下記 URL にアクセスし、送信をお願いします。

回答用 URL: <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/minatokumianke/2025/>



I あなたご自身とご家庭について

問1 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 |
| 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 |
| 7. 70 歳代以上 | |

問2 あなたと同居している人数は何人ですか。あなたご自身を含めた人数をお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人 | 6. 6人以上 |

問3 あなたのご住所を左の例にしたがって記入してください。

例) 港区 丁目 港区 丁目

問4 あなたのお住まいの住宅について、該当するものをお選びください。(○は1つ)

1. 戸建住宅
2. 店舗、事務所併用の住宅
3. ごみの保管場所があるマンションなどの集合住宅(管理人がいる)
4. ごみの保管場所があるマンションなどの集合住宅(管理人がいない)
5. ごみの保管場所がないマンションなどの集合住宅
6. その他(具体的に_____)

問5 あなたは、港区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

II ごみに関する問題意識や日常の行動について

問6 次の項目のうち、あなたが関心のある事項をお選びください。(○はいくつでも可)

1. ごみの減量・リサイクルについて
2. 本来食べられる食品が廃棄されてしまうこと(食品ロス)について
3. 海洋プラスチック問題について
4. ごみの焼却施設や最終処分場が環境に与える影響について
5. ごみの処理費用について
6. ごみ集積所へのごみの出し方、ごみ出しマナー等について
7. 災害時の廃棄物処理について
8. ごみの問題については関心がない
9. その他(具体的に_____)

問7 私たち一人ひとりがごみの減量・リサイクルをしなければならない理由で最も重要だと思ふことは何ですか。(○は1つ)

1. ごみの埋立処分※には限りがあるため
2. 循環型社会・脱炭素社会をつくる必要があるため
3. ごみの処理にかかる費用を抑制するため
4. ごみの減量・リサイクルの必要性を感じない
5. その他(具体的に_____)

※23区では、東京港の中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場を最終処分場として使用しており、この処分場は23区最後のごみ埋立処分場とされています。埋立処分場の残余年数を少しでも延ばすためには、ごみ減量・リサイクルへの一層の取組が必要です。

問8 あなたの家庭で、日頃の生活で心がけていることや取り組んでいることは何ですか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

	常に行う	行う ある程度	行わない あまり	全く 行わない
(1)生ごみの水切り	1	2	3	4
(2)紙コップ等使い捨て商品を使わない	1	2	3	4
(3)シャンプーや洗剤等は詰め替えできる商品を購入する	1	2	3	4
(4)量り売り・ばら売りの商品を購入する	1	2	3	4
(5)買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋はできるだけもらわない	1	2	3	4
(6)水筒やタンブラーなど、マイボトルを利用する	1	2	3	4
(7)包装の少ない商品を選ぶ	1	2	3	4
(8)コンビニ等でプラスチックのストロー・スプーン等を断る	1	2	3	4
(9)リサイクルショップ、フリーマーケットで商品を購入する	1	2	3	4
(10)リサイクルショップのウェブサイト、フリマアプリを利用する	1	2	3	4
(11)エコマークなどが表示された、環境に配慮した製品を購入する	1	2	3	4
(12)長く使えるものを購入する	1	2	3	4
(13)故障してもすぐには捨てず、修理して使う	1	2	3	4
(14)レンタル品・シェアリングサービスを利用する	1	2	3	4
(15)港区の環境保護やリサイクル活動等のイベントに参加する	1	2	3	4

Ⅲ ごみに関する区の取組について

問9 区では、ごみの出し方や区の取組について、様々な方法で情報提供を行っています。あなたが利用したことのあるもの、またはご覧になったものをお選びください。(○はいくつでも可)

1. 港区ホームページ
2. 資源とごみの分別ガイドブック
3. 広報みなと(紙媒体)
4. パンフレット「港区の清掃とリサイクル」
5. 区民まつり等のイベント
6. 動画(ケーブルTV・デジタルサイネージ・DVD(清掃事業紹介・資源化センター紹介番組))
7. SNS(エックス(旧ツイッター)等)
8. 東京都港区ごみ分別アプリ
9. 清掃車のラッピング広告
10. 利用したことがない、見たことがない
11. その他(具体的に_____)

問10 ごみの減量・リサイクルなどに関する区の実施の中で、あなたが利用したことのあるもの、または知っているものをお選びください。(〇はいくつでも可)

1. 集団回収^{※1}の促進
2. 家庭用生ごみ処理機^{※2}、コンポスト容器の購入費の助成
3. 家庭用生ごみ処理機の無料貸出
4. イベント等で使用するリユース食器の貸出または利用の補助
5. 家具のリサイクル展
6. 区のイベントでの資源等回収
7. 子ども服の交換会「リユース♡ブリッジ」
8. 拠点回収^{※3}(利用したことがあるものに〇をつけてください。)
 - I. 使用済み小型家電製品
 - II. 廃食用油
 - III. 使用済み蛍光灯
 - IV. ペットボトルキャップの回収
 - V. 古着
 - VI. 使用済み乾電池
 - VII. 陶磁器・ガラス類
 - VIII. おもちゃ
9. 利用したことがない、知らない

※1 「集団回収」とは、町会・自治会・PTA・管理組合などの団体が、家庭等から出る古紙(新聞・雑誌・段ボール・紙パックなど)、びん・缶・布類などの資源を自主的に回収し、資源回収団体に引き渡してリサイクルする方法で、ごみの減量と資源循環を図る活動です。

※2 水分を多く含む生ごみは、家庭用生ごみ処理機を使用することで、水分をとばしたり、堆肥化することで減量することができます。各ご家庭における生ごみの減量化を促進するため、区では、生ごみ処理機やコンポスト容器購入費用の一部助成を行っています。

※3 「拠点回収」とは、古着や小型家電、乾電池の回収ボックスを区有施設に設置し、区民が持ち込んだ資源を区が回収するシステムです。回収場所は品目により異なるため、詳しくは港区ホームページやガイドブックにてご確認ください。

問11 今後、ごみの収集や減量・リサイクルを進めるにあたって、あなたが区に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも可)

1. ごみ減量・リサイクルの意識啓発
2. 次世代向けの環境学習を通じた人材育成
3. ごみ集積所の環境美化に向けた区民の意識啓発
4. ごみ集積所のカラス対策
5. 正しい分別や不法投棄防止のための指導・パトロール
6. 戸別収集の実施
7. 分別・資源化品目の追加(追加する品目_____)
8. 資源の区による拠点回収・事業者による自主回収(店頭回収等)の充実
9. 集団回収の支援・拡充
10. 生ごみ処理機の助成制度の充実
11. ごみ減量・リサイクルに関する企業・店舗への働きかけ
12. 訪問収集など区民の状況に応じたきめ細かいごみ収集
13. その他(具体的に_____)

IV 事業系ごみについて

問12 港区内から排出されるごみは家庭から排出されるごみよりも、区内の事業者(オフィス、店舗など)から排出されるごみの方が多くなっています。そのような状況を知っていましたか。(○は1つ)

1. 知っていた 2. 想像はできた 3. 知らなかった(考えたことがなかった)

問13 事業者のごみの削減やリサイクルについてあなたの意見に○をしてください。(○はいくつでも可)

1. 事業者が自主的にごみ削減・リサイクルを徹底するべき
2. 事業者のごみ分別ルールを厳格化するべき
3. 区が積極的に指導を行うべき
4. 事業者に対して助成金などによりごみ削減・リサイクルの支援を行うべき
5. その他(具体的に_____)

V 家庭ごみ収集の有料化について

問14 家庭ごみ収集の有料化についてあなたの意見に○をつけてください。(○は1つ)

港区では、粗大ごみや一度に大量に出されるごみを除き、家庭から出る資源・ごみの処理は無料です。全国的には、家庭ごみを含めた一般廃棄物処理の有料化が推進されており、すでに多くの自治体で家庭ごみ収集の有料化を導入済みです。東京都の多摩地域では40リットル袋1枚当たり60円から80円の料金水準としている自治体が多く見られます。

1. 有料化に賛成 2. どちらかといえば有料化に賛成
3. どちらかといえば有料化に反対 4. 有料化に反対
5. どちらともいえない
6. その他(具体的に_____)


問15 家庭ごみ収集の有料化の効果や課題についてあなたの意見に○をつけてください。(○はいくつでも可)

1. ごみを減らすための一人ひとりの意識が高まる
2. ごみを出す量が多い人と少ない人で不公平感がなくなる
3. ごみ収集や資源化の取組が充実していくことが期待できる
4. 税金の他にごみ収集のサービスにお金を払うのは納得がいかない
5. 家計の負担が増えるのは困る
6. 不法投棄などルールを守らない人が出てくる可能性がある
7. ごみの減量のためには有料化の前に他にもまだできることがある
8. その他(具体的に_____)

VI ごみの分別について

問16 あなたの家庭では、下記の品目をどのように出していますか。主な方法として、それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

品目	区の回収				拠点回収 (総合支所等に設置している回収ボックス)	町会・自治会等の集団回収	販売店への返却・販売店の回収	業者による廃品回収	わからない	その他	出していない
	可燃ごみ	不燃ごみ	資源								
紙類	新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	雑誌等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	段ボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	紙パック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	その他再生可能紙(菓子箱等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
飲食用びん類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
飲食用缶類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
プラスチック類	ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	容器包装プラスチック※1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	製品プラスチック※2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
乾電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
衣類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
廃食用油	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

※1:商品の容器や包装材として利用されているプラスチックのうち、ペットボトル、食品トレイ以外のものです。
 マークがついています。

※2:プラスチック製のバケツ、ハンガー、おもちゃなど、商品としてのプラスチックです。

問17 あなたはどのようにごみと資源の分別をしていますか。(○は1つ)

1. 区が配布した分別ガイドブックを確認しながら分別している
2. 区が配信している「東京都港区ごみ分別アプリ」を確認しながら分別している
3. 港区ホームページを確認しながら分別している
4. ごみ集積所の状況等を見つつ、自分なりに分別している
5. 分別の区分はすでに覚えているので、問題なく分別している
6. その他(具体的に_____)

港区では、ごみの分別や出し方を記載した「資源とごみの分別ガイドブック」を各地区総合支所・台場分室及び各いきいきプラザで配布しています。また、港区ホームページでも公開していますので、ご活用ください。

問21 あなたの食品に関する普段の行動について伺います。

それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

項目	常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない
冷蔵庫等の中の食品を確認してから、食品を買うようにしている	1	2	3	4
毎日、必要な食品を必要な分だけ買うようにしている	1	2	3	4
消費期限又は賞味期限までの期間が短い食品を購入(手前どり)している	1	2	3	4
賞味期限を過ぎた食品は、食べられるか否かを自分で判断して、食べるようにしている	1	2	3	4
調理の際には、食べきれの分量を調理するようにしている	1	2	3	4
調理の際には、食材を使いきるようにしている	1	2	3	4
冷蔵庫の中の食材を、把握している	1	2	3	4
食事の際には、食べ残しをしないようにしている	1	2	3	4

問22 「食品ロス」が家庭で発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。

(○はいくつでも可)

1. 食品を買いすぎたため
2. 食品の消費期限、賞味期限が切れてしまったため
3. 贈答品を受け取り、食べなかったため
4. 料理を食べ残してしまったため
5. 適正な保管方法をとっていなかったため
6. 災害時に備えていた食品を使わなかったため
7. 特に「食品ロス」は出ない
8. その他(具体的に_____)

問23 「食品ロス」が外食で発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。

(○はいくつでも可)

1. 少量のメニューが提供されていなかった
2. 注文時に思っていた量よりも、多くの量が出てきてしまった
3. コース料理などでまとめて注文したが、食べきれなかった
4. 宴会の席で、話に夢中になり、食べられなかった
5. アレルギー物質を含む食材や苦手食材が入っていた、味が好みでなかった
6. 飲み物が中心で、料理に手をつけられなかった
7. 食品ロスは発生しない
8. その他(具体的に_____)

問26 区では食品ロスを削減するために、様々な施策を実施しています。あなたは区が実施している施策をご存知でしたか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

【施策名】 内容の説明	知っており、 参加(利用) したことが ある	知っており、 参加 (利用) したい	知ってい たが、参加 (利用) したくない	知らな かったが、今 後は参加 (利用) したい	知らな かったし、参 加(利用) したくない
【食べきり強化月間】 宴会等が多くなる、忘年会・新年会シーズン、歓送 迎会シーズンを「食べきり強化月間」に指定し、食 品廃棄物・食品ロスを削減する取組 (期間：・12月16日～1月15日 ・3月16日～4月15日)	1	2	3	4	5
【30(さんまる)・10(いちまる)運動】 宴会編： 乾杯後の30分間は出来たての料理を楽し しみ、終了前10分間は食べることを優先する時 間にする取組 家庭編： ○毎月30日「冷蔵庫クリーンアップデー」冷蔵庫 の中にある、賞味期限や消費期限が近い食材や、 傷みやすい野菜・肉類を活用する取組 ○毎月10日「もったいないクッキングデー」普 段捨ててしまいがちな、野菜の皮等や余った野菜 を使い、別の料理にリメイクする取組	1	2	3	4	5
【食べきり協力店】 「ご飯の量の調整」「ハーフサイズメニューの導入」 など、食品ロス削減に取り組んでいる区内の飲食 店を、区が登録する制度	1	2	3	4	5
【フードドライブ】 家庭で余っている未利用食品(賞味期限の有効期 限が2か月以上)を各総合支所等で集め、「フード バンク」等を通じて、食品を必要とする人に提供す る取組	1	2	3	4	5

問27 フードドライブについて伺います。あなたがフードドライブに寄付するためには、どんな要件が必要だと思えますか。(○はいくつでも可)

1. 常設の受付窓口が便利な場所にあること
2. 集めた食品が、それを必要とする区内の人に提供されること
3. 集める食品の賞味期限が、2か月よりも短いこと
4. 自宅に直接取りに来てくれること
5. その他(具体的に_____)

問28 食品ロスに関して何かご意見がありましたら、ご記入ください。

港区の清掃リサイクル事業へのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

2. 事業者アンケート調査票

港区 資源・ごみに関する事業者アンケート調査について

日頃から、港区の清掃リサイクル行政にご理解、ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

港区では、令和8年度に港区のごみ処理の基本事項を定める「港区一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行う予定です。それに先立ち、標記のアンケート調査を実施することとしました。

調査に当たりまして、区内事業所の中から、産業分類を考慮して無作為に 2,200 事業所にアンケートをお送りしております。本調査の結果は統計資料として取りまとめ、今後区が実施するごみの減量化・資源化の取組の基礎資料といたします。事業者名が特定されるような取扱いはいいたしません。率直なご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

すでに事業を営んでいない場合には、お手数ですが、廃棄いただきますようお願いいたします。

[回答方法]

回答方法は以下の3つの方法があります。いずれか1つの回答方法を選んでお答えください。

1. 郵送による回答

- (1)同封のアンケート調査票の設問にお答えください。
- (2)ご記入が済みましたら同封の返送用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

2. スマートフォンで回答

- (1)調査票に記載のアンケート回答用2次元コードをスマートフォンで読み取ると、アンケートサイトが表示されます。
- (2)設問に従って回答してください。

3. パソコンで回答

- (1)調査票に記載のアンケート回答用 URL にパソコンでアクセスすると、アンケートサイトが表示されます。
- (2)設問に従って回答してください。

[ご記入に際しての注意事項]

1. アンケートのご回答は、貴事業所の廃棄物管理のご担当者様にお尋ねいたします。
2. 回答は、このアンケート調査票が届いた事業所単位(たとえば、〇〇会社〇〇支店ならば、〇〇支店のお考えや状況)でお答えください。

アンケートは 11月14日(金) までに投函またはスマートフォン等で回答をお願いします。

ご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

<調査実施主体>

港区環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
電話:03-3450-8025 担当:計画係 北野・宗野(そうの)

港区 資源・ごみに関する事業者アンケート調査

以下のアンケートにご回答ください。

回答は郵送による返送か、

右の2次元コード、または下記 URL にアクセスし、送信をお願いします。

回答用 URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/41432aaf311094>



I 貴事業所の概要について

問1 貴事業所の業種をお答えください。(○は1つ)

※複数の業種にまたがる場合は、売上げが最も大きい業種を選択してください。

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------|-----------------|
| 1. 農業、林業、漁業 | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気、ガス、熱供給、水道業 | 6. 情報通信業 | 7. 運輸業、郵便業 | 8. 卸売業、小売業 |
| 9. 金融業、保険業 | 10. 不動産業、物品賃貸業 | 11. 教育、学習支援業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 学術研究、専門・技術サービス業 | 15. 医療、福祉 | 16. 複合サービス事業 |
| 17. サービス業(他に分類されないもの) | 18. その他(_____) | | |

問2 貴事業所の主な形態をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 工場での製品製造 | 2. 社外での工事 |
| 3. 製品の在庫管理や発送・運送 | 4. 店舗での商品(食品を含む)の販売 |
| 5. サービスの提供 | 6. 営業活動 |
| 7. 事務作業 | 8. その他(_____) |

問3 貴事業所に勤務する従業員数はおおよそどれくらいですか。(本アンケートが送付された本店または支店等に勤務する従業員数をお答えください。長期のパートやアルバイトを含みます)

人

問4 貴事業所の延床面積は、おおよそどれくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 30㎡未満 | 2. 30～50㎡未満 | 3. 50～100㎡未満 |
| 4. 100～300㎡未満 | 5. 300～500㎡未満 | 6. 500～1,000㎡未満 |
| 7. 1,000～3,000㎡未満 | 8. 3,000～5,000㎡未満 | 9. 5,000㎡以上 |

問5 貴事業所が入っている建物全体の延床面積はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1,000㎡未満 | 2. 1,000～3,000㎡未満 |
| 3. 3,000～5,000㎡未満 | 4. 5,000㎡以上 |

問6 貴事業所の建物形態は次の4つの中でどれにあてはまりますか。最も近いものを選択してください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------|------------|----------|-------------|
| 1. 戸建住宅と兼用 | 2. 共同住宅と兼用 | 3. 単独事業所 | 4. 事業所ビルに入居 |
| 5. その他(_____) | | | |

問7 所在地域を左の例にしたがって記入してください。

例) 港区 丁目 港区 丁目

II 資源・ごみの発生・処理状況について

問8 貴事業所における可燃ごみの排出量を記入して下さい。また、処理方法を、下にある選択肢から選んで、該当する番号に○を記入してください。

※住居併設の事業所の場合、家庭系ごみは含みません。

品目	排出頻度	処理方法
可燃ごみ (清掃工場 焼却している 一般廃棄物)	(記入例) 『月2回』排出している場合は、下の欄 の左側(日・週・月)の「月」に○、右側 (回)に「2」と記入して下さい。	下記の選択肢の中から該当する番号に○を記入して下さい。 (1)民間業者に処理を委託している (2)区の収集に「有料シール」を貼って出している ※新規での「有料シール」での収集申込は受け付けておりません。 (3)発生しない (4)わからない (5)その他()
	日・週・月 回	

問9 問8の「処理方法」で(1)を記入した方におたずねします。現在委託している民間の一般廃棄物処理業者を選んだ理由をお答えください。(○はいくつでも可)

1. 信頼できる業者だから
2. リサイクルをするなど環境に配慮しているから
3. 収集日が多いから
4. 希望する時間に収集してくれるから
5. 値段が安いから
6. 商店街やテナントなどで共同委託しているから
7. 親会社や関連会社が決定しているから
8. その他(具体的に_____)

問10 問8の「処理方法」で(2)を記入した方におたずねします。民間の一般廃棄物処理業者に委託していない理由をお答えください。(○はいくつでも可)

※新規での「有料シール」での収集申込は受け付けておりません。

1. 発生量が少なく、業者に委託するほどではないから
2. 値段が高いから
3. どの業者がよいかよくわからないから
4. 契約手続き等が手間だと感じるから
5. 親会社や関連会社が決定しているから
6. その他(具体的に_____)

問11 貴事業所から排出される可燃ごみの内訳について、大まかな割合を記入してください。

■ 可 燃 ご み		割合(%)
	紙類	%
	厨芥類(生ごみ)	%
	剪定枝・草花	%
	その他()	%
	合計	100 %

問12 下記の表の品目について、貴事業所における排出量を記入して下さい。また、それぞれの品目の処理方法を、下の点線囲みにある選択肢①～⑬の中から選んで、該当する番号を1つずつ記入して下さい。

品目 ★は「産業廃棄物」に分類	排出頻度		排出量		処理方法 下の点線囲みの選択肢の中から該当する番号を記入して下さい。
	記入例) 『月2回』排出している場合は、左側(日・週・月)の「月」に○、右側(回)に「2」と記入して下さい。		1回当たりのおおよその排出量を、左欄の「kg」または右欄の各単位のどちらかでお答えください。		
A コピー・OA用紙	日・週・月	回	kg	cm (A4 サイズに畳んだ高さ)	
B 機密文書等(一括処理文書)*1	日・週・月	回	kg	cm (A4 サイズに畳んだ高さ)	
C 雑誌・パンフレット・色付き紙	日・週・月	回	kg	cm (A4 サイズに畳んだ高さ)	
D 新聞・折込チラシ	日・週・月	回	kg	cm (A4 サイズに畳んだ高さ)	
E 段ボール	日・週・月	回	kg	枚	
F ミックスペーパー*2	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
G 生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
H 木・草・繊維等*3	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
I 飲食用びん類	日・週・月	回	kg	本 袋 (45L相当)	
J 飲食用缶類	日・週・月	回	kg	本 袋 (45L相当)	
K ペットボトル	日・週・月	回	kg	本 袋 (45L相当)	
L 廃食用油★	日・週・月	回	kg	L	
M 弁当ガラ★	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
N M以外のプラスチック★	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	

※1:シュレッダー処理をしたものはFに含めてください。

※2:ミックスペーパーとは、古紙の分別区分の一つです。A～Eを除く、汚れが付いておらずリサイクルできる紙類を、一つの分別区分としたものです(お菓子の箱、包装紙、ハガキ、封筒、メモ帳など)。

※3:一般廃棄物の「動物死体」「ガーゼ等の医療廃棄物」も含めてください。

↑
選択して記入

選 択 肢

！！ これらは全てリサイクル可能なものです !!

- | | |
|---------------------------------------------|-----------------------------|
| ①民間業者にお金を払ってごみとして処理してもらっている | ⑧地域の集団回収に出している |
| ②自社で行政の処理施設(清掃工場など)へ搬入している | ⑨民間業者に売却、もしくは無料で引き取ってもらっている |
| ③可燃ごみ・不燃ごみとして区の収集に出している | ⑩納入業者(販売者)が回収している |
| ④民間業者にお金を払ってリサイクルをしてもらっている | ⑪発生しない |
| ⑤自社で資源回収業者へ搬入している | ⑫わからない |
| ⑥みなとエコ・オフィス町内会*1または港区オフィスリサイクルシステム*2を利用している | ⑬その他 |
| ⑦資源として区の収集に出している | |

*1みなとエコ・オフィス町内会:環境 NPO「オフィス町内会」が、会員として参加している会社の古紙を回収し、リサイクルするシステムです。

*2港区オフィスリサイクルシステム:港区内のリサイクル事業者が協同組合を設立し、港区や商工会議所と協議して作ったリサイクルシステムです。

問13 「紙類」*について、リサイクル処理されていない事業者の方におたずねします。

リサイクルしない理由は何ですか。(○は1つ)

※「紙類」とは、コピー・OA用紙、雑誌・パンフレット・色付き紙、新聞・チラシ、段ボール、ミックスペーパー等です。

1. 「紙類」がリサイクルできることを知らなかったから
2. ごみとして処理するよりもリサイクルする方が、料金が安いから
3. 社内の手続きや分別の周知などが手間だと感じるから
4. その他(具体的に_____)

問14 今後の、貴事業所における「厨芥(生ごみ)類」の減量・リサイクルについて、どのようにお考えですか。(○はいくつでも可)

1. ごみの減量のため、多少コストがかかっても積極的にリサイクルに取り組みたい
2. 補助金が出る等、金銭的なメリットがあれば、リサイクルに取り組みたい
3. リサイクル方法や業者等の情報があり、取り組みやすい環境があれば、リサイクルに取り組みたい
4. 特に減量・リサイクルに取り組みつもりはない
5. 「生ごみ」は発生しない
6. すでに減量・リサイクルに十分取り組んでおり、これ以上は推進できない

問15 貴事業所の一般廃棄物のごみ処理料金は、1か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 500円未満 | 2. 500円以上～1000円未満 | 3. 1000円以上～2000円未満 |
| 4. 2000円以上～5000円未満 | 5. 5000円以上～10000円未満 | 6. 10000円以上～20000円未満 |
| 7. 20000円以上～50000円未満 | 8. 50000円以上 | 9. わからない |

問16 貴事業所の全体のごみ量は、2023年度と比較し、2024年度はどのように変化しましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|----------|
| 1. 減った | 2. 増えた | 3. 変わらない | 4. わからない |
|--------|--------|----------|----------|

問17 問16で「1」または「2」を記入した方におたずねします。
ごみ量が変化したのはどのような理由ですか。

[_____]

問18 貴事業所では、ごみ管理の担当者やリサイクルの担当者(社員等にルールを徹底をする人)を決めていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|-------------------|
| 1. 決めている | 2. 決めていない | 3. その他(具体的に_____) |
|----------|-----------|-------------------|

※問 19 から問 21 は、『小売店』や『販売店』の方におたずねします。

それ以外の事業所の方は、問 22 へお進みください。

問19 トレーや容器などの包装材や、レジ袋や紙袋などの包装についておたずねします。

貴事業所の包装について、あてはまるものをお答えください。(○は1つ)

1. 従前より包装が増えている
2. 従前より包装が減っている
3. 従前から包装は変化していない

問20 食品を販売している事業者の方におたずねします。

商品を「食品ロス」にしないために、実施している取組はありますか(○はいくつでも可)

1. あらかじめ売り切れる量を予測し、販売することになっている
2. 閉店前に、安売りをして売り切るようにしている
3. フードバンク等を利用し、有効活用している
4. 売れ残った食品は、リサイクル(飼料化・肥料化等)している
5. 特に何もしていない
6. その他(具体的に_____)

問21 食品を販売している事業者の方におたずねします。

今後食品ロスを削減するために、何が有効だと思いますか(○はいくつでも可)

1. 売り残しを減らすための啓発ツール
2. 余った食材の活用ルートの拡充
(売場に貼るシール、ポスター等)の提供
3. 食品ロス削減マッチングアプリとの連携
4. 特になし
5. 生ごみ処理機、コンポスト等の導入
6. その他(具体的に_____)

Ⅲ 関心・取組み状況について

問22 貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。(○は1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. ごみ減量は取り組んでいるが、リサイクルは取り組んでいない
4. ごみ減量は取り組んでいないが、リサイクルは取り組んでいる
5. あまり取り組んでいない
6. 取り組んでいない
7. その他(具体的に_____)

問23 問 22 で「1」～「4」と回答した方におたずねします。ごみ減量・リサイクルに取り組ん

だきっかけについて、あてはまるものをお答えください。(○はいくつでも可)

1. 区より指導を受けたため
2. ISO14001 やエコアクション 21*の取得をきっかけに
3. コスト削減のため
4. 会社の社会的責任として
5. 会社のイメージアップや認知度向上のため
6. その他(具体的に_____)

※エコアクション 21:環境省が定めた環境経営システムや環境報告に関するガイドラインにもとづく制度

問24 問22で「5」または「6」と回答した方におたずねします。貴事業所が、ごみ減量・リサイクルを進める上での課題について、あてはまるものをお答えください。(○はいくつでも可)

1. 資源化できるものは出ない、または発生量そのものが少ない
2. これ以上分別するには手間がかかりすぎる
3. これ以上経費をかけることが難しい
4. 保管するスペースがない
5. 衛生上問題がある
6. 適当な資源回収業者が見当たらない
7. 機密文書が多く、リサイクルが難しい
8. 社員に分別の徹底を指導するのが難しい
9. どのように減量・リサイクルすればよいかわからない
10. ごみの減量・リサイクルの必要性を感じない
11. 課題は特にない
12. その他(具体的に_____)

**※問25 から問29 は、『飲食店』や『宿泊施設』の方におたずねします。
それ以外の事業所の方は、問30へお進みください。**

問25 貴事業所の食品廃棄物削減に効果のある取組は以下のうちどれだと思いますか。
(○はいくつでも可)

1. 飲食メニューや調理方法の改善等による生ごみ発生量の削減
2. 生ごみの水切りや乾燥の徹底
3. 生ごみの資源化(堆肥化等)の推進
4. 廃棄物処理手数料(清掃工場への持ち込み手数料や許可業者への委託料)の値上げ
5. わからない
6. その他(具体的に_____)

問26 食品廃棄物削減のため、貴事業所で取り組んでいるのはどのようなことですか。
(○はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 小盛りメニューの導入 | 2. ポスター等による食べ残し削減の呼びかけ |
| 3. 持ち帰りの推奨 | 4. 食べ残し食品の堆肥化等のリサイクル |
| 5. 未使用食品のリサイクルの実施 | 6. 食品ロス削減マッチングアプリの活用 |
| 7. 特にない | 8. その他(具体的に:_____) |

問27 区では、食品廃棄物削減のため、食べきり協力店※の登録事業者を募集しています。
この制度について、知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

※ 食べきり協力店登録制度：飲食物を提供する区内の店舗・宿泊施設を対象に、食べ残しを減らす取組や利用者に食べさせることを促す取組を行う店舗等を食べきり協力店として登録しています。

問28 食べきり協力店に登録すると、登録証・ステッカーを交付し、区のホームページやガイドブックで店舗の情報を紹介しています。今後、区が食べきり協力店に対して行ってほしい支援について、該当する項目はどれですか。(〇はいくつでも)

1. 啓発品の支給
(希望するもの: _____)
2. 食品ロス削減に関する講習会の開催
3. ごみ減量方法の情報提供
4. 食品ロス削減マッチングアプリ活用への支援
5. 特にない
6. その他(具体的に: _____)

問29 区では、宴会などの食べ残しを減らすため、宴会の開始30分を味わいタイム、終了前10分間を食べきりタイムとした、30・10運動^{さんまるいちまる}を推奨しています。貴事業所では、宴会での食べ残しを減らすために、取り組んでいることはありますか(〇はいくつでも可)

1. 苦手食材を聞き、他の食材に替えている
2. ポスター等で注意喚起している
3. 注文を受ける際に、料理の量をあらかじめ伝えるようにしている
4. 特に何もしていない
5. その他(具体的に _____)

IV 区の施策・情報について

問30 今後、貴事業所がごみの減量・リサイクルを推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策をお答えください。(〇はいくつでも可)

1. 事業所への指導・監督の強化
2. 収集業者への指導・監督の強化
3. 民間の資源回収業者との連携(紹介等)
4. 事業系ごみ分別の手引きの配布
5. 講習会(出前講座)の開催機会の増加
6. 特になし
7. その他(具体的に _____)

問31 現在、区は、ごみの減量またはリサイクルに積極的な事業者・団体を表彰する「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を実施し、その功績をたたえています。このような、優れた取組を行っている事業者が何らかの形で優遇される仕組み作りを区が行う場合、どのような優遇制度が最も望ましいですか。(〇は1つ)

1. 公共事業や公共機関の物品購入等の資格条件
2. ごみ減量、リサイクル推進強化のための区からの支援
3. 区による認定とPR
4. その他(具体的に _____)

問 32 今後、貴事業所がごみの減量・リサイクルを推進するために、どのような情報が必要ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 処理業者・資源回収業者に関する情報 | 2. 法律や条例等規制に関する情報 |
| 3. 区の事業や収集に関する情報 | 4. 国の動向に関する情報 |
| 5. 類似事業所での成功事例などの情報 | 6. 特に必要ない |
| 7. その他(具体的に_____) | |

問 33 区からの情報については、どのような方法が入手しやすいですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 区の広報・チラシ・パンフレット | 2. 国や都などの広報・チラシ・パンフレット |
| 3. インターネット(SNS、メールマガジン等) | 4. 新聞・雑誌 |
| 5. 商工会や所属する団体から | 6. 収集運搬・処理業者から |
| 7. 説明会・セミナーなど | 8. ラジオやテレビ |
| 9. その他(具体的に_____) | |

問 34 区が貴事業所にお伺いし、ごみ減量・リサイクルの説明会を開催する場合、開催を希望しますか。(○は一つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 希望する | 2. 希望しない |
|---------|----------|

問 35 問34 で「1」と回答した方におたずねします。説明会はどのような内容を希望しますか。(○はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 紙類の分別 | 2. 生ごみの減量化・分別 |
| 3. その他(具体的に_____) | |

港区の清掃リサイクル事業へのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

刊行物発行番号 2025224-5651

港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）改定等に係る基礎調査報告書
令和8（2026）年3月発行

編 集 : 港区環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
〒108-0075 東京都港区港南 3-9-59
電話 03-3450-8025
受 託 : 株式会社ダイナックス都市環境研究所
電話 03-5402-5355



区の木 ハナミズキ



区の花 アジサイ



区の花 バラ



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。